



令和8年度 広島県民に対する調査結果報告書

2026年6月30日



目次

◆ 調査概要	P3
◆ 回答者プロフィール	P4
◆ 調査結果の詳細	P10
1. 性別に関する意識	P11
2. 男女共同参画に関する意識	P15
3. 内閣府のデータ比較（全国と広島県の比較）	P39

報告書内の記述について

※n=30未満は参考値として記載

※斜線は非聴取項目

- ◆ 調査目的 : 県民の「性別に関する意識」を把握する。
 今回から以下の設問について、内閣府の調査と比較し、結果をまとめる。
 ・Q4～Q7：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和6年9月調査）
 ・Q12：内閣府「令和4年度性別による無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）に関する調査」

- ◆ 調査対象 : 15～69歳の男女

- ◆ 調査地域 : 広島県

- ◆ 調査方法 : インターネットリサーチ

- ◆ 調査時期 : 2026年6月8日（月）～ 6月15日（月）

- ◆ 有効回答数 : 1,034サンプル

- ◆ 調査委託先 : マクロミル

【割付表】

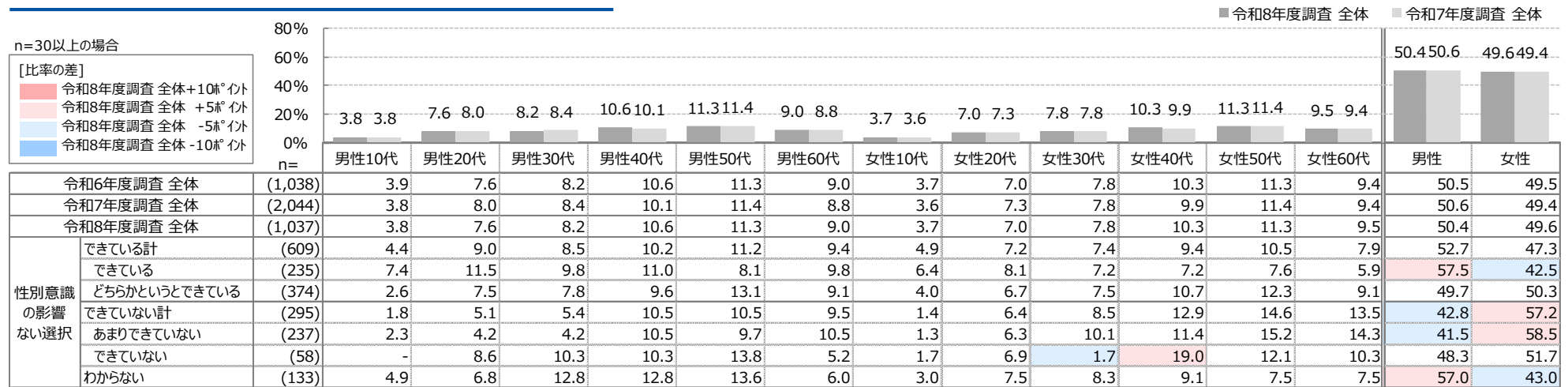
		ウェイトバック前 計		ウェイトバック後 計	
男性	10代	36ss	520ss	39ss	523ss
	20代	79ss		79ss	
	30代	85ss		85ss	
	40代	110ss		110ss	
	50代	117ss		117ss	
	60代	93ss		93ss	
女性	10代	38ss	514ss	38ss	514ss
	20代	73ss		73ss	
	30代	81ss		81ss	
	40代	107ss		107ss	
	50代	117ss		117ss	
	60代	98ss		98ss	
計		1,034ss		1,037ss	

※男性10代のみ希望数から不足のため、ウェイトバックを実施。
 レポート内はウェイトバック後のn数を掲載。

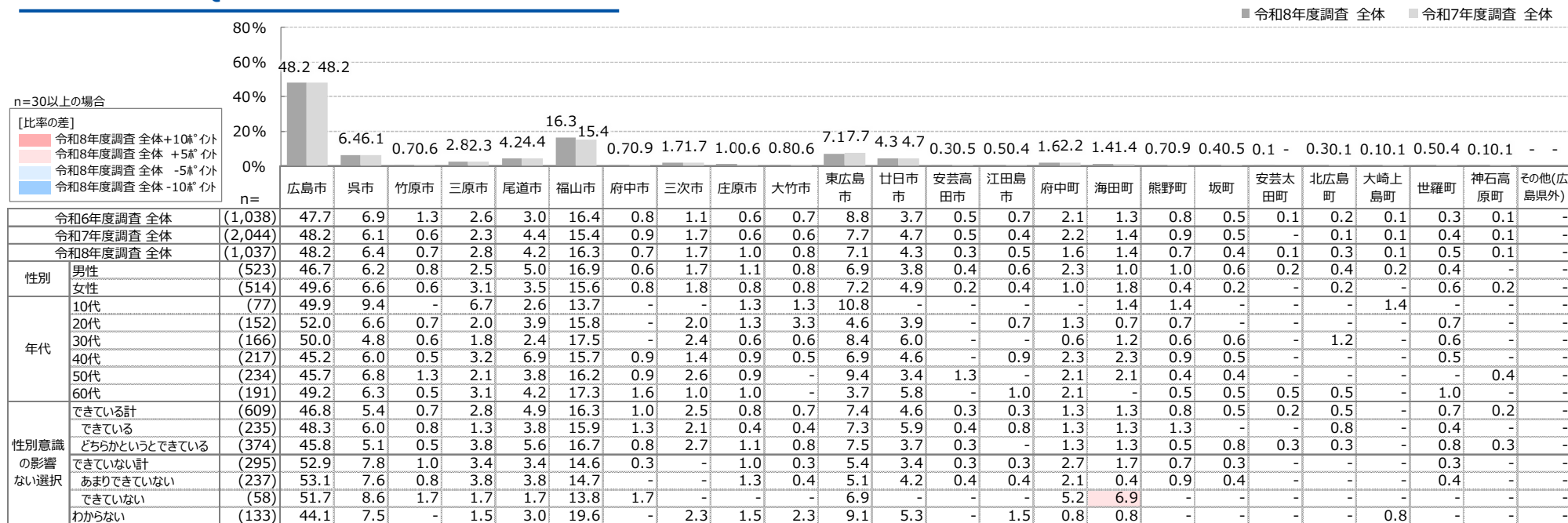
回答者プロフィール



性年代



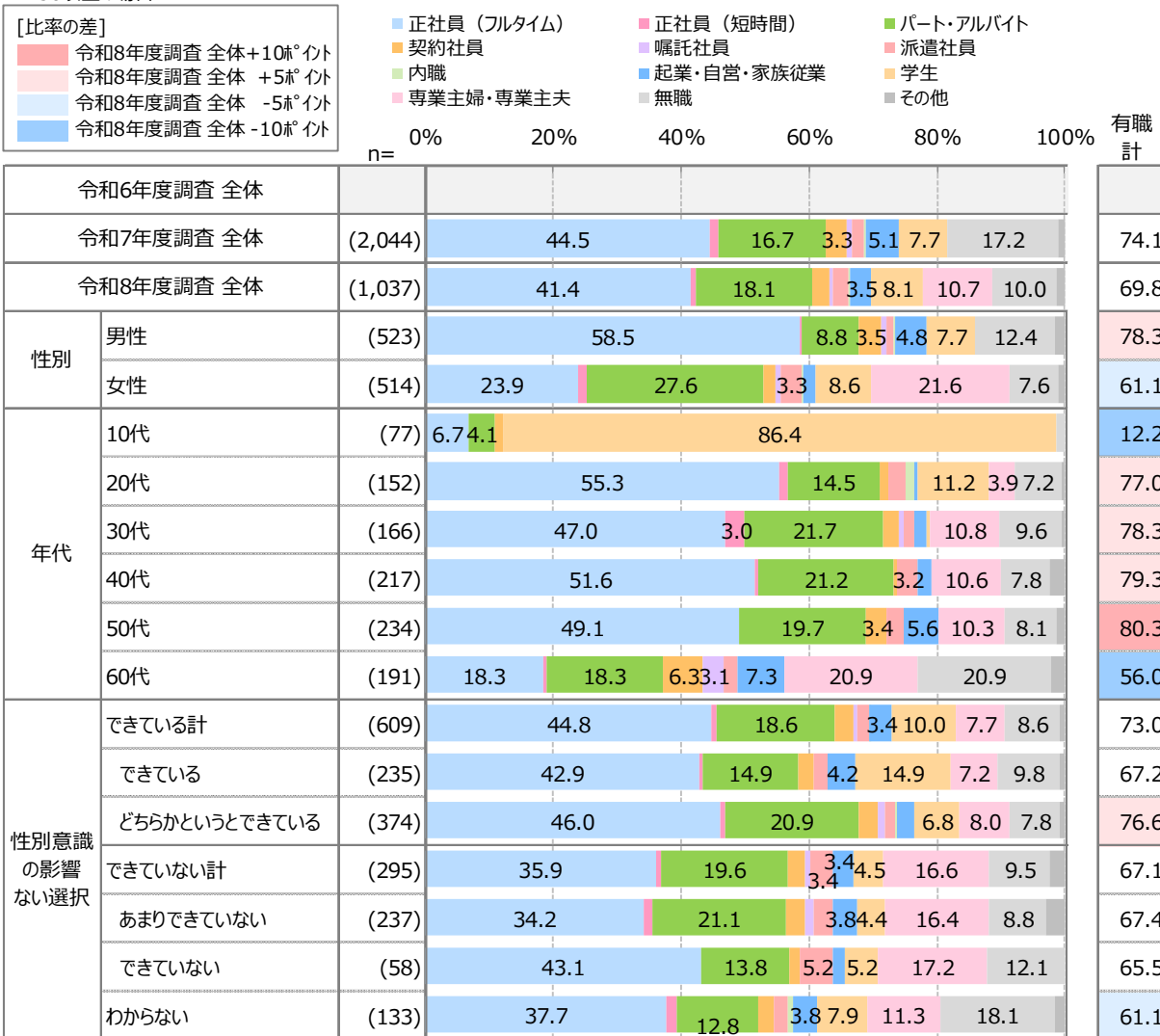
居住地域 (SQ2)





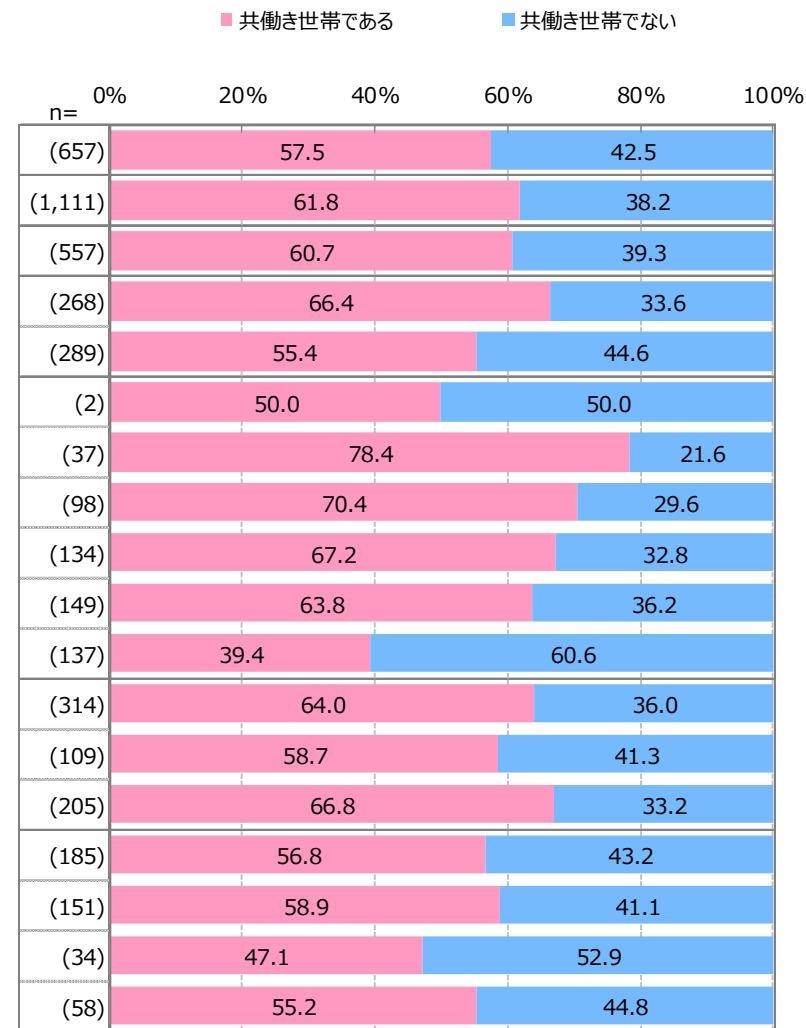
就業状況・形態（Q16）

n=30以上の場合



共働きの有無（Q14）

※世帯構成で「既婚」選択者ベース

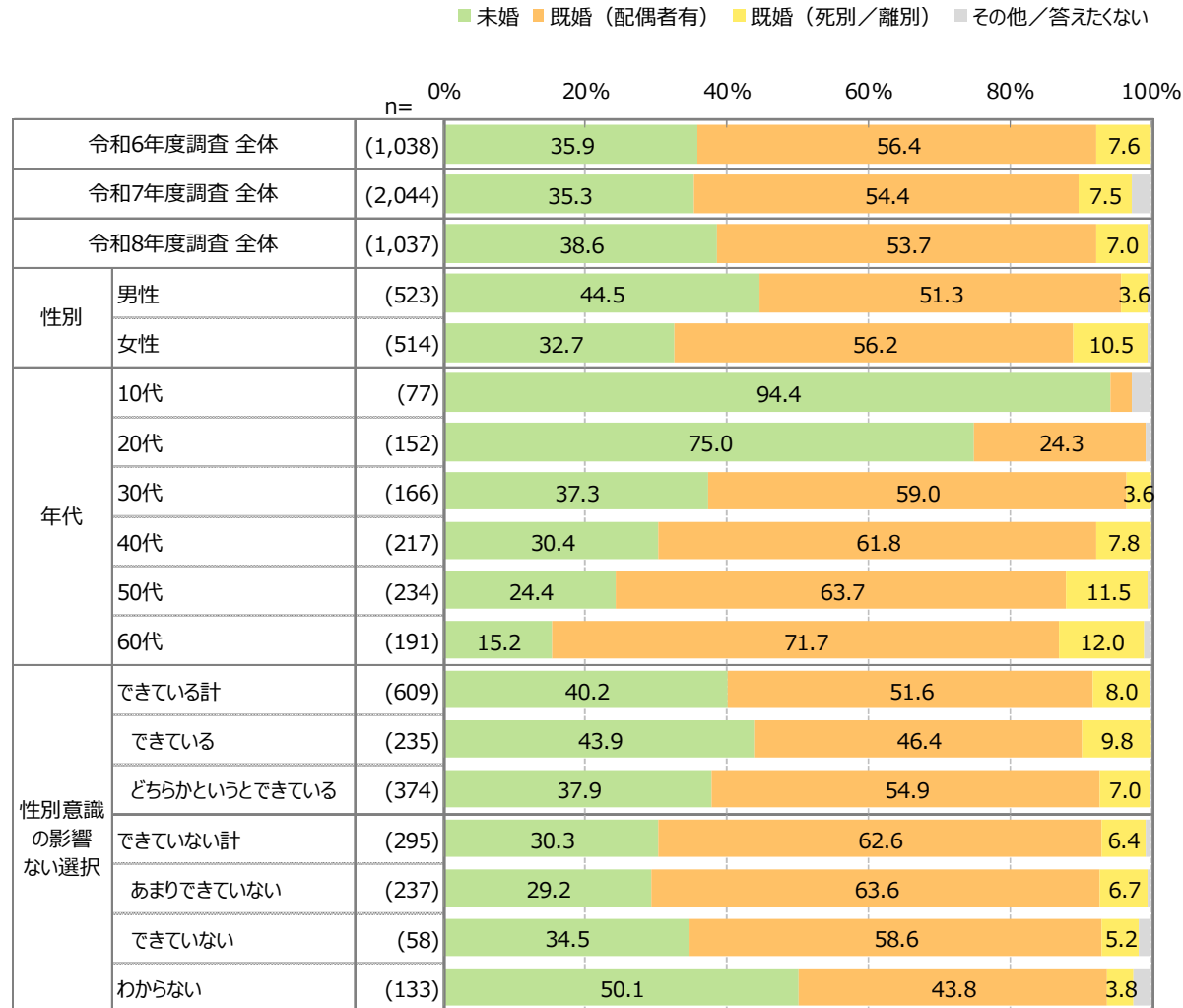


※3.0%未満のスコア非表示

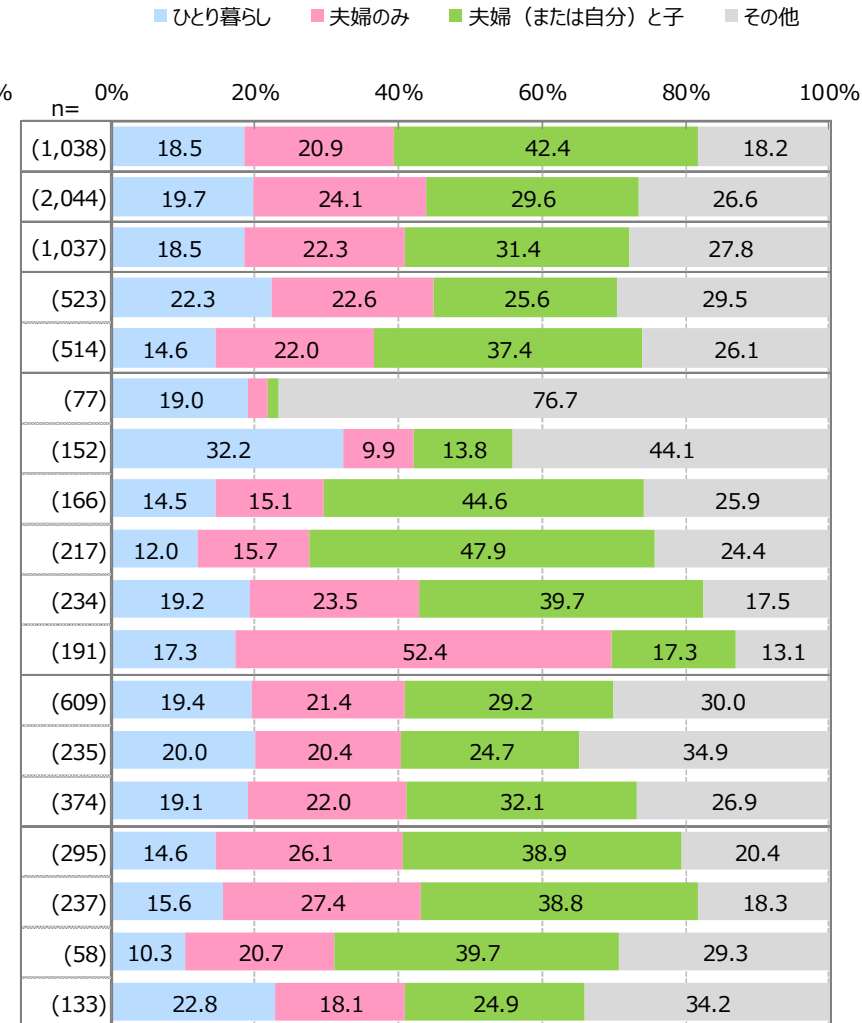
※「就業状況・形態」の令和6年度は選択肢が異なるため非掲載

※有職計（「正社員（フルタイム）」～「起業・自営・家族従業」）

婚姻状況 (Q14)



世帯構成 (Q15)

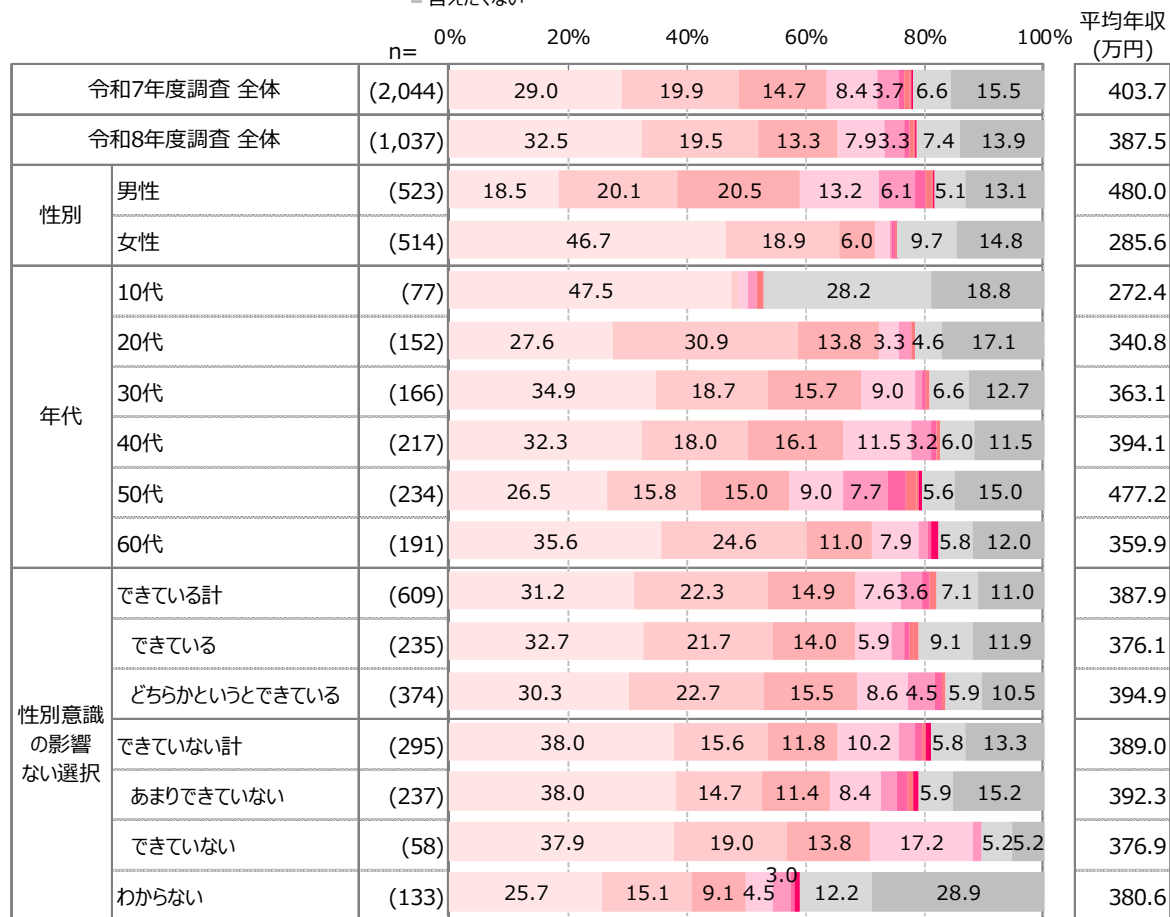


※3.0%未満のスコア非表示



個人年収 (Q18)

- 200万円未満(+200)
- 400～600万円未満(+500)
- 800～1,000万円未満(+900)
- 1,200～1,500万円未満(+1,350)
- 1,500～2,000万円未満(+1,750)
- 2,000万円以上(+2,000)
- 200～400万円未満(+300)
- 600～800万円未満(+700)
- 1,000～1,200万円未満(+1,100)
- 1,500～2,000万円未満(+1,750)
- 2,000万円以上(+2,000)
- わからない
- 答えたくない

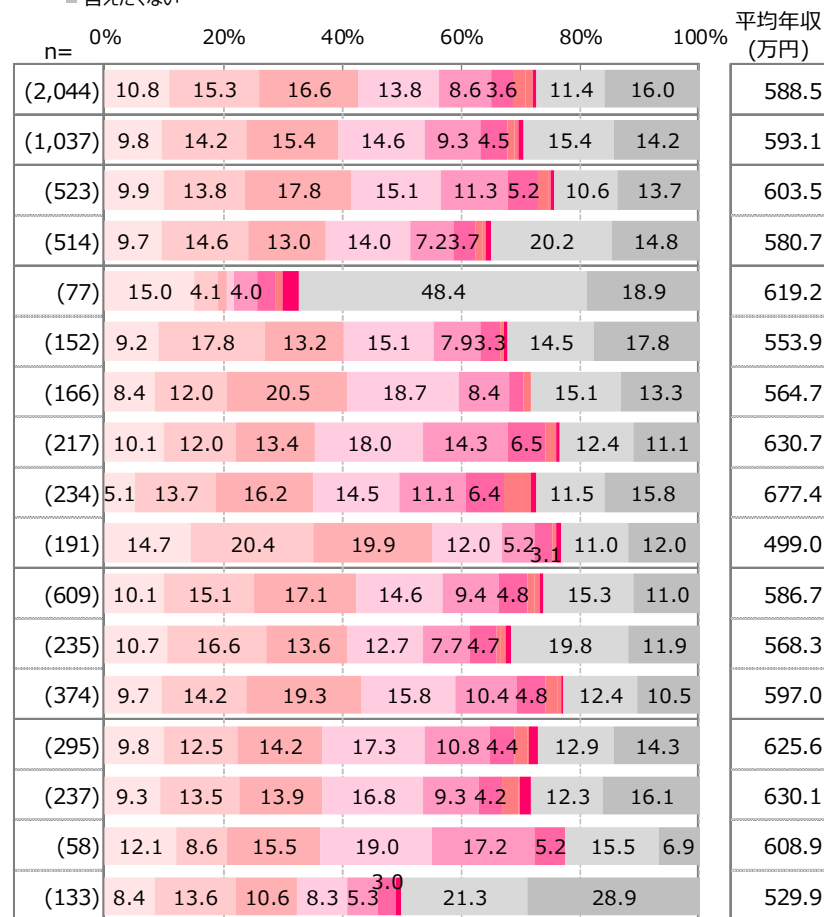


※3.0%未満のスコア非表示

※令和6年度は選択肢が異なるため非掲載

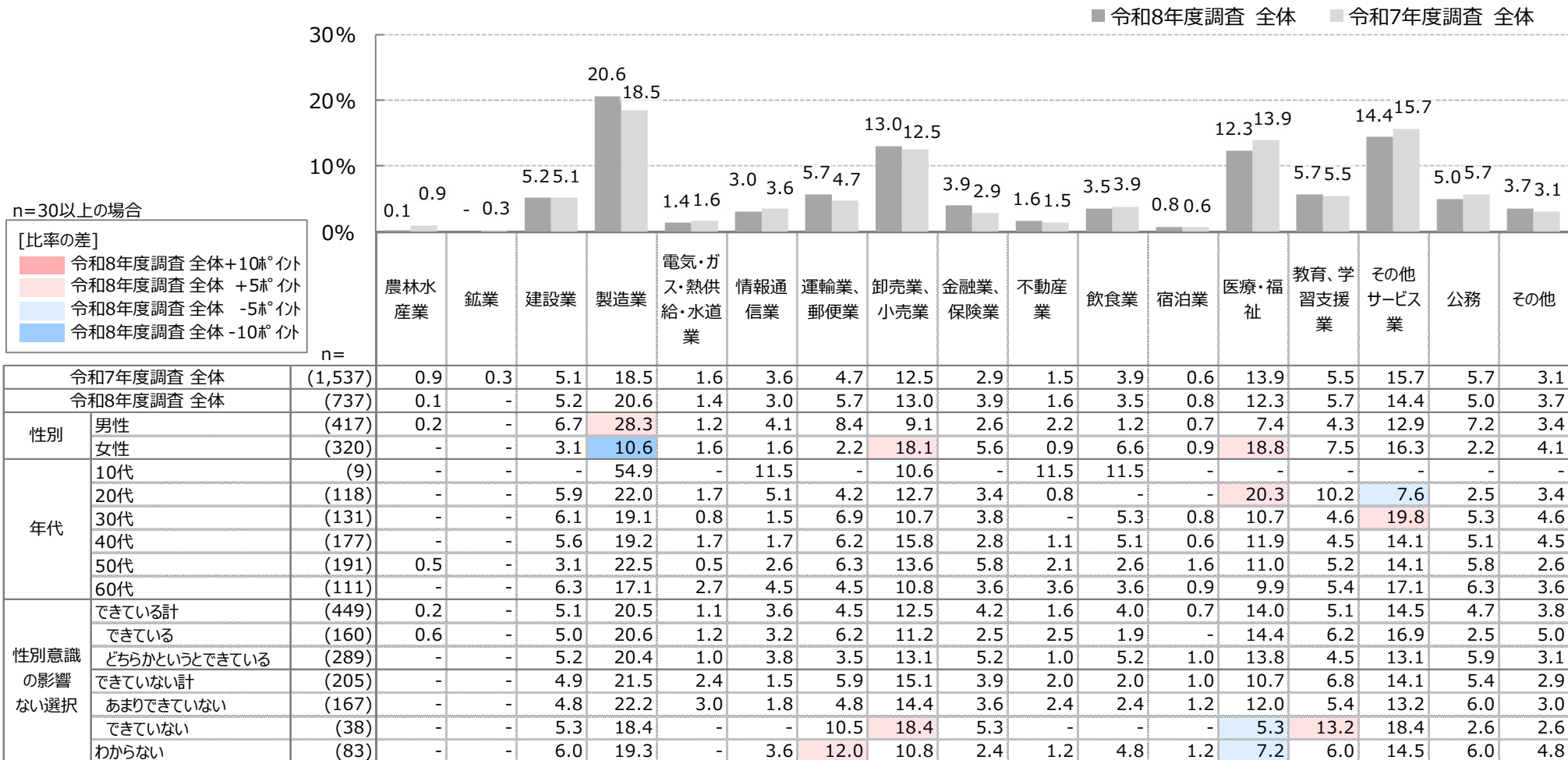
世帯年収 (Q19)

- 200万円未満(+200)
- 400～600万円未満(+500)
- 800～1,000万円未満(+900)
- 1,200～1,500万円未満(+1,350)
- 1,500～2,000万円未満(+1,750)
- 2,000万円以上(+2,000)
- 200～400万円未満(+300)
- 600～800万円未満(+700)
- 1,000～1,200万円未満(+1,100)
- 1,500～2,000万円未満(+1,750)
- 2,000万円以上(+2,000)
- わからない
- 答えたくない



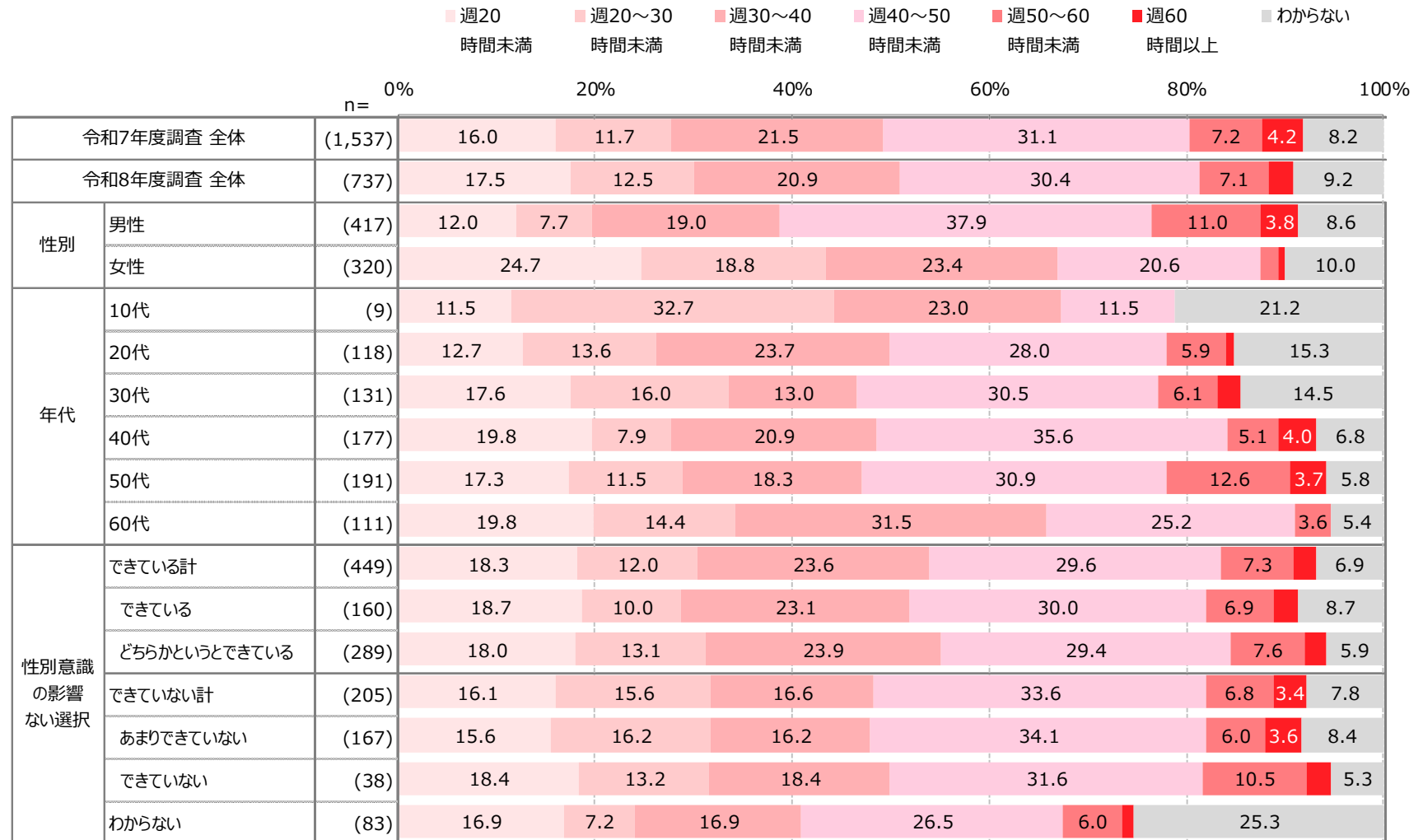
業種 (Q17)

※就業者ベース



週あたり平均労働時間（Q20）

※就業者ベース



※3.0%未満のスコア非表示



調査結果の詳細



1. 性別に関する意識

性別に関する意識の影響度

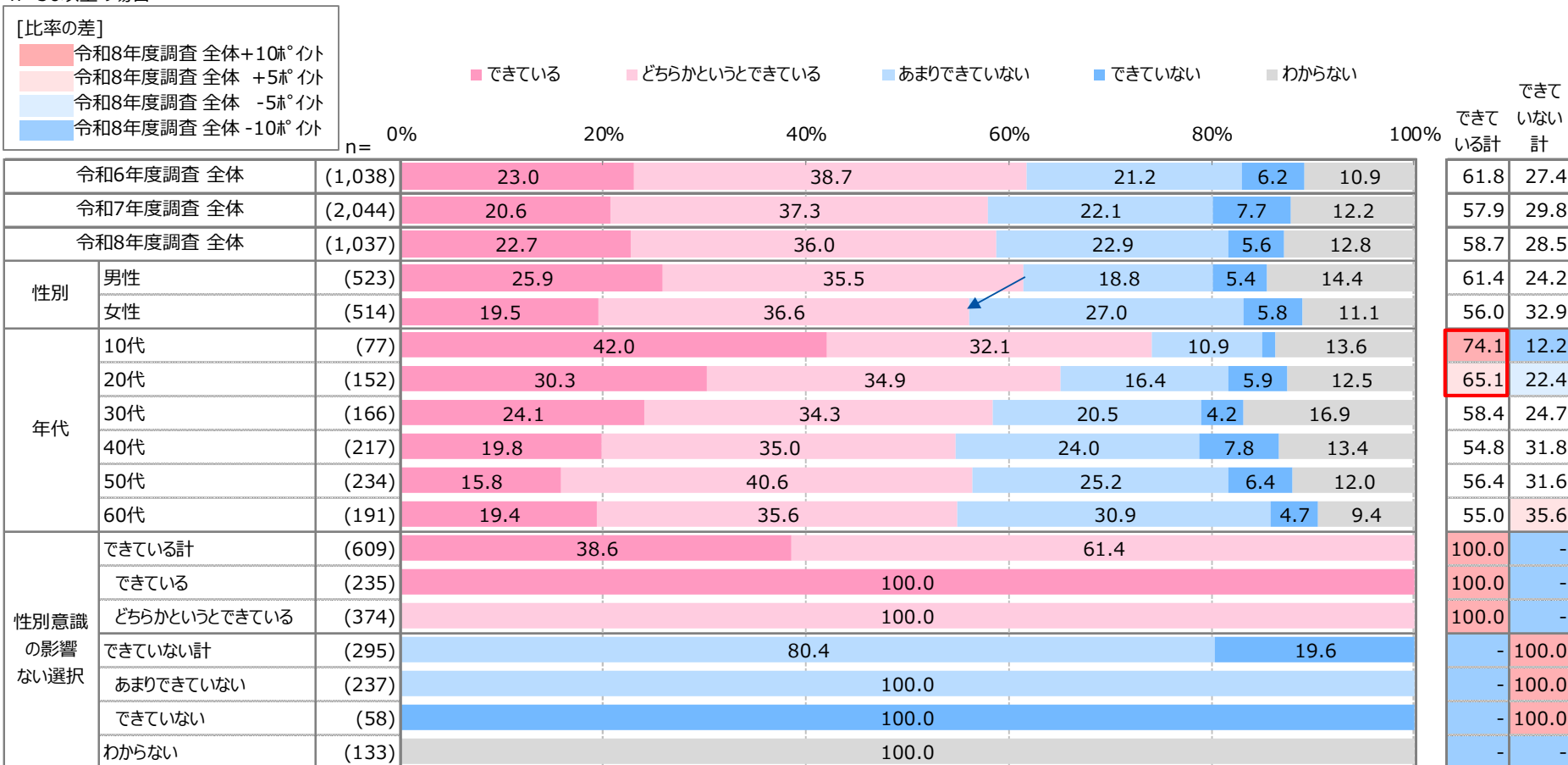


- ✓ 『性別に関する意識に影響されことなく、働き方や暮らし方を選択できていると感じている人』は59%で、令和7年度調査(58%)と比較すると横ばい。令和6年度調査(62%)と比較するとやや低下。
- ✓ 女性の「できている計」は56%と男性と比べて5pt低い。
- ✓ 年代別でみると、10-20代では「できている計」が65%を超えており、他世代と比較して高い。特に10代では74.1%と、30代以上とは15～20pt差。

Q1 あなたは、現在、「『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき」といったような、性別に関する意識に影響されことなく、働き方や暮らし方を選択できていると感じますか。
当てはまるものを1つだけ選んでください。

SA

n=30以上の場合



※3.0%未満のスコア非表示

※できている計（「できている」+「どちらかというときていいる」） ※できていない計（「あまりできていない」+「できていない」）

性別の意識に影響を受けた場面



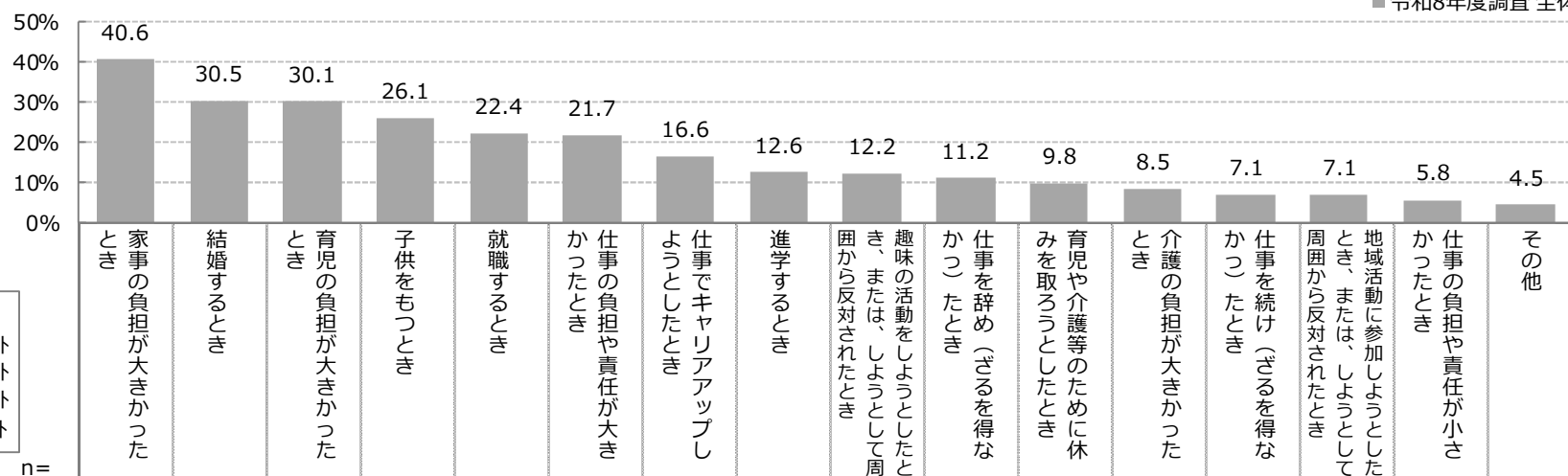
- ✓ 性別に関する意識に影響を受けた場面では、「家事の負担が大きかったとき」が41%でトップ。「結婚するとき」(31%)「育児の負担が大きかったとき」(30%)と続く。
- ✓ 性別では、全般的に女性が男性を上回る場面が多い。その中で、「仕事の負担や責任が大きかったとき」「仕事を続けたとき」は女性より男性の高さが目立つ。
- ✓ 年代でみると、20代は「仕事でキャリアアップしようとしたとき」「仕事を続けたとき」等の“仕事関連”や「趣味の活動をしようとしたとき」で他の年代より高い。

Q2 前問で「あまりできていない」「できていない」と答えた方にお伺いします。「『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき」といった性別に関する意識に影響を受けたのは、どのような場面ですか。

SA

※Q1で「あまりできていない」「できていない」回答者ベース

■ 令和8年度調査 全体



n=30以上の場合

[比率の差]	
令和8年度調査 全体+10ポイント	
令和8年度調査 全体 +5ポイント	
令和8年度調査 全体 -5ポイント	
令和8年度調査 全体 -10ポイント	

n=

令和8年度調査 全体		(295)	40.6	30.5	30.1	26.1	22.4	21.7	16.6	12.6	12.2	11.2	9.8	8.5	7.1	7.1	5.8	4.5
性別	男性	(126)	17.5	22.1	11.1	14.2	19.1	30.9	15.8	12.7	11.9	3.2	9.5	6.3	12.7	10.3	5.5	4.9
	女性	(169)	58.0	36.7	44.4	34.9	24.9	14.8	17.2	12.4	12.4	17.2	10.1	10.1	3.0	4.7	5.9	4.1
年代	10代	(9)	11.5	-	-	-	11.5	22.1	-	22.1	22.1	-	-	-	11.5	22.1	-	23.0
	20代	(34)	35.3	29.4	14.7	23.5	29.4	20.6	29.4	20.6	26.5	14.7	5.9	5.9	17.6	8.8	5.9	8.8
	30代	(41)	41.5	31.7	39.0	34.1	14.6	19.5	19.5	7.3	12.2	9.8	14.6	4.9	4.9	7.3	7.3	4.9
	40代	(69)	42.0	18.8	27.5	23.2	17.4	26.1	13.0	8.7	18.8	11.6	15.9	1.4	5.8	5.8	5.8	2.9
	50代	(74)	44.6	36.5	32.4	29.7	27.0	23.0	16.2	16.2	1.4	9.5	4.1	10.8	5.4	5.4	5.4	1.4
	60代	(68)	41.2	39.7	36.8	25.0	25.0	17.6	14.7	10.3	8.8	13.2	10.3	17.6	5.9	7.4	5.9	4.4
性別意識の影響ない選択	できていない計	(295)	40.6	30.5	30.1	26.1	22.4	21.7	16.6	12.6	12.2	11.2	9.8	8.5	7.1	7.1	5.8	4.5
	あまりできていない	(237)	40.0	28.6	29.9	24.9	20.3	20.3	16.8	10.1	12.2	9.7	10.5	7.6	6.4	7.6	6.3	4.7
	できていない	(58)	43.1	37.9	31.0	31.0	31.0	27.6	15.5	22.4	12.1	17.2	6.9	12.1	10.3	5.2	3.4	3.4

※「令和8年度調査 全体」のスコアで降順にソート

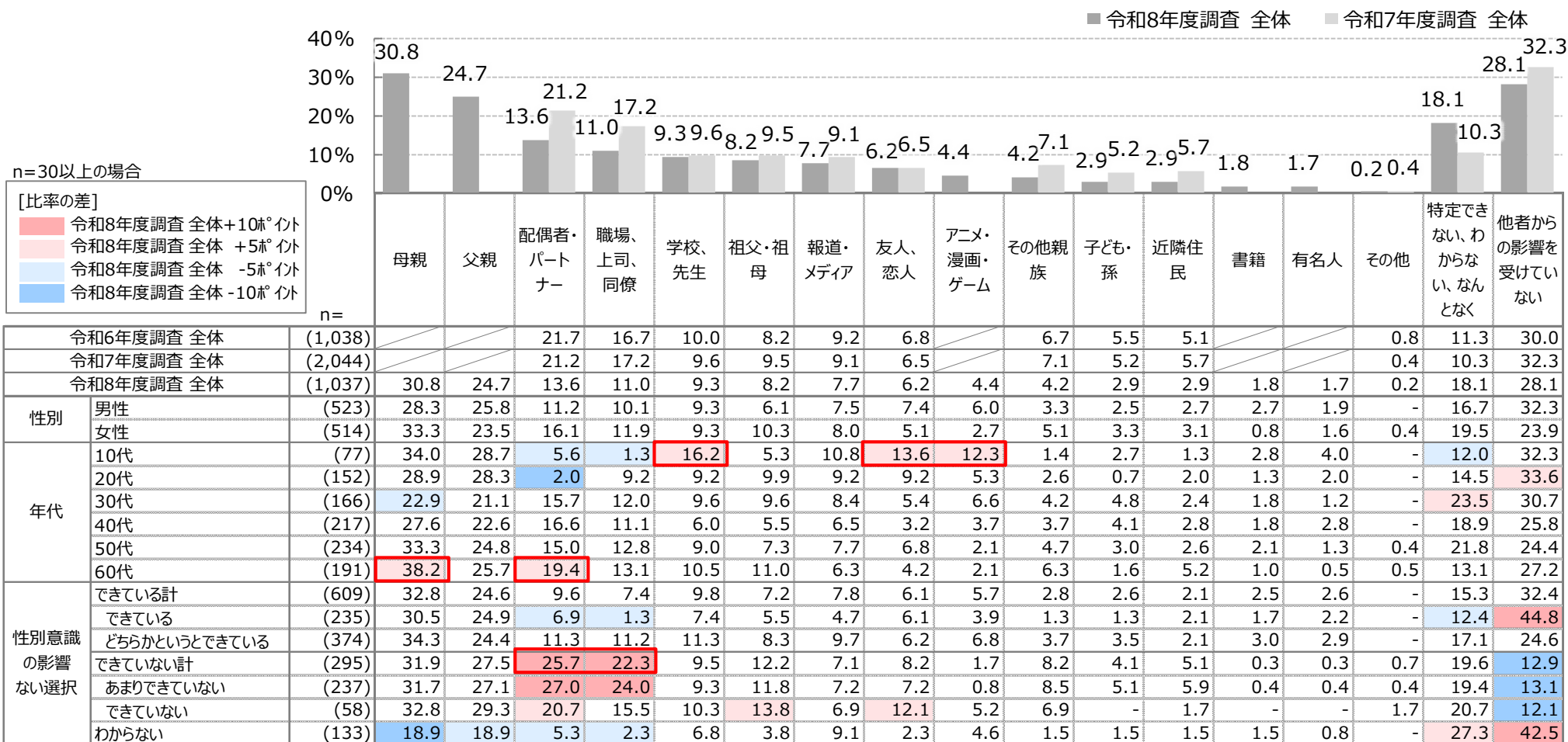
性別に関する意識について、影響を与えた存在



- ✓ 性別に関する意識について影響を与えた存在について「母親」が31%でトップ。「父親」(25%)「配偶者・パートナー」(14%) と続く。
「他者からの影響を受けていない」は28%。
- ✓ 年代別でみると、60代は「母親」や「配偶者・パートナー」が他の年代と比べてやや高い。一方、10代は「学校、先生」「友人、恋人」「アニメ・漫画・ゲーム」が他の年代と比べてやや高い。
- ✓ 性別意識の影響ない選択別では、【できていない計】において「配偶者・パートナー」「職場、上司、同僚」でスコアが高い傾向が見られる。

Q3 「『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき」といったような、性別に関する意識について、ご自身に影響を与えた存在として当てはまるものを選んでください。（いくつでも）

MA



※「令和8年度調査 全体」のスコアで降順にソート



2. 男女共同参画に関する意識

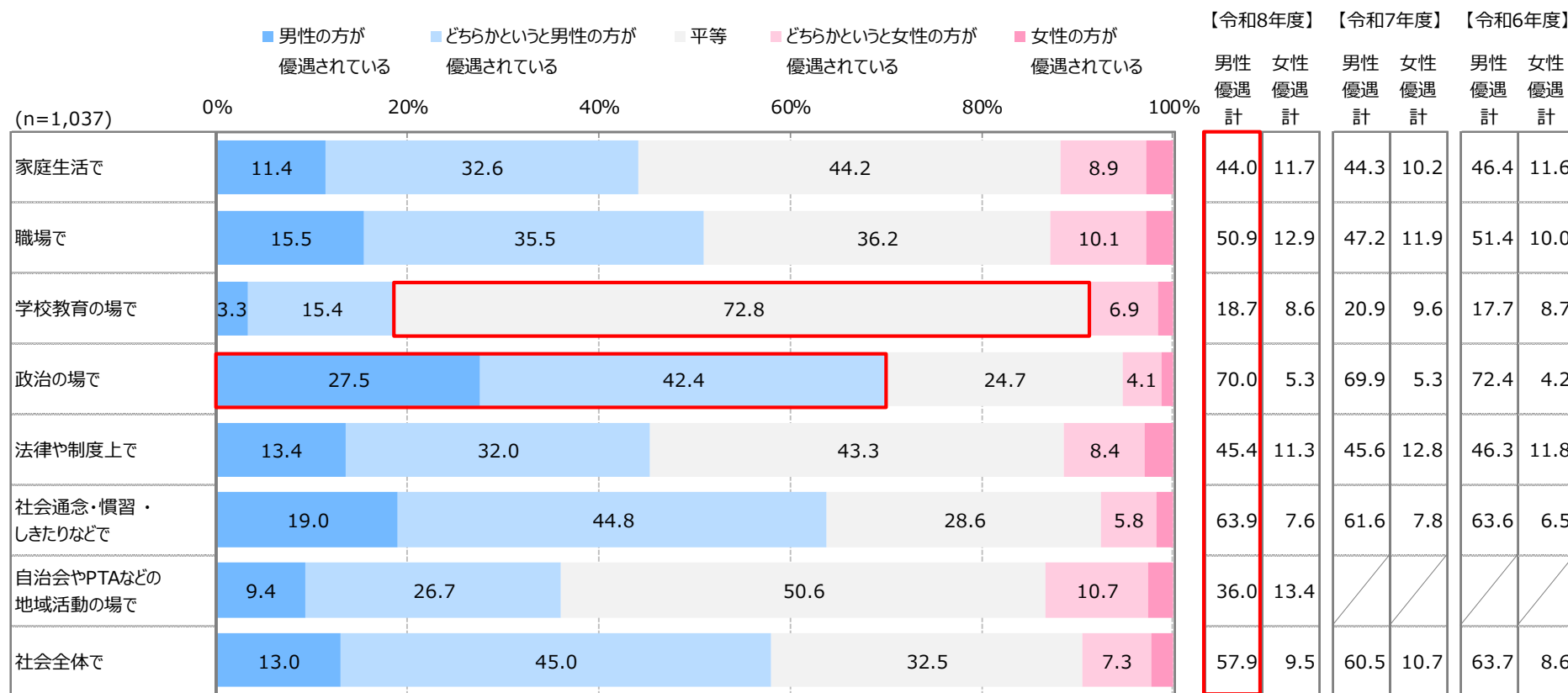
男女の地位の平等感



- ✓ 令和8年度調査の男女の地位の平等感では、全ての項目において「男性優遇計」が「女性優遇計」を大きく上回る。
過去調査と比較してもその傾向は変わらない。
- ✓ 令和8年度調査では、過去調査と同様、特に『政治の場で』が「男性優遇計」70%と最も男性優遇であると感じられている。
- ✓ 『学校教育の場で』は「平等」が73%。他の項目とは異なり、平等意識が特に高い。

Q4 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA



※男性優遇計（「男性の方が優遇されている」+「どちらかという男性の方が優遇されている」）

※女性優遇計（「どちらかという女性の方が優遇されている」+「女性の方が優遇されている」）

男女の平等性_属性優遇

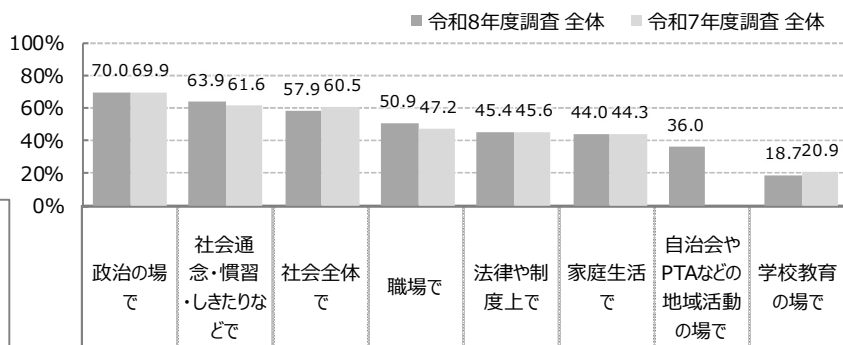


- ✓ 令和8年度調査の男性優遇のスコアは、令和7年度調査と比較して「社会通念・慣習・しきたりなどで」「職場で」が微増、「社会全体で」が微減。性別でみると、女性の方が男性よりも、全ての項目で男性優遇と感じている。
- ✓ 年代別でみると、60代がほとんどの項目で他の年代より高く、男性優遇を強く感じている様子。
- ✓ 令和8年度調査の女性優遇のスコアは令和7年度調査と比較してどの項目も概ね同水準で大きな変化はみられない。年代別でみると、10代は全般的にスコアが高く、他の年代より女性優遇と感じている。

Q4 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

男性優遇計



n=30以上の場合

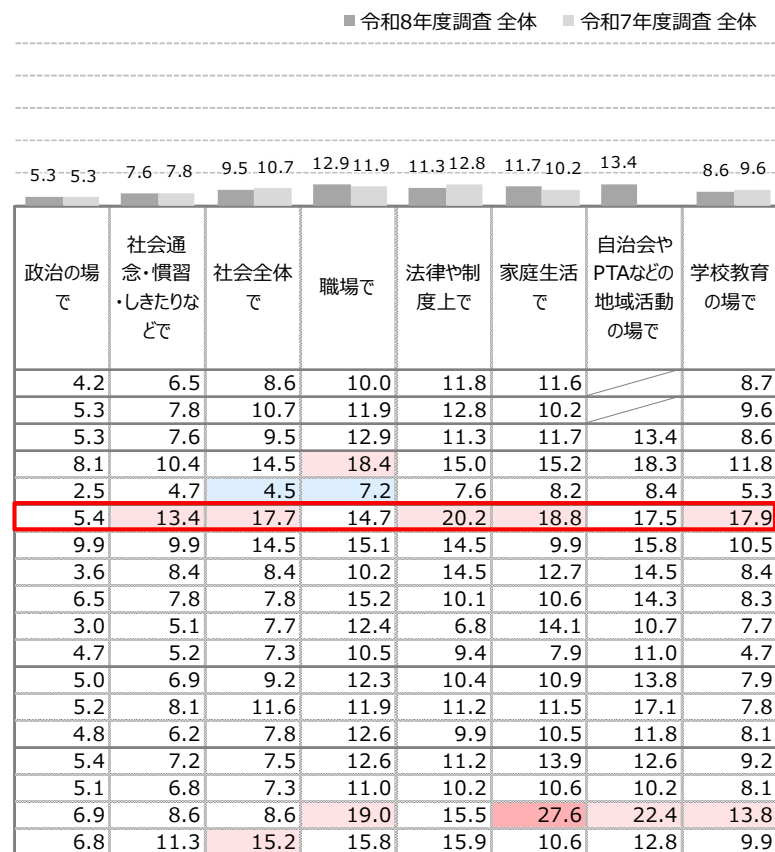
[比率の差]
令和8年度調査 全体+10%以内
令和8年度調査 全体+5%以内
令和8年度調査 全体-5%以内
令和8年度調査 全体-10%以内

n=		政治の場で	社会通念・慣習・しきたりなどで	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	自治会やPTAなどの地域活動の場で	学校教育の場で
令和6年度調査 全体 (1,038)		72.4	63.6	63.7	51.4	46.3	46.4		17.7
令和7年度調査 全体 (2,044)		69.9	61.6	60.5	47.2	45.6	44.3		20.9
令和8年度調査 全体 (1,037)		70.0	63.9	57.9	50.9	45.4	44.0	36.0	18.7
性別	男性 (523)	57.9	51.9	44.3	40.8	30.3	28.6	23.5	12.4
	女性 (514)	82.3	76.1	71.8	61.3	60.7	59.7	48.8	25.1
年代	10代 (77)	64.7	51.2	37.6	44.6	30.7	25.5	28.1	20.3
	20代 (152)	60.5	51.3	48.7	41.4	40.8	38.8	27.0	16.4
	30代 (166)	66.3	57.8	51.8	48.2	42.8	33.7	31.9	15.1
	40代 (217)	70.5	63.1	59.4	47.0	46.1	50.2	35.5	13.8
	50代 (234)	73.1	68.4	59.8	55.1	47.9	44.9	41.5	23.1
	60代 (191)	78.5	79.6	74.9	62.8	53.4	56.5	44.0	23.0
性別意識の影響がない選択	できている計 (609)	70.0	62.9	56.5	47.5	45.4	40.6	35.9	18.8
	できている (235)	65.4	55.6	50.0	38.6	41.9	34.2	31.2	20.1
	どちらかというときでできている (374)	72.9	67.5	60.5	53.1	47.6	44.7	38.9	18.0
	できていない計 (295)	75.9	72.5	69.4	64.0	50.8	56.6	39.9	21.3
	あまりできていない (237)	75.5	74.2	69.5	63.3	49.7	56.9	41.3	20.2
	できていない (58)	77.6	65.5	69.0	67.2	55.2	55.2	34.5	25.9
わからない (133)		56.7	49.1	39.2	37.8	33.2	31.7	27.9	12.1

※スコアは男性優遇計（「男性の方が優遇されている」+「どちらかという男性の方が優遇されている」）

※「令和8年度調査 全体」のスコアで降順ソート

女性優遇計



※スコアは女性優遇計（「どちらかという女性の方が優遇されている」+「女性の方が優遇されている」）

※「令和8年度調査 全体（男性優遇計）」のスコアで降順ソート

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見



- ✓ 令和8年度調査の『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』に対する意見は、「賛成計」42%「反対計」58%と、反対が15pt以上高い。
- ✓ 「賛成計」と「反対計」ともに令和7年度調査、令和6年度調査と比較して「賛成計」が増加傾向。
- ✓ 性別でみると、女性の「反対計」のスコアが61%と、男性と比較してスコアが高め。
- ✓ 年代別でみると、10～20代において「反対計」が60%以上と、他の年代と比べてやや高い。

Q5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。
次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

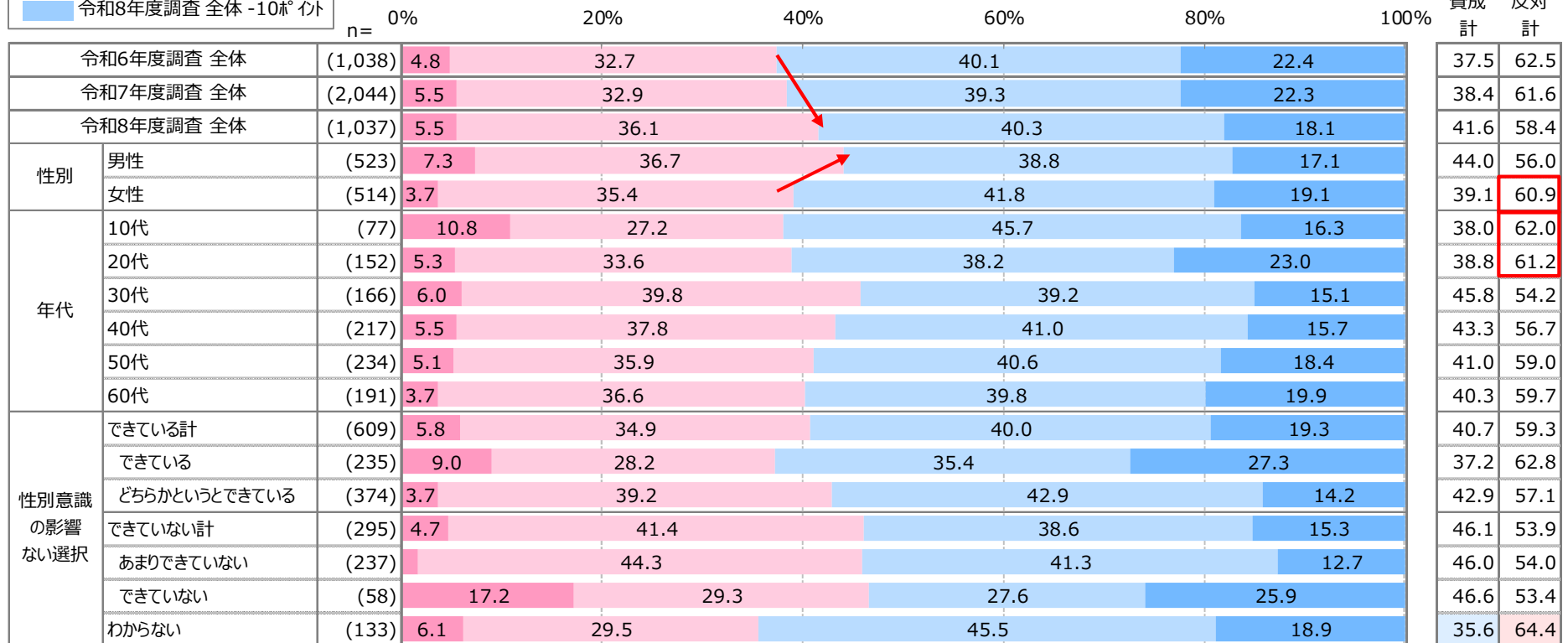
SA

n=30以上の場合

[比率の差]

令和8年度調査 全体+10pt
令和8年度調査 全体 +5pt
令和8年度調査 全体 -5pt
令和8年度調査 全体 -10pt

■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対



※3.0%未満のスコア非表示

※賛成計（「賛成」+「どちらかという賛成」） ※反対計（「どちらかという反対」+「反対」）

賛成理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」



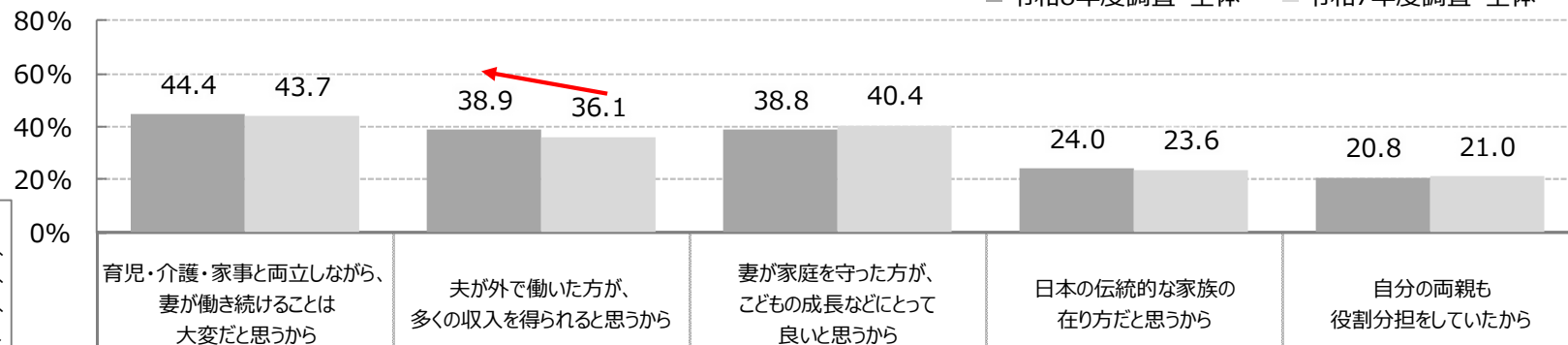
- ✓ 賛成理由について、令和8年度調査では「育児・介護・家事と両立～」が44%でトップ、「夫が外で働いた方が～」 「妻が家庭を守った方が～」(同39%)と続く。令和7年調査と比較して、「夫が外で働いたほうが～」が+3ptと増加。
- ✓ 性別でみると、女性は「育児・介護・家事と両立～」が男性より高い。
- ✓ 年代別でみると、「妻が家庭を守った方が～」は50代で50%と、他の年代より高い。一方、20代では22%にとどまる。

Q6 賛成と思うのはなぜですか。(いくつでも) ※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

MA

※「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の人ベース

■ 令和8年度調査 全体 ■ 令和7年度調査 全体



n=30以上の場合

[比率の差]

- 令和8年度調査 全体+10%ポイント
- 令和8年度調査 全体 +5%ポイント
- 令和8年度調査 全体 -5%ポイント
- 令和8年度調査 全体 -10%ポイント

n=		育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから	夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	自分の両親も役割分担をしていたから
令和6年度調査 全体	(389)	39.1	34.2	38.8	22.6	18.3
令和7年度調査 全体	(786)	43.7	36.1	40.4	23.6	21.0
令和8年度調査 全体	(431)	44.4	38.9	38.8	24.0	20.8
性別	男性	(230) 33.7	35.5	37.5	29.2	22.4
	女性	(201) 56.7	42.8	40.3	17.9	18.9
年代	10代	(29) 46.7	46.7	32.2	31.9	46.2
	20代	(59) 52.5	27.1	22.0	32.2	28.8
	30代	(76) 43.4	36.8	31.6	19.7	19.7
	40代	(94) 41.5	41.5	40.4	13.8	20.2
	50代	(96) 38.5	45.8	50.0	25.0	13.5
	60代	(77) 49.4	35.1	45.5	29.9	15.6
性別意識の影響 ない選択	できている計	(248) 41.8	39.0	34.8	25.9	23.1
	できている	(88) 49.7	40.3	29.9	23.1	18.4
	どちらかというできている	(160) 37.5	38.2	37.5	27.4	25.7
	できていない計	(136) 47.7	44.9	50.0	22.1	17.7
	あまりできていない	(109) 44.9	45.0	49.5	19.3	16.6
	できていない	(27) 59.3	44.4	51.9	33.3	22.2
わからない	(47)	48.9	21.2	27.6	19.1	17.1

※「令和8年度調査 全体」のスコアで降順にソート

反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」



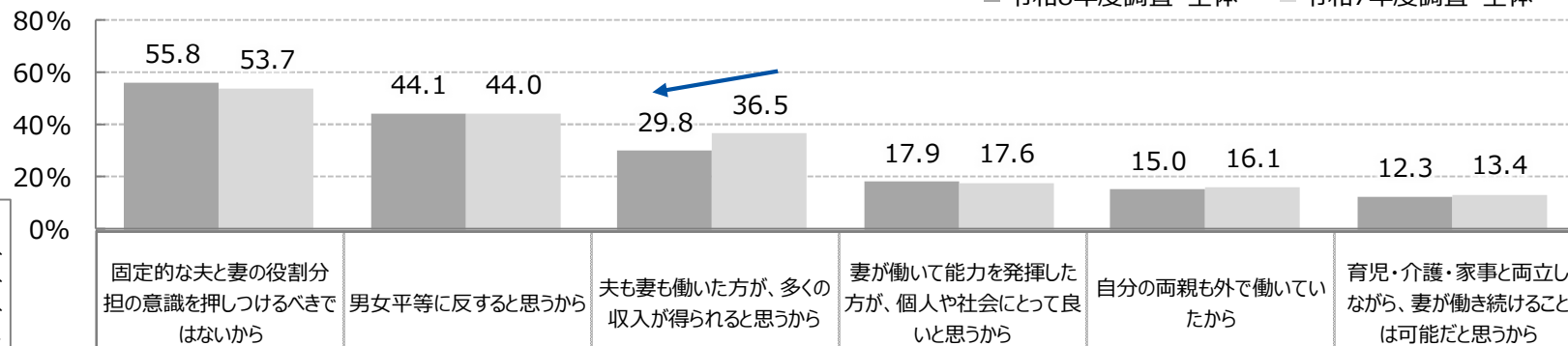
- ✓ 反対理由について、令和8年度調査では「固定的な夫と妻の役割分担～」が56%でトップ、「男女平等に反すると思うから」(44%)「夫も妻も働いた方が～」(30%)と続く。令和7年度調査と比較して、「夫も妻も働いた方が～」が7pt減少。
- ✓ 性別でみると、男性は「男女平等に反すると思うから」、女性は「固定的な夫と妻の役割分担～」がそれぞれトップで、性別間でスコア差が開く。
- ✓ 年代別でみると、10～20代は「男女平等に反すると思うから」が他の年代より高い。10代は「自分の両親も外で働いていたから」も高い。

Q7 反対と思うのはなぜですか。(いくつでも) ※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。

MA

※「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対の人のベース

■ 令和8年度調査 全体 ■ 令和7年度調査 全体



n=30以上の場合

[比率の差]

令和8年度調査 全体+10%ポイント
令和8年度調査 全体 +5%ポイント
令和8年度調査 全体 -5%ポイント
令和8年度調査 全体 -10%ポイント

		n=	固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから	男女平等に反すると思うから	夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから	妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	自分の両親も外で働いていたから	育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
令和6年度調査 全体		(649)	57.5	44.1	32.0	15.9	21.0	14.5
令和7年度調査 全体		(1,258)	53.7	44.0	36.5	17.6	16.1	13.4
令和8年度調査 全体		(606)	55.8	44.1	29.8	17.9	15.0	12.3
性別	男性	(293)	46.8	51.0	32.3	21.3	16.3	10.7
	女性	(313)	64.2	37.7	27.5	14.7	13.7	13.7
年代	10代	(48)	56.5	65.3	32.8	17.8	32.6	8.9
	20代	(93)	46.2	54.8	24.7	11.8	14.0	10.8
	30代	(90)	54.4	50.0	30.0	15.6	15.6	11.1
	40代	(123)	56.1	39.8	31.7	13.0	15.4	15.4
	50代	(138)	53.6	40.6	31.9	26.8	12.3	15.2
	60代	(114)	66.7	30.7	28.1	19.3	10.5	8.8
性別意識の影響 ない選択	できている計	(361)	55.8	47.3	32.3	19.5	16.8	14.2
	できている	(148)	48.3	50.5	30.7	18.5	21.3	13.0
	どちらかというできている	(213)	61.0	45.1	33.4	20.2	13.7	15.0
	できていない計	(159)	56.7	39.0	28.3	19.5	13.2	10.0
	あまりできていない	(128)	54.0	38.3	28.9	17.9	14.8	8.6
	できていない	(31)	67.7	41.9	25.8	25.8	6.5	16.1
わからない		(85)	54.2	39.9	22.3	8.2	10.5	8.2

※「令和8年度調査 全体」のスコアで降順にソート

【世帯収入】理想の負担バランス



- ✓ 世帯収入の理想の負担バランスは、「夫が多い計」が72%。「5:5」は25%に留まる。
夫が多い中では、「7:3」がボリュームゾーン。
- ✓ 性別でみると、女性は「夫が多い計」が77%と、男性(67%)と比較して高い。男性は「5:5」が女性より8ptほど高い。
- ✓ 年代別でみると、「夫が多い計」が最も高いのは40代で76%。

Q8 次の項目について、あなたと配偶者でどのようなバランスで負担することが理想だと思いますか。なお、あなた自身の実際の負担バランスにかかわらず、理想をお答えください。
また、配偶者がいる、いないにかかわらず、お答えください。【世帯収入について】

SA

n=30以上の場合

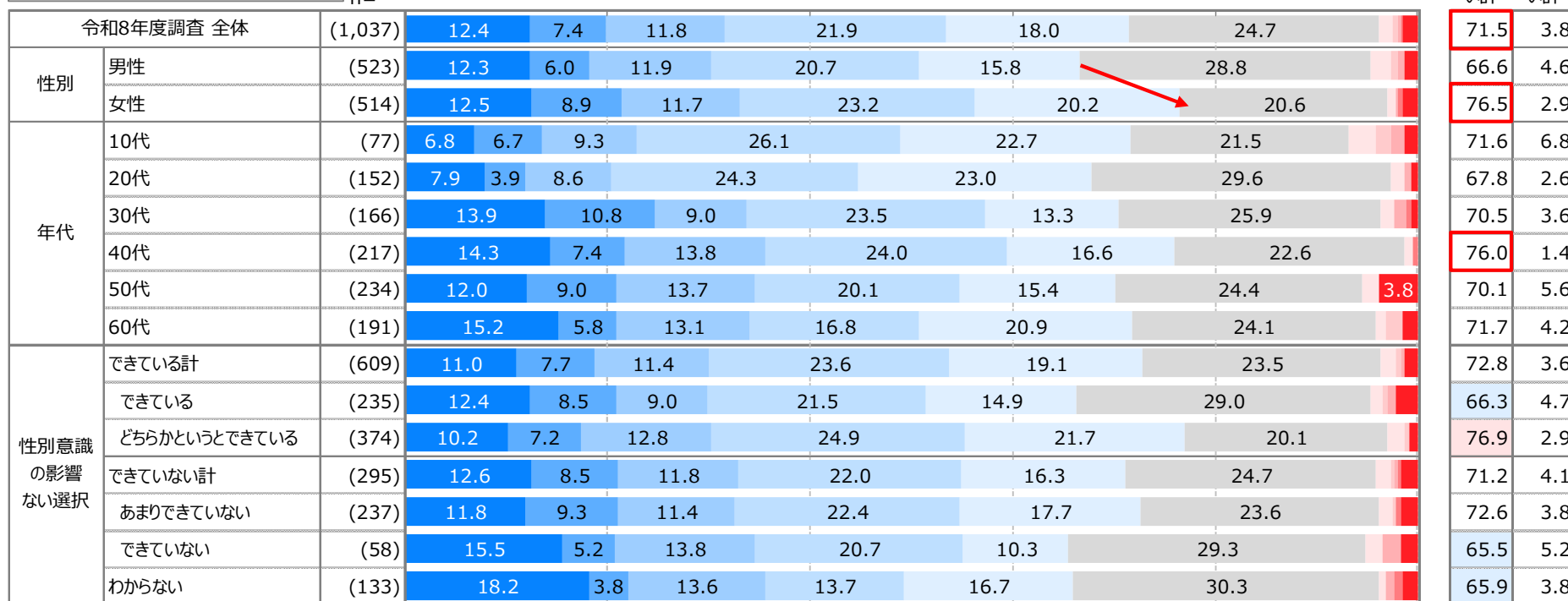
[比率の差]

令和8年度調査 全体+10%ポイント
令和8年度調査 全体 +5%ポイント
令和8年度調査 全体 -5%ポイント
令和8年度調査 全体 -10%ポイント

10:0 (夫:妻) 9:1 (夫:妻) 8:2 (夫:妻) 7:3 (夫:妻) 6:4 (夫:妻) 5:5 (夫:妻) 4:6 (夫:妻) 3:7 (夫:妻) 2:8 (夫:妻) 1:9 (夫:妻) 0:10 (夫:妻)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

夫が多い計 妻が多い計



※3.0%未満のスコア非表示

※夫が多い計 (「10:0(夫:妻)」~「6:4(夫:妻)」) ※妻が多い計 (「4:6(夫:妻)」~「0:10(夫:妻)」)

【家事労働】理想の負担バランス



- ✓ 家事労働の理想の負担バランスは、「妻が多い計」が53%、「夫が多い計」が12%。なお、「5:5」が35%。
- ✓ 性別でみると、女性は「妻が多い計」が57%と、男性(49%)と比較して高い。
- ✓ 年代別でみると、「妻が多い計」が最も高いのは40代で58%。また、20代では「5:5」が43%と唯一4割を超えるのが特徴。

Q8 次の項目について、あなたと配偶者でどのようなバランスで負担することが理想だと思いますか。なお、あなた自身の実際の負担バランスにかかわらず、理想をお答えください。
また、配偶者がいる、いないにかかわらず、お答えください。【家事労働について】

SA

n=30以上の場合

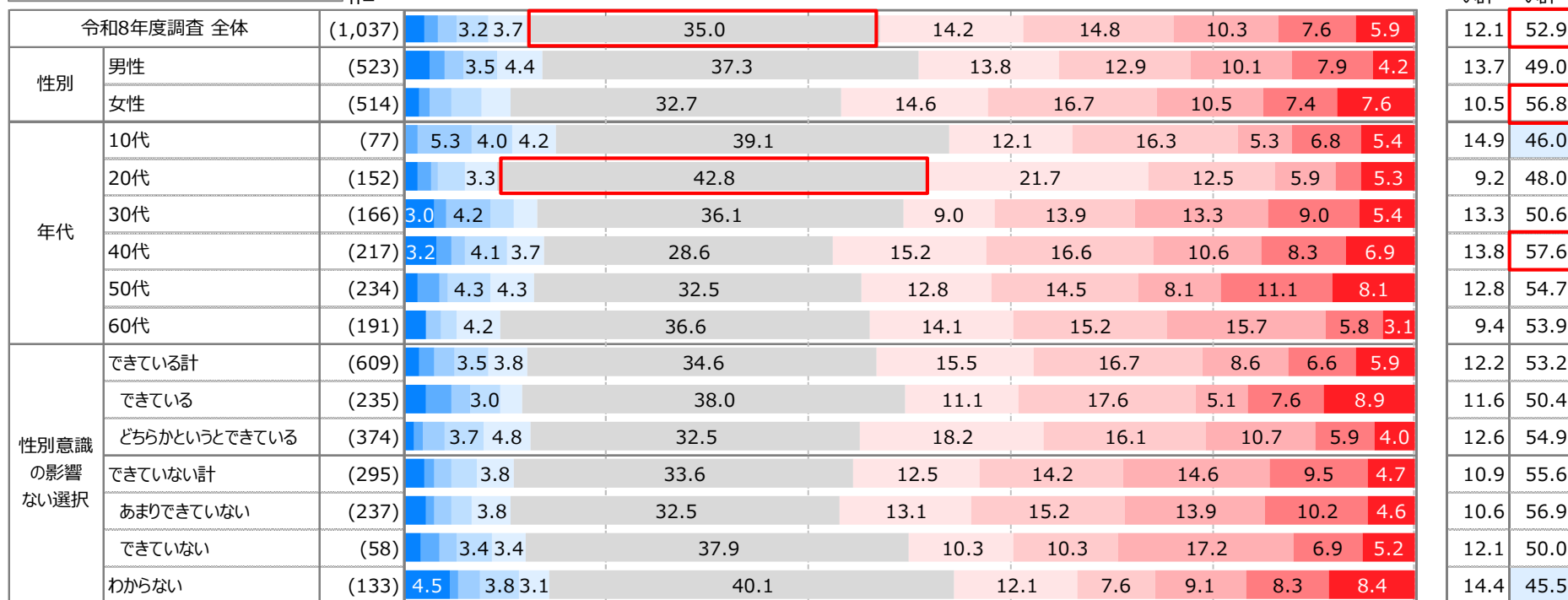
[比率の差]

令和8年度調査 全体+10ポイント
令和8年度調査 全体 +5ポイント
令和8年度調査 全体 -5ポイント
令和8年度調査 全体 -10ポイント

10:0 (夫:妻) 9:1 (夫:妻) 8:2 (夫:妻) 7:3 (夫:妻) 6:4 (夫:妻) 5:5 (夫:妻) 4:6 (夫:妻) 3:7 (夫:妻) 2:8 (夫:妻) 1:9 (夫:妻) 0:10 (夫:妻)

n= 0% 20% 40% 60% 80% 100%

夫が多
い計
妻が多
い計



※3.0%未満のスコア非表示

※夫が多い計（「10:0(夫:妻)」～「6:4(夫:妻)」） ※妻が多い計（「4:6(夫:妻)」～「0:10(夫:妻)」）

【世帯収入】理想の負担バランス×女性の保護者就労状況×性年代別



- ✓ 女性の保護者の就労状況×性年代別でみると、女性保護者が正社員(フルタイム)は、男性30代以上は女性と比べて「夫が多い計」の割合が低く、5:5の割合が高い。一方、女性30代以上は「夫が多い計」が80%と高め。
- ✓ 女性の保護者が専業主婦では、男性30代以上は「夫が多い計」が全体の男性30代以上よりやや高い。

n=30以上の場合

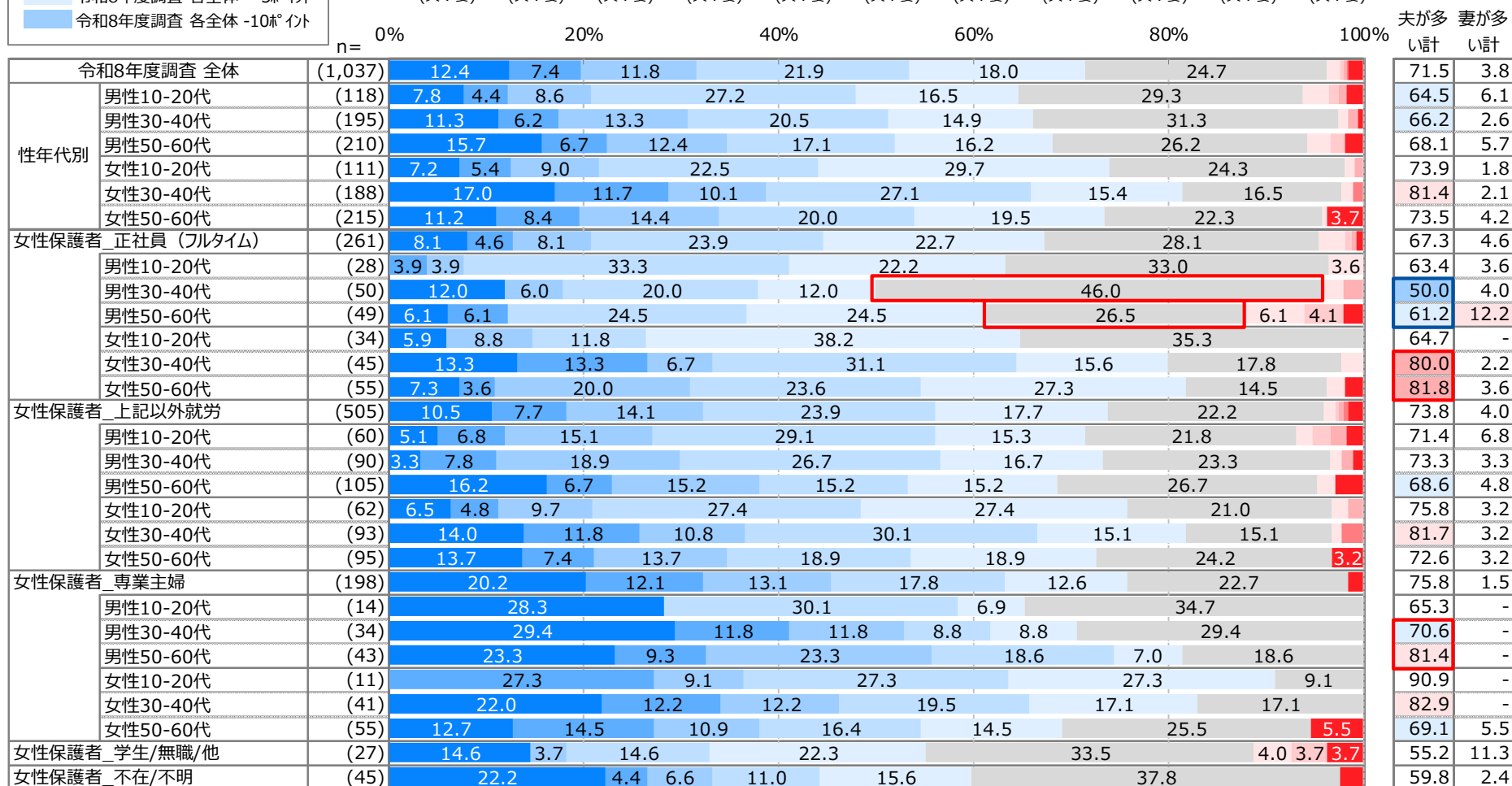
[比率の差]

■ 令和8年度調査 各全体+10% 以内
■ 令和8年度調査 各全体 +5% 以内
■ 令和8年度調査 各全体 -5% 以内
■ 令和8年度調査 各全体 -10% 以内

Q8 次の項目について、あなたと配偶者でどのようなバランスで負担することが理想だと思いますか。なお、あなた自身の実際の負担バランスにかかわらず、理想をお答えください。また、配偶者がいる、いないにかかわらず、お答えください。【世帯収入について】

SA

■ 10:0 (夫:妻)
 ■ 9:1 (夫:妻)
 ■ 8:2 (夫:妻)
 ■ 7:3 (夫:妻)
 ■ 6:4 (夫:妻)
 ■ 5:5 (夫:妻)
 ■ 4:6 (夫:妻)
 ■ 3:7 (夫:妻)
 ■ 2:8 (夫:妻)
 ■ 1:9 (夫:妻)
 ■ 0:10 (夫:妻)



※3.0%未満のスコア非表示

※夫が多い計 (「10:0(夫:妻)」~「6:4(夫:妻)」) ※妻が多い計 (「4:6(夫:妻)」~「0:10(夫:妻)」)

【世帯収入】理想の負担バランス×男性の保護者就労状況×性年代別



- ✓ 男性の保護者は、正社員(フルタイム)が80%近い。
保護者の就労状況×性年代別で見た時のスコア差は、性年代別の差から生じている。

Q8 次の項目について、あなたと配偶者でどのようなバランスで負担することが理想だと思いますか。なお、あなた自身の実際の負担バランスにかかわらず、理想をお答えください。
また、配偶者がいる、いないにかかわらず、お答えください。【世帯収入について】

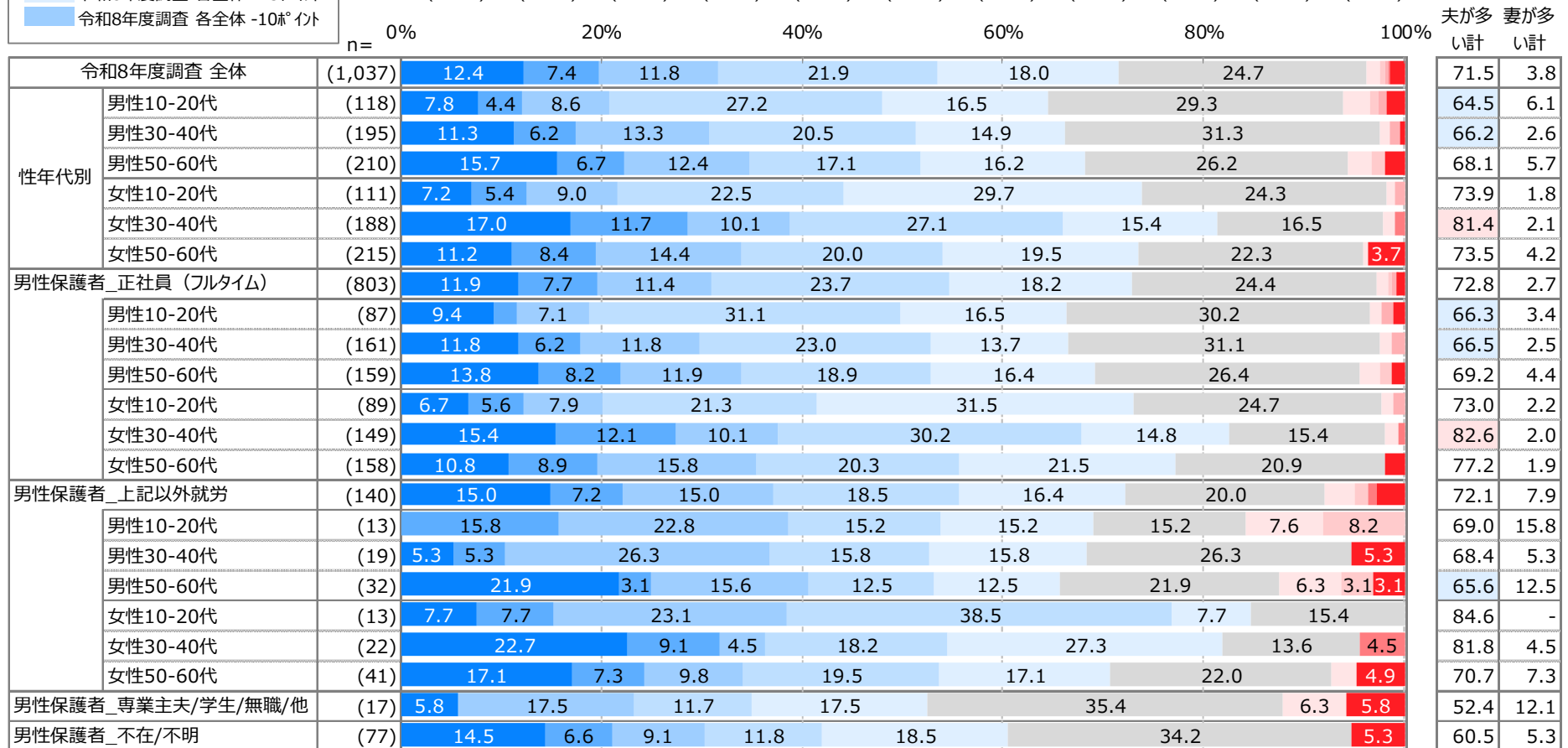
SA

n=30以上の場合

[比率の差]

令和8年度調査 各全体+10% イト
令和8年度調査 各全体 +5% イト
令和8年度調査 各全体 -5% イト
令和8年度調査 各全体 -10% イト

10:0 (夫:妻) 9:1 (夫:妻) 8:2 (夫:妻) 7:3 (夫:妻) 6:4 (夫:妻) 5:5 (夫:妻) 4:6 (夫:妻) 3:7 (夫:妻) 2:8 (夫:妻) 1:9 (夫:妻) 0:10 (夫:妻)



※3.0%未満のスコア非表示

※夫が多い計(「10:0(夫:妻)」~「6:4(夫:妻)」) ※妻が多い計(「4:6(夫:妻)」~「0:10(夫:妻)」)



【家事労働】理想の負担バランス×女性の保護者就労状況×性年代別

- ✓ 女性の保護者の就労状況×性年代別で家事労働の負担バランスをみると、全体の性年代別の傾向と概ね同じ。
 - ✓ 細かい所では、保護者が正社員(フルタイム)の女性50-60代では「夫が多い計」が他の性年代や、全体の女性50-60代よりやや高い。
- また、保護者が専業主婦の男性30代以上では、『妻が多い計』が他の性年代や、同じ性年代別の全体に比べると、やや高い。保護者が専業主婦の女性30-40代では、『妻が多い計』が他の性年代や、同じ性年代別の全体に比べると、やや低い。

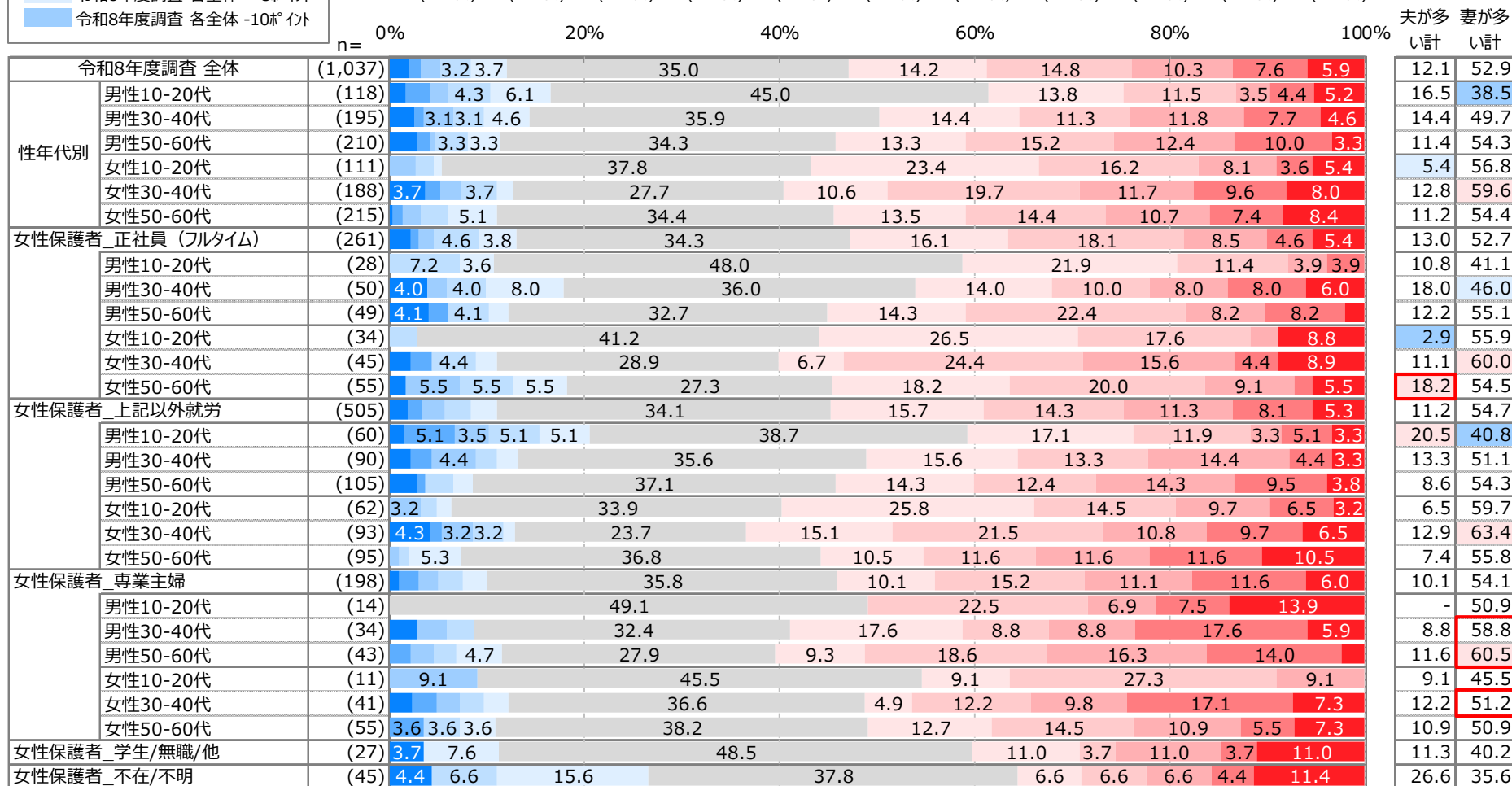
【比率の差】

令和8年度調査 各全体+10%以内
令和8年度調査 各全体 +5%以内
令和8年度調査 各全体 -5%以内
令和8年度調査 各全体 -10%以内

Q8 次の項目について、あなたと配偶者でどのようなバランスで負担することが理想だと思いますか。なお、あなた自身の実際の負担バランスにかかわらず、理想をお答えください。また、配偶者がいる、いないにかかわらず、お答えください。【家事労働について】

SA

10:0 (夫:妻) 9:1 (夫:妻) 8:2 (夫:妻) 7:3 (夫:妻) 6:4 (夫:妻) 5:5 (夫:妻) 4:6 (夫:妻) 3:7 (夫:妻) 2:8 (夫:妻) 1:9 (夫:妻) 0:10 (夫:妻)



※3.0%未満のスコア非表示

※夫が多い計(「10:0(夫:妻)」~「6:4(夫:妻)」) ※妻が多い計(「4:6(夫:妻)」~「0:10(夫:妻)」)

【家事労働】理想の負担バランス×男性の保護者就労状況×性年代別



✓ 男性の保護者は正社員(フルタイム)がかなり多いため、世帯収入の負担バランスと同様、保護者の就労状況による違いはほとんど見られない。

Q8 次の項目について、あなたと配偶者でどのようなバランスで負担することが理想だと思いますか。なお、あなた自身の実際の負担バランスにかかわらず、理想をお答えください。
また、配偶者がいる、いないにかかわらず、お答えください。【家事労働について】

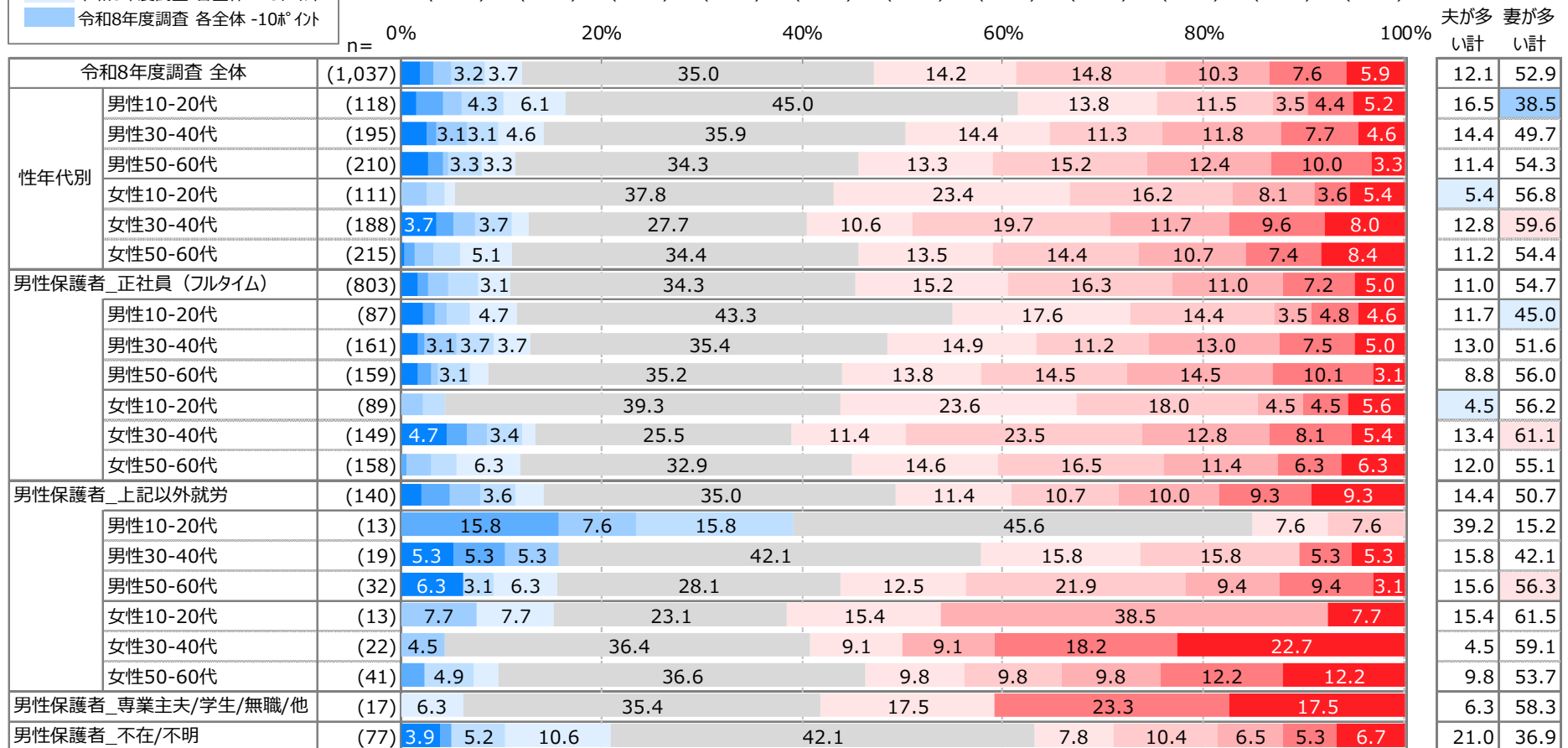
SA

n=30以上の場合

[比率の差]

令和8年度調査 各全体+10% イト
令和8年度調査 各全体 +5% イト
令和8年度調査 各全体 -5% イト
令和8年度調査 各全体 -10% イト

10:0 (夫:妻) 9:1 (夫:妻) 8:2 (夫:妻) 7:3 (夫:妻) 6:4 (夫:妻) 5:5 (夫:妻) 4:6 (夫:妻) 3:7 (夫:妻) 2:8 (夫:妻) 1:9 (夫:妻) 0:10 (夫:妻)



※3.0%未満のスコア非表示

※夫が多い計(「10:0(夫:妻)」~「6:4(夫:妻)」) ※妻が多い計(「4:6(夫:妻)」~「0:10(夫:妻)」)

【世帯収入】理想の負担バランス×自身の就労状況×性年代別



- ✓ 自身の就労状況×性年代別で見ると、女性は正社員(フルタイム)では「夫が多い計」が、パート・アルバイトや専業主婦に比べると低い。
- ✓ 男性は正社員(フルタイム)が多く、就労状況別での差は出ない。正社員と学生(男性)で比べると、正社員の方が「5:5」の割合が高く、「7:3」の割合がやや低い。

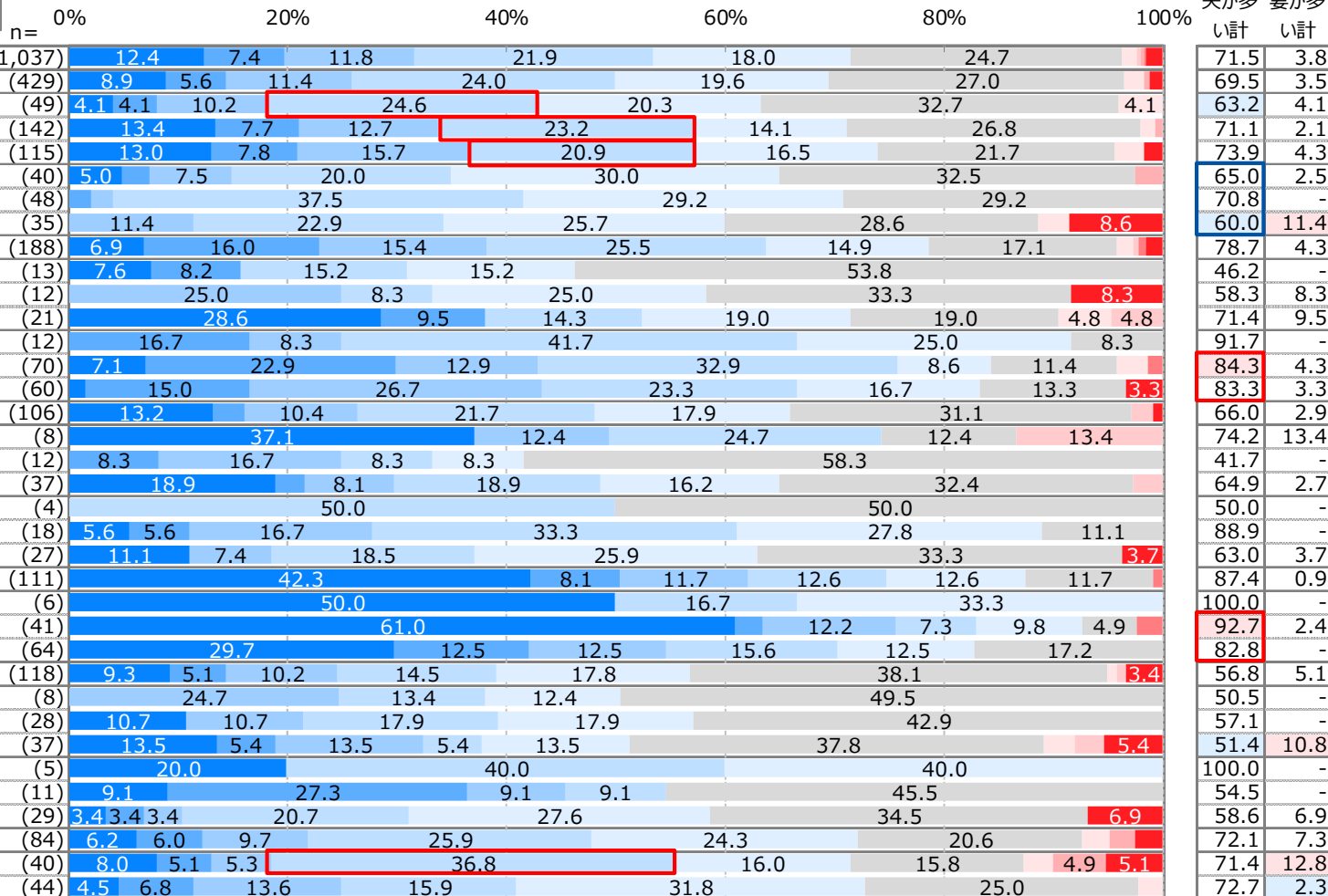
n=30以上の場合

[比率の差]

■ 令和8年度調査 各全体+10% 以内
■ 令和8年度調査 各全体 +5% 以内
■ 令和8年度調査 各全体 -5% 以内
■ 令和8年度調査 各全体 -10% 以内

Q8 次の項目について、あなたと配偶者でどのようなバランスで負担することが理想だと思いますか。なお、あなた自身の実際の負担バランスにかかわらず、理想をお答えください。また、配偶者がいる、いないにかかわらず、お答えください。【世帯収入について】 SA

■ 10:0 (夫:妻) ■ 9:1 (夫:妻) ■ 8:2 (夫:妻) ■ 7:3 (夫:妻) ■ 6:4 (夫:妻) ■ 5:5 (夫:妻) ■ 4:6 (夫:妻) ■ 3:7 (夫:妻) ■ 2:8 (夫:妻) ■ 1:9 (夫:妻) ■ 0:10 (夫:妻)



※3.0%未満のスコア非表示

※夫が多い計 (「10:0(夫:妻)」~「6:4(夫:妻)」) ※妻が多い計 (「4:6(夫:妻)」~「0:10(夫:妻)」)

【家事労働】理想の負担バランス×自身の就労状況×性年代別



- ✓ 自身の就労状況×性年代別で見ると、正社員(フルタイム)で男性10-20代/女性50-60代は「5:5」が約半数と、他の性年代に比べて高い。
- ✓ 専業主婦でも女性30-40代は50-60代に比べると、「5:5」の割合が低く、相対的に「夫が多い計」が高い。学生の男性も女性に比べると「5:5」の割合が低い。

n=30以上の場合

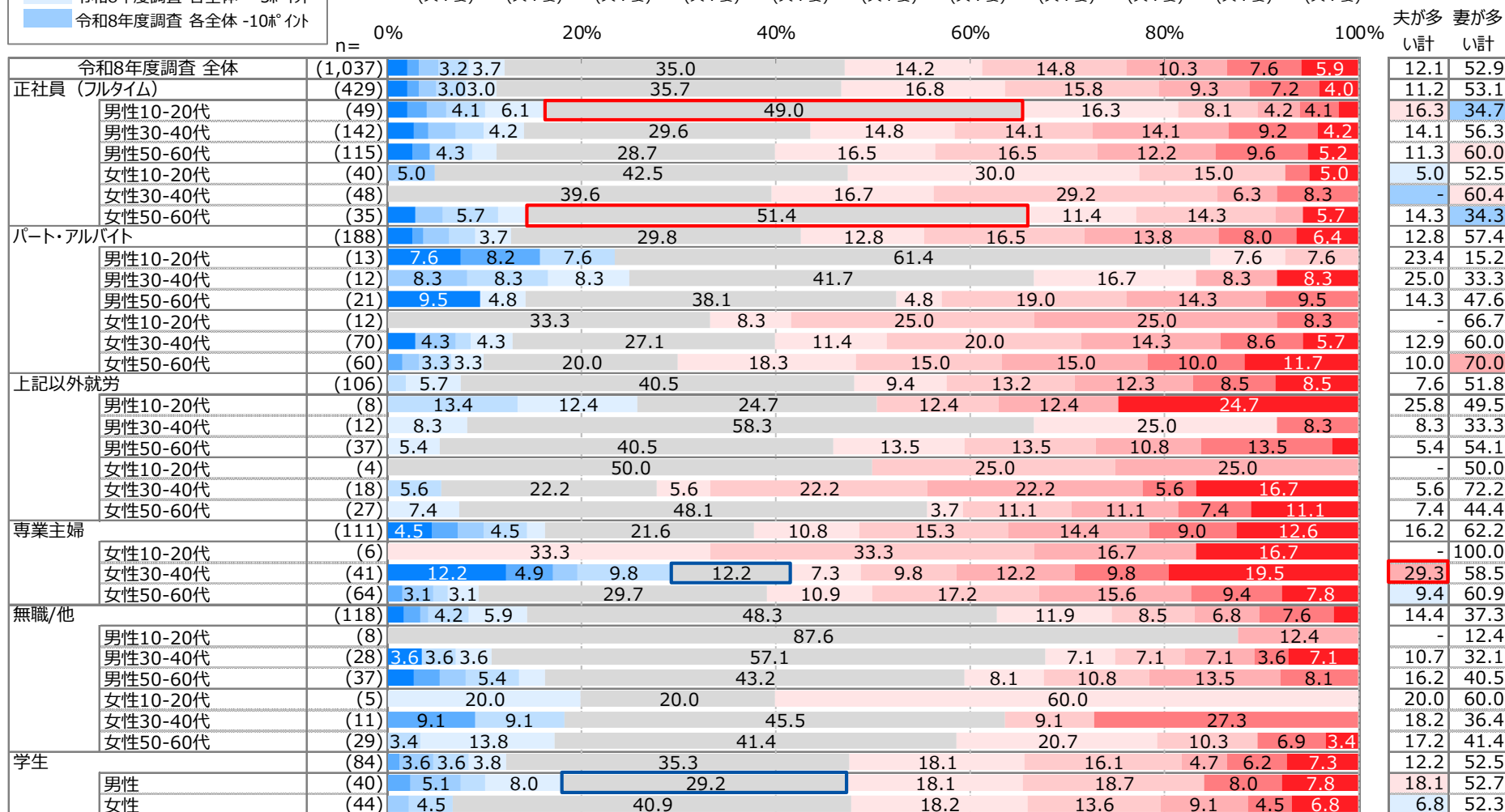
[比率の差]

■ 令和8年度調査 各全体+10%ポイント
■ 令和8年度調査 各全体+5%ポイント
■ 令和8年度調査 各全体-5%ポイント
■ 令和8年度調査 各全体-10%ポイント

Q8 次の項目について、あなたと配偶者でどのようなバランスで負担することが理想だと思いますか。なお、あなた自身の実際の負担バランスにかかわらず、理想をお答えください。また、配偶者がいる、いないにかかわらず、お答えください。【家事労働について】

SA

■ 10:0 (夫:妻)
 ■ 9:1 (夫:妻)
 ■ 8:2 (夫:妻)
 ■ 7:3 (夫:妻)
 ■ 6:4 (夫:妻)
 ■ 5:5 (夫:妻)
 ■ 4:6 (夫:妻)
 ■ 3:7 (夫:妻)
 ■ 2:8 (夫:妻)
 ■ 1:9 (夫:妻)
 ■ 0:10 (夫:妻)



※3.0%未満のスコア非表示

※【専業主婦】：男性は0サンプルのため、分析軸は未作成

※夫が多い計 (「10:0(夫:妻)」~「6:4(夫:妻)」) ※妻が多い計 (「4:6(夫:妻)」~「0:10(夫:妻)」)

【家事労働】理想の世帯収入バランス×性年代別

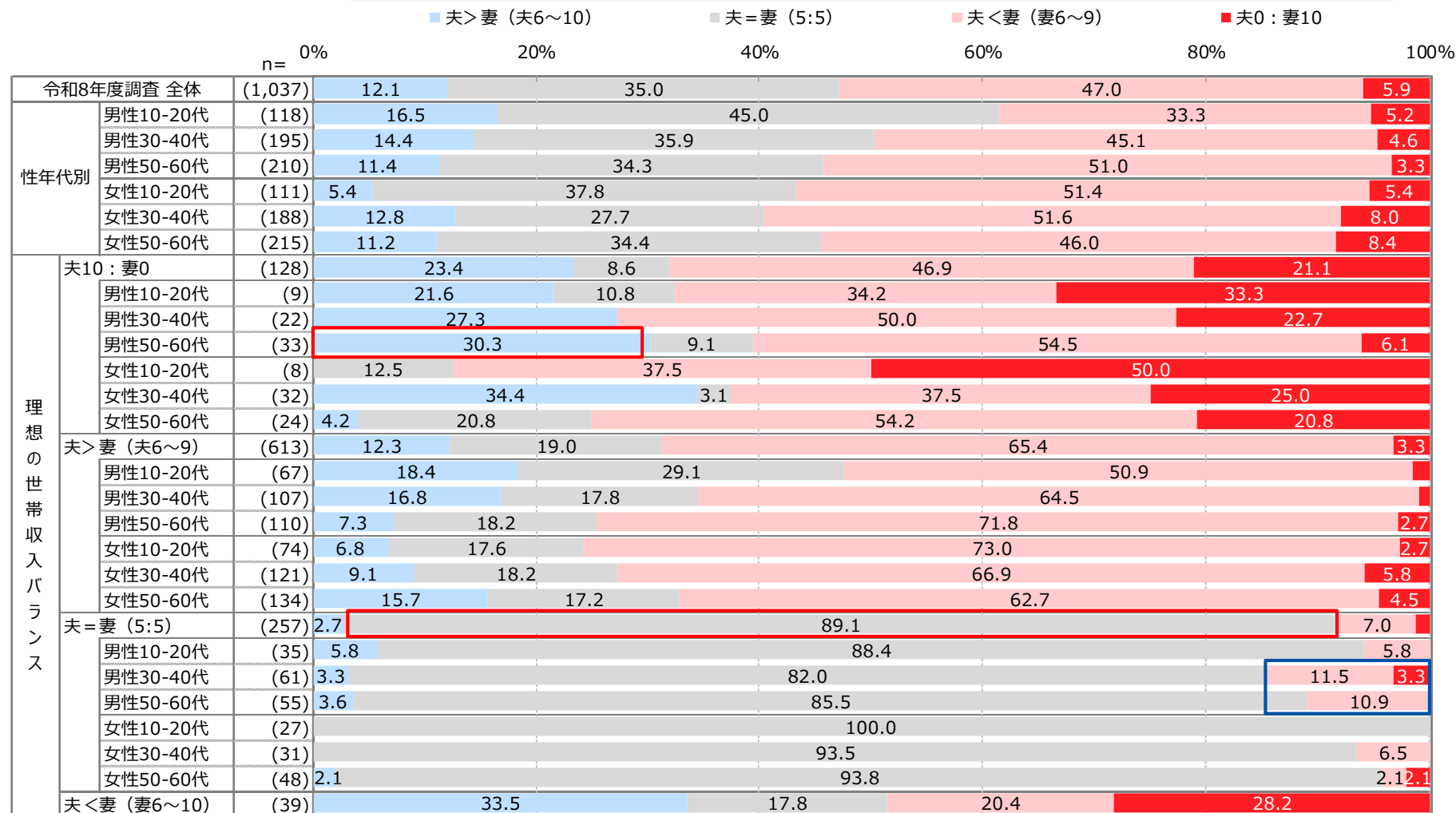


- ✓ 理想の世帯収入バランスが【夫10】層では、理想の家事バランス「妻10」20%前後にとどまる。男性では家事バランス「夫6～10」も30%前後見られる(参考値)。
- ✓ 【夫6～9】層では、家事バランスは「妻6～9」が65%前後。「妻10」は5%未満と【理想の世帯収入:夫10】層に比べると低い。
- ✓ また【5:5】と収入バランスが均等の場合、家事バランスも「5:5」が90%近い。ただし、男性30-60代は家事バランスで「妻6～9」が10%前後見られる。

Q8 次の項目について、あなたと配偶者でどのようなバランスで負担することが理想だと思いますか。なお、あなた自身の実際の負担バランスにかかわらず、理想をお答えください。
また、配偶者がいる、いないにかかわらず、お答えください。【世帯収入について】

SA

【家事労働】理想の負担バランス



※2.0%未満のスコア非表示

【保護者】自分が18歳までの就労状況



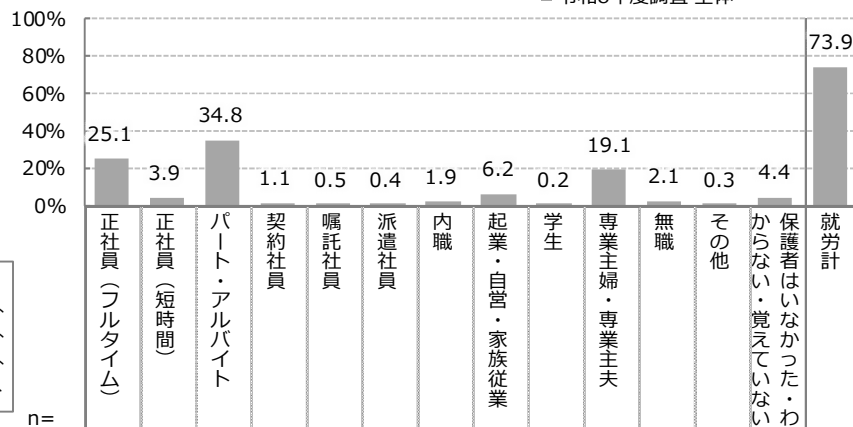
- ✓ 自分が18歳までの保護者の就業状況は、女性の保護者は「パート・アルバイト」が35%でトップ。「正社員(フルタイム)」(25%)、「専業主婦」(19%)と続く。「就労計」は74%。男性の保護者は、「正社員(フルタイム)」77%と、圧倒的。
- ✓ 女性の保護者を年代別でみると、20代では「パート・アルバイト」が他の年代より高く、「専業主婦」は11%に留まる。そのため、就労計が84%と高い。

Q9 あなたが18歳までの頃、あなたの保護者はどのような就労状況でしたか。※複数該当する場合は、最も期間が長かったもの、または最もあてはまるものをお選びください。
※15～18歳の方は、現在の保護者の就労状況をお答えください。

SA

女性の保護者

■ 令和8年度調査 全体



n=30以上の場合

[比率の差]

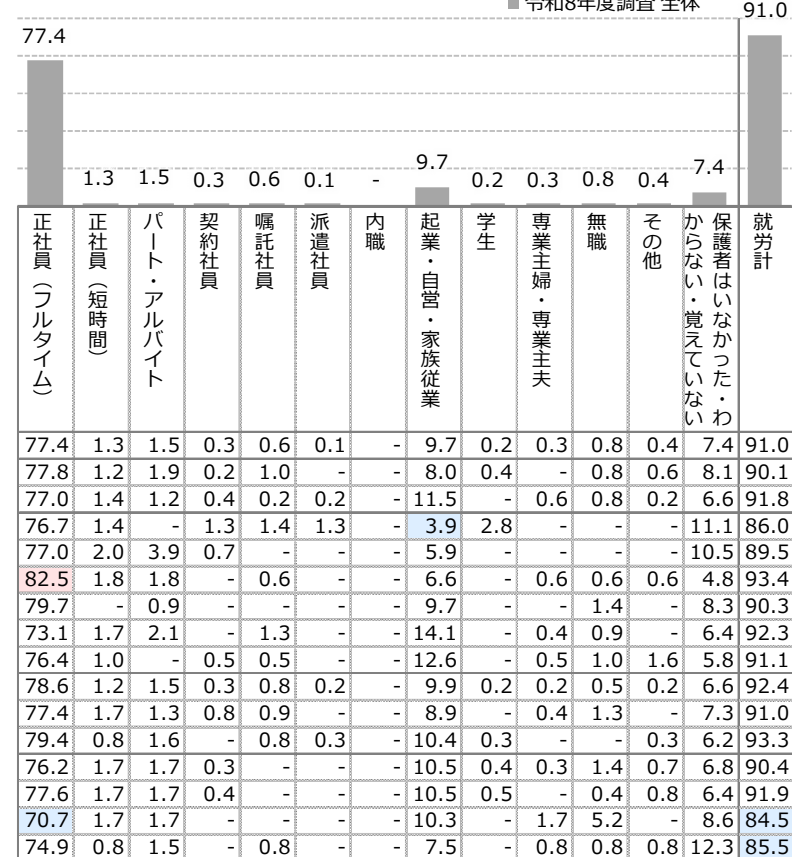
令和8年度調査 全体+10ポイント
令和8年度調査 全体 +5ポイント
令和8年度調査 全体 -5ポイント
令和8年度調査 全体 -10ポイント

n=

令和8年度調査 全体		(1,037)	25.1	3.9	34.8	1.1	0.5	0.4	1.9	6.2	0.2	19.1	2.1	0.3	4.4	73.9
性別	男性	(523)	24.2	5.4	33.6	1.0	0.8	-	2.5	5.6	0.4	17.5	2.3	0.2	6.6	73.0
	女性	(514)	26.1	2.3	36.0	1.2	0.2	0.8	1.4	6.8	-	20.8	1.9	0.4	2.1	74.7
年代	10代	(77)	23.1	10.7	33.4	1.3	-	1.3	-	4.0	2.8	10.9	5.4	-	7.0	73.8
	20代	(152)	28.9	5.3	45.4	1.3	-	0.7	0.7	1.3	-	11.2	1.3	-	3.9	83.6
	30代	(166)	21.1	6.6	38.6	1.8	0.6	0.6	0.6	4.8	-	18.1	1.2	0.6	5.4	74.7
	40代	(217)	27.6	2.8	35.0	0.5	0.5	-	0.5	4.1	-	20.7	1.8	-	6.5	71.0
	50代	(234)	22.2	1.3	32.1	1.3	0.4	0.4	5.6	8.5	-	22.2	1.7	-	4.3	71.8
	60代	(191)	27.2	2.1	26.7	0.5	1.0	-	2.1	11.5	-	24.1	3.1	1.0	0.5	71.2
性別意識の影響 ない選択	できている計	(609)	26.9	4.6	34.1	1.0	0.5	0.5	1.5	6.7	0.2	19.1	2.0	0.2	2.8	75.8
	できている	(235)	31.6	5.2	29.5	1.7	0.4	1.3	0.8	6.0	-	17.1	3.4	-	3.0	76.6
	どちらかというできている	(374)	23.9	4.3	37.0	0.5	0.5	-	1.9	7.2	0.3	20.4	1.1	0.3	2.7	75.3
	できていない計	(295)	22.0	3.4	36.6	1.4	0.3	0.3	2.7	5.4	0.4	19.7	2.4	0.7	4.8	72.1
	あまりできていない	(237)	22.7	3.8	37.5	1.7	0.4	0.4	2.9	5.9	0.5	16.9	1.7	0.8	4.7	75.4
	できていない	(58)	19.0	1.7	32.8	-	-	-	1.7	3.4	-	31.0	5.2	-	5.2	58.6
わからない	わからない	(133)	24.2	1.5	34.0	0.8	0.8	-	2.3	5.3	-	18.2	2.3	-	10.8	68.7

男性の保護者

■ 令和8年度調査 全体



【自身の就労状況】女性の保護者就労状況×性年代別



- ✓ 自身の就労状況について、女性の保護者が正社員(フルタイム)層は、全ての性年代で自身「正社員(フルタイム)」が全体の性年代と比べてやや高い。
- ✓ 女性の保護者が専業主婦層では、自身が「専業主婦」は女性30-60代で、全体の女性30-60代と比べてやや高い。「その他就労」はやや低い。
- ✓ 女性の保護者が上記以外就労層では、性年代別の傾向は、全体の性年代別と比べてもあまり変わらない。

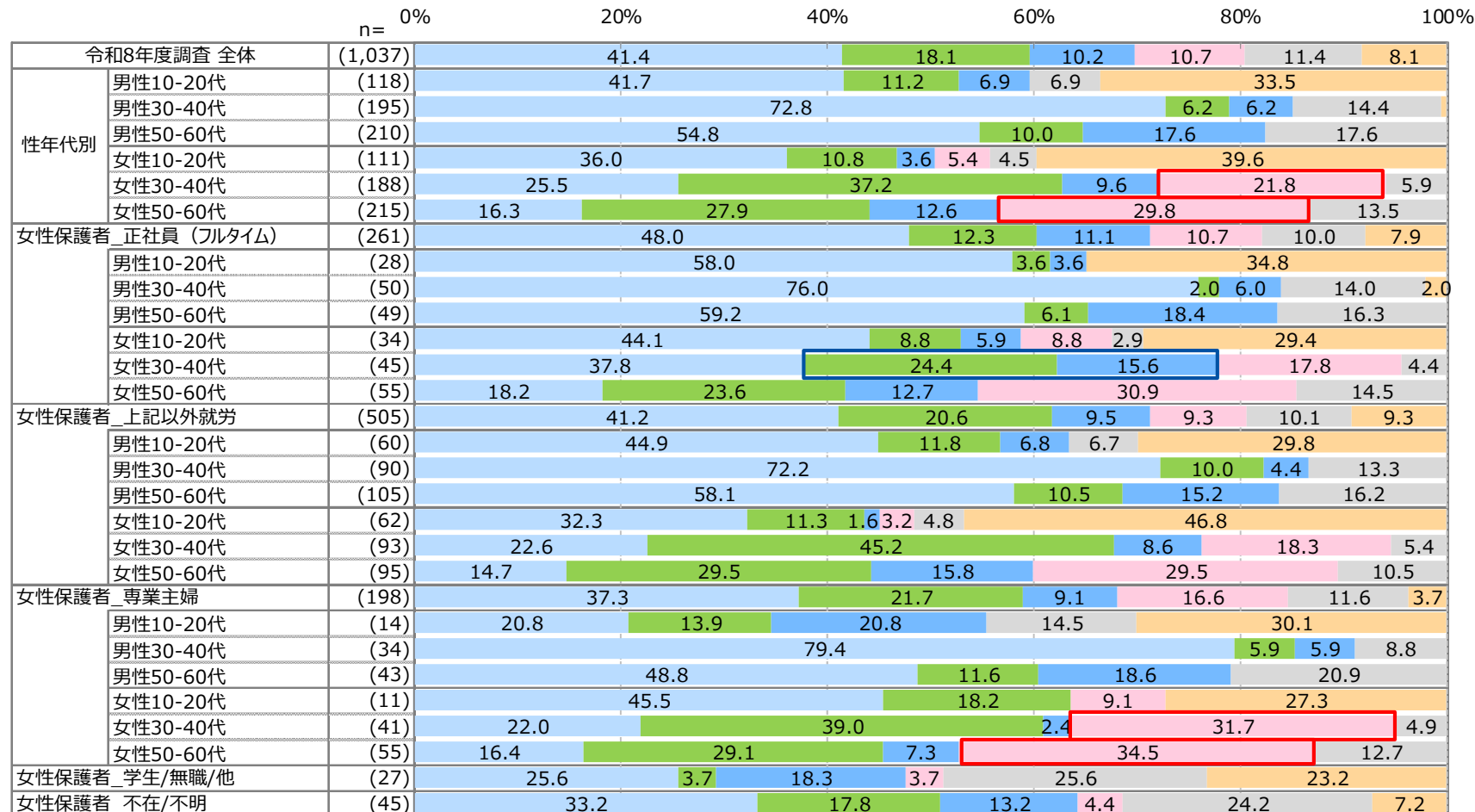
Q16 現在の就業形態についておうかがいします。あてはまるものをお答えください。※複数該当する場合は、最もあてはまる形態をお選びください。
※学生でパート・アルバイト等をされている方は、「学生」をお選びください。

SA

※分析軸の「上記以外就労」には「パート・アルバイト」も含む。

(選択肢とは合算の定義が異なることに留意／サンプル数の都合)

■ 正社員（フルタイム） ■ パート・アルバイト ■ その他就労 ■ 専業主婦・専業主夫 ■ 無職/その他 ■ 学生



※1.0%未満のスコア非表示 ※選択肢 その他就労：正社員（短時間）／契約社員／嘱託社員／派遣社員／内職／起業・自営・家族従業（各スコアが小さいため合算）

【自身の就労状況】男性の保護者就労状況×性年代別



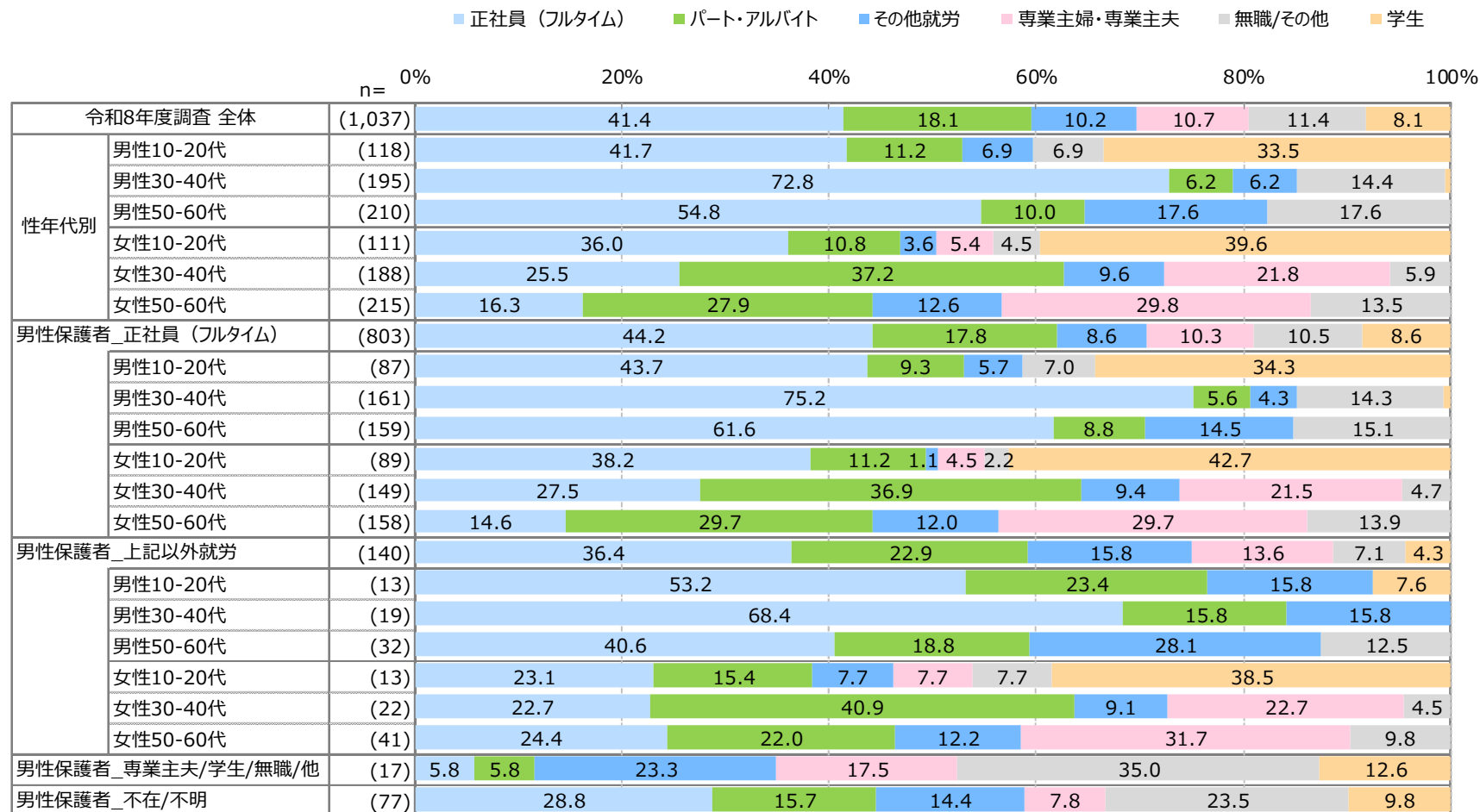
✓ 男性の保護者は正社員(フルタイム)がかなり多いため、保護者の就労状況による違いはほとんど見られない。

Q16 現在の就業形態についておうかがいします。あてはまるものをお答えください。※複数該当する場合は、最もあてはまる形態をお選びください。

※学生でパート・アルバイト等をされている方は、「学生」をお選びください。

SA

※男性の保護者では、ほとんど専業主夫が存在しないため、
前スライドの女性の保護者とは分析軸の合算の定義が異なる。



※1.0%未満のスコア非表示 ※選択肢 その他就労：正社員（短時間）／契約社員／嘱託社員／派遣社員／内職／起業・自営・家族従業（各スコアが小さいため合算）

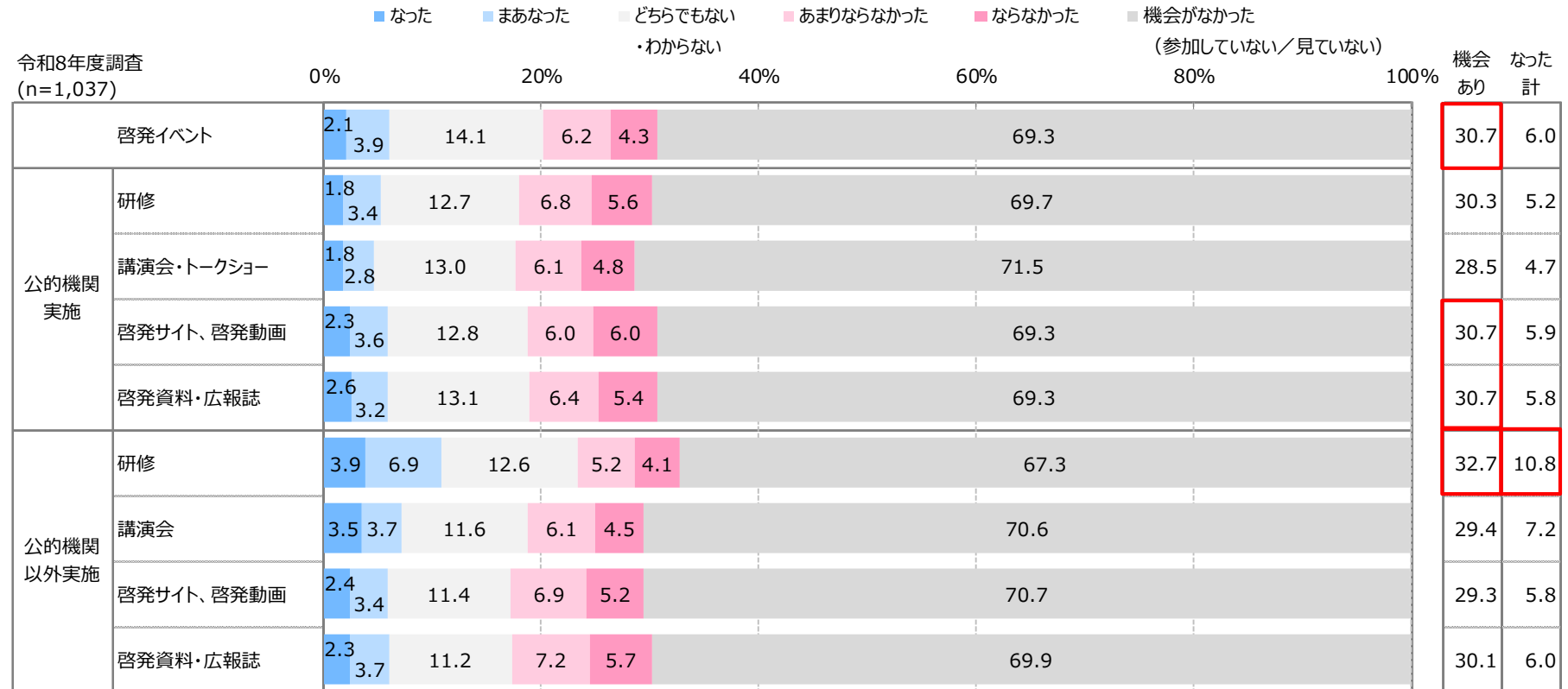
男女共同参画についての機会【全体】



- ✓ 男女共同参画について、「機会あり」は『公的機関以外実施の研修』が33%でトップ。他のイベントや研修会なども30%前後で並ぶ。
- ✓ 考える機会に「なった計」は、『公的機関以外実施の研修』が11%でトップ。他のイベントや研修会などは5%未満にとどまり、「どちらでもない・わからない」～「ならなかった」の方が多数を占める状況。参加するだけ／見ただけで、実効力まで伴っていない様子。

Q10 あなたは、最近1年間で、男女共同参画に関するイベント・研修会・講演会などに参加したり、啓発サイト、啓発資料などを見ることによって男女共同参画について考えたり気づく機会になりましたか。

SA



※ (「なった」～「ならなかった」)

※ (「なった」+「まあなった」)

男女共同参画についての機会【属性別】



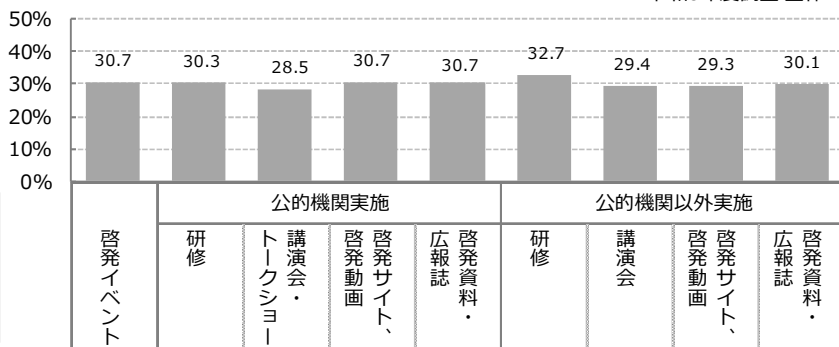
- ✓ 男女共同参画について考えたり気づく機会について、「機会あり計」を性別でみると、全ての項目で男性が女性を上回る。年代別でみると、全ての項目で60代のスコアが最も低く、機会自体が少ない様子。
- ✓ 「考えたり気づく機会になった計」を年代別でみると、全般的に年代が低いほどスコアが高くなる傾向で、10代は全ての項目で最も高いスコアとなっている。

Q10 あなたは、最近1年間で、男女共同参画に関するイベント・研修会・講演会などに参加したり、啓発サイト、啓発資料などを見ることによって男女共同参画について考えたり気づく機会になりましたか。

SA

機会あり計

■ 令和8年度調査 全体



n=30以上の場合

[比率の差]

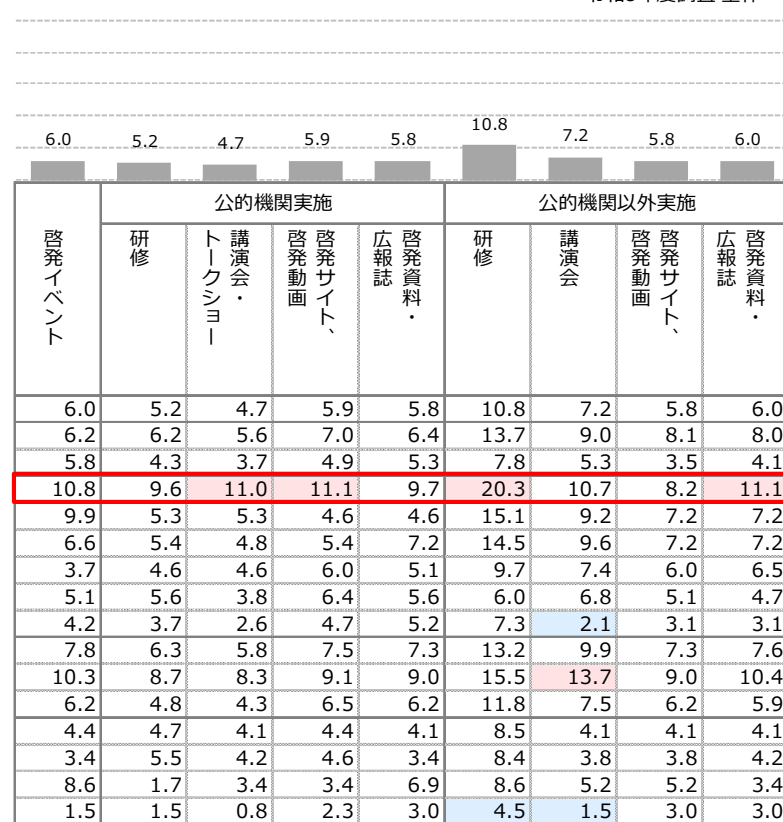
- 令和8年度調査 全体+10%以内
- 令和8年度調査 全体 +5%以内
- 令和8年度調査 全体 -5%以内
- 令和8年度調査 全体 -10%以内

n=									
1,037)	30.7	30.3	28.5	30.7	30.7	32.7	29.4	29.3	30.1
(523)	36.1	37.1	35.8	37.3	37.7	40.2	36.5	36.4	37.3
(514)	25.1	23.3	21.2	23.9	23.5	25.1	22.2	22.2	22.8
(77)	31.1	31.1	28.6	35.5	34.1	35.3	33.9	35.4	35.5
(152)	33.6	33.6	33.6	32.9	30.9	40.1	32.9	30.3	30.9
(166)	34.9	33.7	31.9	34.3	34.3	36.1	33.7	33.1	33.7
(217)	30.4	30.4	27.2	30.4	30.9	32.7	28.6	28.6	30.0
(234)	30.3	29.1	27.8	29.9	29.5	30.3	27.8	26.9	28.2
(191)	25.1	25.7	24.1	25.1	27.2	25.7	24.1	26.7	26.7
(609)	32.1	31.5	29.2	32.0	31.8	34.1	30.8	30.5	31.2
(235)	30.4	30.0	27.9	31.7	30.0	33.4	29.6	28.7	30.5
(374)	33.2	32.4	30.0	32.2	33.0	34.6	31.6	31.7	31.7
(295)	31.8	30.8	29.8	32.2	31.9	33.2	29.5	29.8	31.5
(237)	31.2	30.7	29.5	32.5	32.1	32.5	28.7	29.6	31.7
(58)	34.5	31.0	31.0	31.0	31.0	36.2	32.8	31.0	31.0
(133)	21.3	23.5	22.8	21.3	22.8	25.0	22.8	22.8	22.0

※スコアは機会あり計（「なった」～「ならなかった」）

考えたり気づく機会になった計

■ 令和8年度調査 全体



※スコアは考えたり気づく機会になった計（「なった」+「まあなった」）

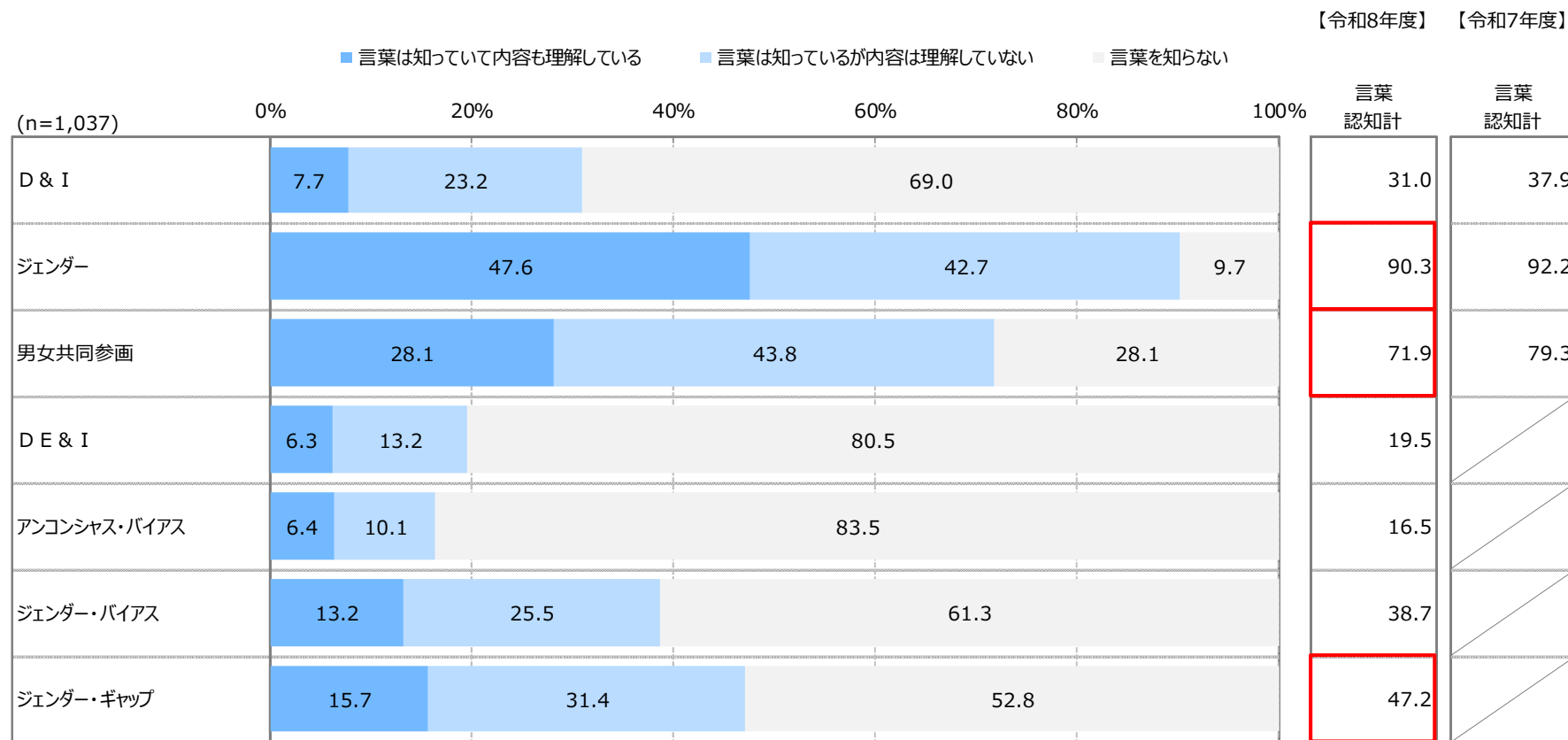
文言認知【全体】



- ✓ 文言の認知については、「言葉認知計」は『ジェンダー』が90%でトップ。『男女共同参画』(72%)、『ジェンダー・ギャップ』(47%)と続く。
- ✓ 「言葉は知っていて内容も理解している」も同様の順。
- ✓ 『DE & I』『アンコンシャス・バイアス』は「言葉を知らない」が80%を超え、浸透が進んでいない。

Q11 あなたは、次の言葉についてどの程度知っていますか。

SA



※言葉認知計（「言葉は知っていて内容も理解している」+「言葉は知っているが内容は理解していない」）

文言認知【属性別】

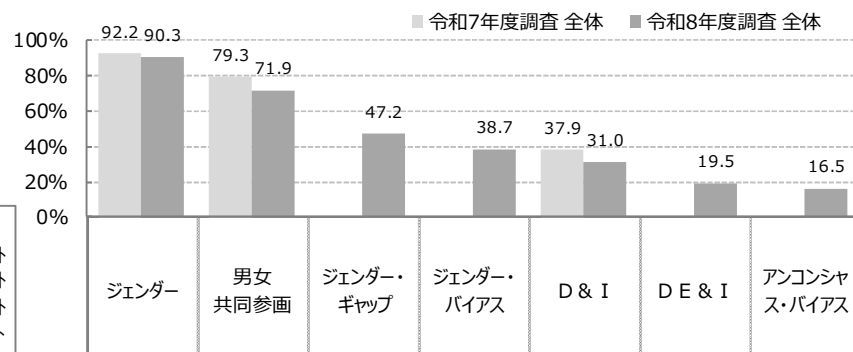


- ✓「文言認知計」を性別でみると、「ジェンダー」以外の項目で男性が女性を上回り、男性の認知率が高い。また、年代別でみると、10代で全般的に認知率が高い傾向。なお、60代では「男女共同参画」が80%をこえており、高い点が特徴。
- ✓「内容理解計」を年代別でみると、「文言認知計」と同様に、10代で全般的に内容理解率が高い傾向。

Q11 あなたは、次の言葉についてどの程度知っていますか。

SA

文言認知計



n=30以上の場合

[比率の差]

- 令和8年度調査 全体+10ポイント
- 令和8年度調査 全体 +5ポイント
- 令和8年度調査 全体 -5ポイント
- 令和8年度調査 全体 -10ポイント

n=

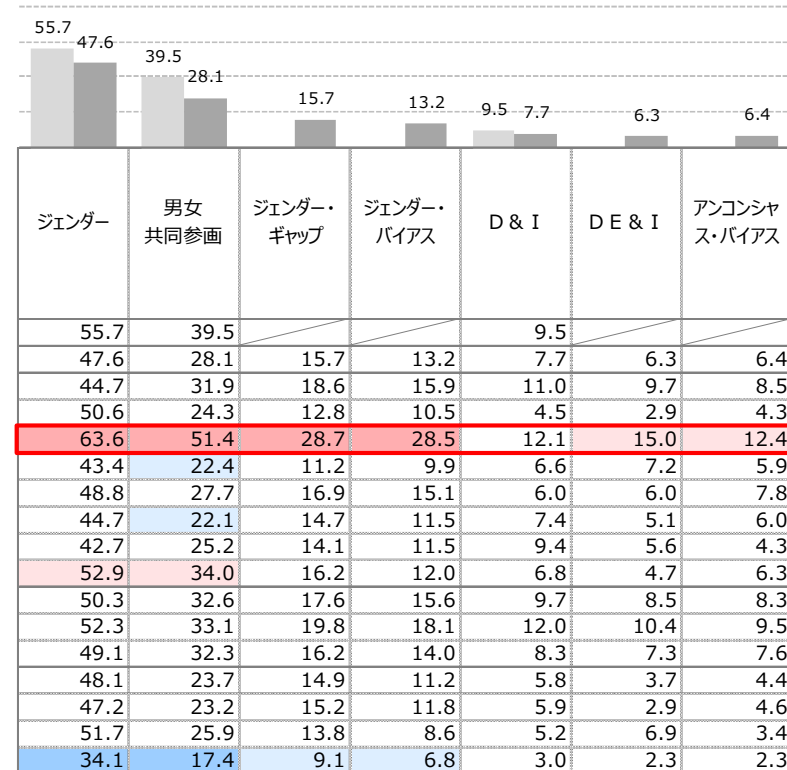
		令和7年度調査 全体	(2,044)	92.2	79.3			37.9			
		令和8年度調査 全体	(1,037)	90.3	71.9	47.2	38.7	31.0	19.5	16.5	
性別	男性	(523)	87.3	75.6	53.2	41.9	36.0	25.5	20.8		
	女性	(514)	93.4	68.1	41.1	35.4	25.9	13.4	12.1		
年代	10代	(77)	90.3	82.5	60.0	59.6	39.5	31.4	22.0		
	20代	(152)	82.9	60.5	44.7	42.1	25.7	21.7	20.4		
	30代	(166)	88.0	71.1	46.4	45.2	30.7	20.5	16.9		
	40代	(217)	89.9	65.0	47.9	39.2	32.7	18.4	16.1		
	50代	(234)	93.6	73.9	47.0	32.5	32.1	19.7	17.9		
	60代	(191)	94.8	82.7	44.0	28.8	28.8	13.1	9.4		
性別意識 の影響 ない選択	できている計	(609)	93.6	75.4	48.6	41.8	34.1	24.5	20.2		
	できている どちらかというできている	(235)	91.9	75.8	43.0	37.8	31.4	25.0	19.4		
	できている どちらかというできている	(374)	94.6	75.1	52.1	44.3	35.7	24.2	20.7		
	できていない計	(295)	89.8	71.2	50.2	38.0	31.1	14.6	11.8		
	あまりできていない	(237)	90.3	70.0	48.9	38.4	29.1	12.6	10.1		
	できていない	(58)	87.9	75.9	55.2	36.2	39.7	22.4	19.0		
	わからない	(133)	76.4	57.5	34.1	25.7	16.6	7.5	9.8		

※スコアは文言認知計（「言葉は知っていて内容も理解している」+「言葉は知っているが内容は理解していない」）

※「令和8年度調査 全体」のスコアで降順ソート

内容理解計

令和7年度調査 全体 令和8年度調査 全体



※スコアは「言葉は知っていて内容も理解している」

※「令和8年度調査 全体（文言認知計）」のスコアで降順ソート

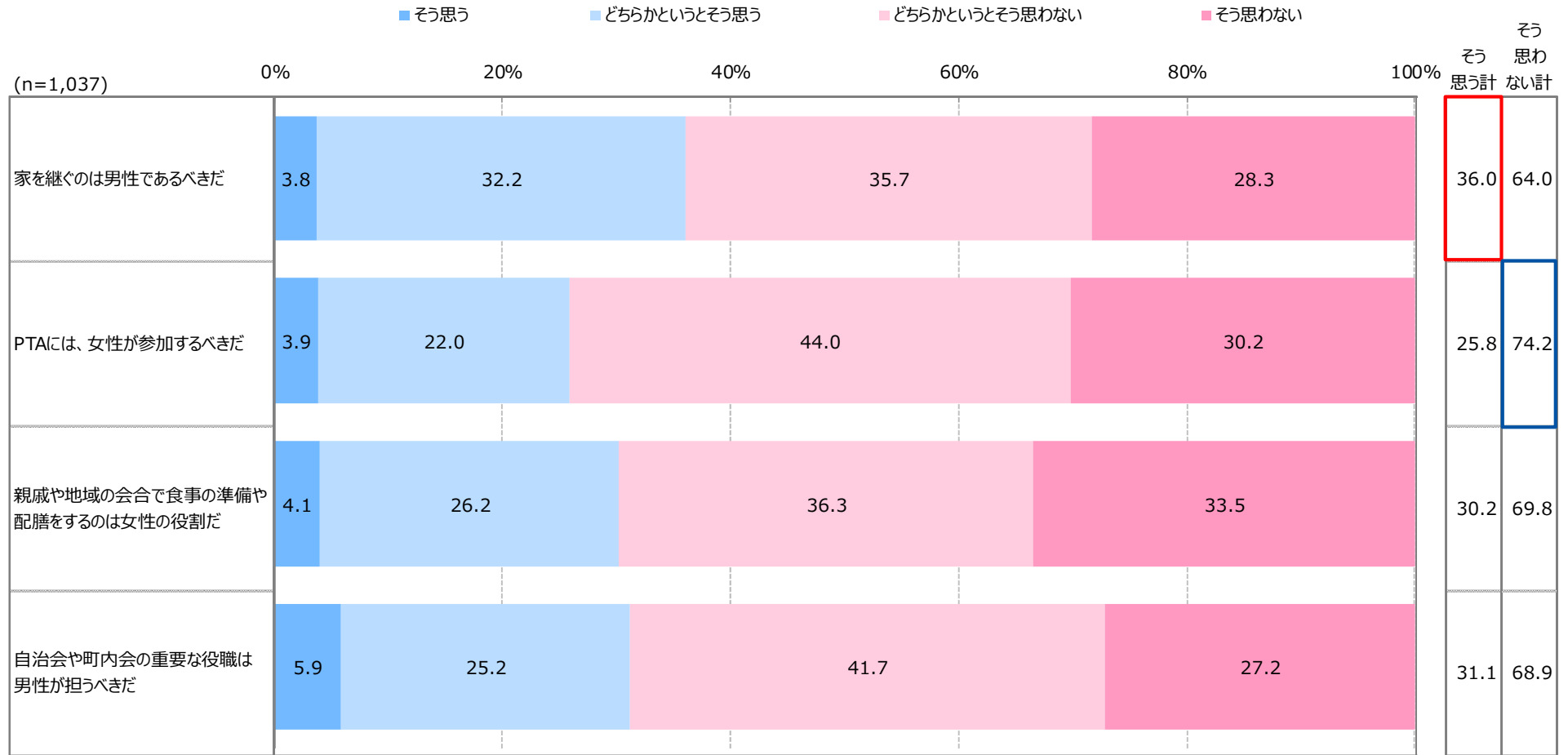
男女の役割に対する意見【全体】



- ✓ 男女の役割に対する意見では、『家を継ぐのは男性であるべきだ』が「思う計」36%でトップ。
- ✓ 一方、『PTAには、女性が参加するべきだ』は、「そう思わない計」が74%でトップ。

Q12 あなたは、次のそれぞれの考え方についてどうお考えですか。あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA



※思う計（「思う」＋「どちらかというと思う」） ※そう思わない計（「どちらかというと思わない」＋「そう思わない」）

男女の役割に対する意見【属性別】



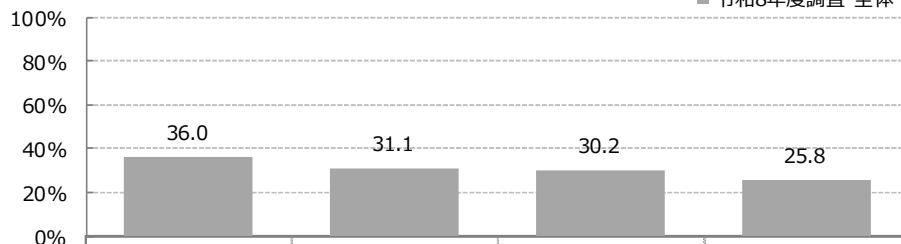
- ✓ 性別でみると『家を継ぐのは男性～』『PTAには、女性～』について、男性の「そう思う計」が女性より10pt以上高く、特に男女で差がみられる。
- ✓ 年代別では10～20代の若年層において、『家を継ぐのは男性～』がやや高い。一方、60代では『親戚や地域の会合で～』が他の年代より高い。
- ✓ 「そう思わない計」は、「そう思う計」と逆の傾向。

Q12 あなたは、次のそれぞれの考え方についてどうお考えですか。あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

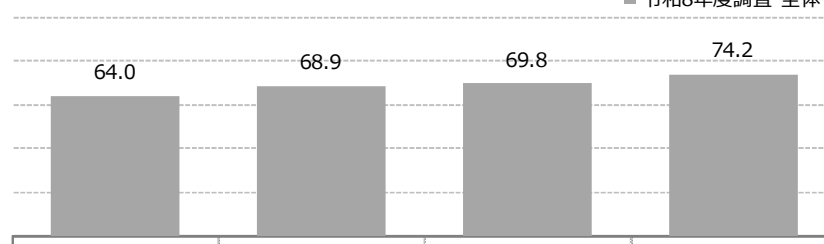
そう思う計

■ 令和8年度調査 全体



そう思わない計

■ 令和8年度調査 全体



n=30以上の場合

[比率の差]	
令和8年度調査 全体 +10% 以上	
令和8年度調査 全体 +5% 以上	
令和8年度調査 全体 -5% 以上	
令和8年度調査 全体 -10% 以上	

令和8年度調査 全体		n=	継ぐのは男性	自治会や町内会の重要な役職は男性	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳するのは女性	PTAには、女性が参加するべき
(1,037)			36.0	31.1	30.2	25.8
性別	男性	(523)	42.0	28.7	33.8	30.9
	女性	(514)	30.0	33.7	26.7	20.6
年代	10代	(77)	44.7	31.1	29.4	25.6
	20代	(152)	42.8	32.9	27.0	24.3
	30代	(166)	34.9	27.7	30.7	22.3
	40代	(217)	35.9	29.0	27.2	28.6
	50代	(234)	32.5	32.1	29.5	24.4
	60代	(191)	32.5	34.0	37.2	28.8
性別意識の影響がない選択	できている計	(609)	32.3	31.1	27.8	
	できている	(235)	35.7	32.5	24.8	24.8
	どちらかというとき	(374)	41.6	32.1	35.1	29.7
	できている計	(295)	30.8	31.2	28.8	22.3
	あまりできていない	(237)	31.6	32.5	27.8	21.1
	できていない	(58)	27.6	25.9	32.8	27.6
	わからない	(133)	32.5	25.8	29.6	24.3

※スコアはそう思う計（「そう思う」+「どちらかというとき思う」）

※「令和8年度調査 全体」のスコアで降順ソート

令和8年度調査 全体		n=	継ぐのは男性	自治会や町内会の重要な役職は男性	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳するのは女性	PTAには、女性が参加するべき
(1,037)			64.0	68.9	69.8	74.2
性別	男性	(523)	58.0	71.3	66.2	69.1
	女性	(514)	70.0	66.3	73.3	79.4
年代	10代	(77)	55.3	68.9	70.6	74.4
	20代	(152)	57.2	67.1	73.0	75.7
	30代	(166)	65.1	72.3	69.3	77.7
	40代	(217)	64.1	71.0	72.8	71.4
	50代	(234)	67.5	67.9	70.5	75.6
	60代	(191)	67.5	66.0	62.8	71.2
性別意識の影響がない選択	できている計	(609)	60.7	67.7	68.9	72.2
	できている	(235)	64.3	67.5	75.2	75.2
	どちらかというとき	(374)	58.4	67.9	64.9	70.3
	できている計	(295)	69.2	68.8	71.2	77.7
	あまりできていない	(237)	68.4	67.5	72.2	78.9
	できていない	(58)	72.4	74.1	67.2	72.4
	わからない	(133)	67.5	74.2	70.4	75.7

※スコアはそう思わない計（「どちらかというとき思わない」+「そう思わない」）

※「令和8年度調査 全体（そう思う計）」のスコアで降順ソート



4. 内閣府のデータ比較（全国と広島県の比較）



全体の傾向

全国と令和8年度調査の全体値を比較した結果から、全国と意識差が大きく開く項目が多い。

特に、広島県民において男女の地位は平等だと思う“意識”は高い。

一方で男女の役割に対する固定観念も全国より強く、女性が働くことに対する肯定感も全国に比べて低い。

実際の男女共同参画の実態と意識で乖離が生じている場合、両者の“ねじれ”が発生していることを示す。

今後は男女共同参画の浸透をはかりながらも、県内の産業や雇用事情を考慮しつつ、制度改革を通じた意識変容や女性の雇用創出など、根本原因を取り除くような取組も合わせて進めていく必要があるのではないか。

（制度を変えることで、行動を先に変え、意識は追って変容・浸透する）

➤ 性別、年代別、性年代別の傾向

- 性別では、男性の方が女性に比べると全国との差が開く。
ただし、Q5男女の役割分担賛否では、女性40代以下で「賛成計」が全国より10pt以上高い。
- 性別の差が大きく、上記以外の年代別／性年代別では、特徴的な傾向は見られない。

➤ エリア別、エリア別×性別の傾向

- エリア別／エリア×性別でも、全国と広島県では意識に差が見られる。
広島県と似たスコア傾向が見られるエリア／エリア×性年代は見当たらない。（ごく一部の項目では、広島県と同程度のスコアも見られる。）

➤ 男女の役割に対する意見（Q11/そう思う・計）のスコア差 ※比較は令和4年調査であることに留意

- 男女の役割に対する意見では、聴取全4項目で、広島県の男女はそう思う・計のスコアが全国より高い。
特に「家を継ぐのは男性であるべきだ」が男女とも全国との差が大きい。全国との差分は、年代の偏りはあまり見られない。

【全体・性別・年代別】男女の平等性_属性優遇・平等



- ✓ 広島県と全国を比較すると、広島県の方が男性優遇のスコアがほとんどの項目で低く、その分、平等のスコアが高い。
特に「政治の場で」「社会通念・慣習・しきたりなどで」「社会全体で」「家庭生活で」は全国と差が開く。
- ✓ 性別や、年代別も同様の傾向。ただし、男女では全国とのスコア差の大きさが異なる。男性は上記4項目について、全国と比べると17～25ptも低く、全国と比べて男性優遇の意識が低く、平等意識が高い。女性は、男性優遇の意識が全国と比べて10pt前後低く、男性に比べると全国との差は小さい。

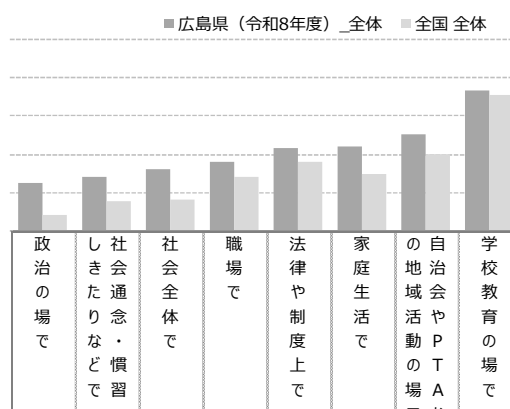
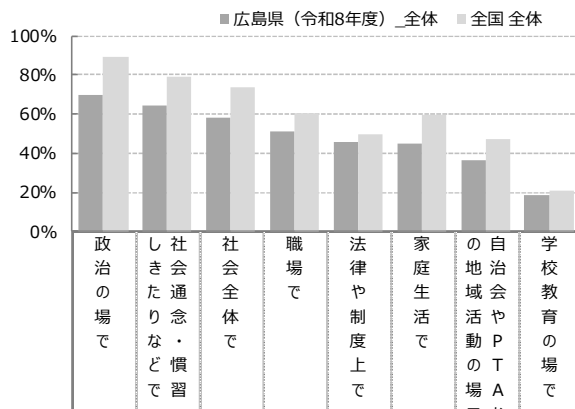
Q4 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

男性優遇計

女性優遇計

平等



n=30以上の場合

[比率の差]
■ 全国+10%以上
■ 全国+5%以上
■ 全国-5%以上
■ 全国-10%以上

※同じ属性の項目で差分を色付け

n=

全国_全体			(1,921)	88.8	79.1	73.9	60.3	49.9	59.6	46.9	20.7
広島県（令和8年度）_全体			(995)	70.1	64.3	58.3	51.3	45.8	44.7	36.2	18.6
性別	男性	全国	(868)	82.5	68.8	61.7	51.4	36.5	47.2	36.2	13.9
		広島県（令和8年度）	(504)	57.8	52.2	44.3	40.9	30.2	28.4	23.5	12.0
	女性	全国	(1,053)	94.0	87.5	83.9	67.7	61.0	69.8	55.8	26.3
		広島県（令和8年度）	(491)	82.7	76.8	72.7	61.9	61.7	61.3	49.3	25.5
年代	18～29歳	全国	(252)	86.1	63.9	60.3	45.6	38.5	40.9	33.3	10.3
		広島県（令和8年度）	(187)	60.5	50.8	44.1	42.2	37.6	35.5	26.5	17.3
	30代	全国	(294)	89.8	76.2	69.4	61.2	41.5	56.5	42.2	19.7
		広島県（令和8年度）	(166)	66.3	57.8	51.8	48.2	42.8	33.7	31.9	15.1
	40代	全国	(415)	88.4	80.5	73.7	58.8	50.6	59.3	48.9	21.0
		広島県（令和8年度）	(217)	70.5	63.1	59.4	47.0	46.1	50.2	35.5	13.8
	50代	全国	(490)	88.0	80.6	75.9	62.7	53.7	62.7	50.2	24.3
		広島県（令和8年度）	(234)	73.1	68.4	59.8	55.1	47.9	44.9	41.5	23.1
	60代	全国	(470)	90.9	86.2	81.9	66.6	56.8	68.7	52.1	23.0
		広島県（令和8年度）	(191)	78.5	79.6	74.9	62.8	53.4	56.5	44.0	23.0

※全国_全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

2.4	4.7	8.6	11.4	13.8	10.1	11.7	7.2
5.3	7.6	9.5	13.0	11.1	11.6	13.5	8.4
3.7	8.3	14.4	16.5	20.5	14.5	15.9	10.7
8.2	10.4	14.6	18.7	15.2	15.4	18.5	11.4
1.4	1.8	3.9	7.3	8.3	6.5	8.2	4.3
2.4	4.7	4.3	7.1	6.9	7.7	8.4	5.3
2.8	7.9	15.5	15.5	23.8	14.7	13.5	13.9
9.2	11.9	16.9	16.2	16.3	12.5	17.9	13.1
2.0	6.5	13.9	13.9	20.4	12.6	11.6	8.8
3.6	8.4	8.4	10.2	14.5	12.7	14.5	8.4
3.1	4.8	10.4	14.0	15.4	13.3	14.7	6.5
6.5	7.8	7.8	15.2	10.1	10.6	14.3	8.3
2.2	3.5	4.9	7.3	10.8	8.2	10.4	5.1
3.0	5.1	7.7	12.4	6.8	14.1	10.7	7.7
2.1	3.2	4.0	9.8	6.2	5.3	9.4	5.3
4.7	5.2	7.3	10.5	9.4	7.9	11.0	4.7

8.4	15.2	16.5	27.7	36.0	30.0	40.1	71.2
24.6	28.1	32.2	35.8	43.1	43.7	50.3	73.0
13.5	21.6	22.5	31.7	42.7	37.9	46.3	74.3
34.1	37.5	41.1	40.4	54.6	56.2	58.0	76.6
4.3	10.0	11.6	24.5	30.4	23.6	35.1	68.7
14.9	18.5	23.0	31.0	31.4	31.0	42.4	69.2
11.1	27.4	23.4	38.5	37.7	44.4	52.0	75.8
30.3	37.3	39.0	41.6	46.1	52.0	55.7	69.6
7.8	16.3	15.6	24.8	38.1	31.0	44.9	71.4
30.1	33.7	39.8	41.6	42.8	53.6	53.6	76.5
7.7	14.5	15.7	26.5	33.5	27.2	36.1	71.3
23.0	29.0	32.7	37.8	43.8	39.2	50.2	77.9
9.6	14.7	18.2	29.6	35.3	28.8	37.8	69.6
23.9	26.5	32.5	32.5	45.3	41.0	47.9	69.2
6.8	9.1	12.3	23.0	36.6	25.5	36.8	70.2
16.8	15.2	17.8	26.7	37.2	35.6	45.0	72.3

※「広島県（令和8年度）_全体（男性優遇計）」のスコアで降順ソート

【性年代別】男女の平等性_属性優遇・平等



- ✓ 男性×年代別で、全国の同年代と比べて男性優遇が特に低い項目は、50代以下で「政治の場で」／40-50代で「社会全体で」／30・50-60代で「家庭生活で」。女性優遇について、男性30代は多くの項目で全国を下回り、平等意識が全国に比べて高い。
- ✓ 女性×年代別で、全国の同年代と比べて男性優遇が特に低い項目は、30-40代で「社会通念～」／30代以下で「社会全体で」／30代で「家庭生活で」が上がる。
- ✓ 男性優遇で全国よりスコアが10pt以上高く、他項目と傾向が異なるのは、男性30代の「法律や制度上で」／女性20代以下の「学校教育の場で」。

Q4 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

男性優遇計

(%)

n=30以上の場合

[比率の差]			

※同じ属性の項目で差分を色付け

			n=								
全国 男性全体			(868)	82.5	68.8	61.7	51.4	36.5	47.2	36.2	13.9
広島県 (令和8年度) 男性全体			(504)	57.8	52.2	44.3	40.9	30.2	28.4	23.5	12.0
男性 × 年代別	18～29歳	全国	(114)	80.7	51.8	42.1	27.2	23.7	27.2	24.6	10.5
		広島県 (令和8年度)	(98)	45.6	37.3	29.7	31.2	22.5	20.5	15.6	12.5
	30代	全国	(120)	81.7	59.2	54.2	52.5	21.7	43.3	26.7	15.8
		広島県 (令和8年度)	(85)	52.9	44.7	42.4	43.5	31.8	21.2	22.4	14.1
	40代	全国	(182)	83.0	70.3	62.1	50.0	39.0	45.6	37.4	12.6
		広島県 (令和8年度)	(110)	61.8	57.3	43.6	37.3	30.0	35.5	21.8	10.9
	50代	全国	(233)	81.1	70.4	63.1	56.2	37.8	47.6	38.6	15.5
		広島県 (令和8年度)	(117)	57.3	52.1	41.0	40.2	30.8	21.4	20.5	11.1
	60代	全国	(219)	84.9	79.9	74.0	59.4	47.9	60.7	43.8	14.2
		広島県 (令和8年度)	(93)	71.0	68.8	66.7	53.8	36.6	44.1	38.7	11.8
全国 女性全体			(1,053)	94.0	87.5	83.9	67.7	61.0	69.8	55.8	26.3
広島県 (令和8年度) 女性全体			(491)	82.7	76.8	72.7	61.9	61.7	61.3	49.3	25.5
女性 × 年代別	18～29歳	全国	(138)	90.6	73.9	75.4	60.9	50.7	52.2	40.6	10.1
		広島県 (令和8年度)	(88)	77.3	65.9	60.2	54.5	54.5	52.3	38.6	22.7
	30代	全国	(174)	95.4	87.9	79.9	67.2	55.2	65.5	52.9	22.4
		広島県 (令和8年度)	(81)	80.2	71.6	61.7	53.1	54.3	46.9	42.0	16.0
	40代	全国	(233)	92.7	88.4	82.8	65.7	59.7	70.0	57.9	27.5
		広島県 (令和8年度)	(107)	79.4	69.2	75.7	57.0	62.6	65.4	49.5	16.8
	50代	全国	(257)	94.2	89.9	87.5	68.5	68.1	76.3	60.7	32.3
		広島県 (令和8年度)	(117)	88.9	84.6	78.6	70.1	65.0	68.4	62.4	35.0
	60代	全国	(251)	96.0	91.6	88.8	72.9	64.5	75.7	59.4	30.7
		広島県 (令和8年度)	(98)	85.7	89.8	82.7	71.4	69.4	68.4	49.0	33.7

※全国_男性・女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

女性優遇計

(%)

政治の場で	社会通念・慣習・	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	の自治会や活動の場など	学校教育の場で
3.7	8.3	14.4	16.5	20.5	14.5	15.9	10.7
8.2	10.4	14.6	18.7	15.2	15.4	18.5	11.4
4.4	13.2	28.1	21.9	36.8	19.3	14.9	24.6
13.3	14.4	24.9	20.5	22.8	15.6	20.6	17.7
3.3	15.8	27.5	22.5	33.3	20.8	16.7	15.8
3.5	10.6	11.8	14.1	16.5	14.1	20.0	9.4
3.8	8.8	17.0	21.4	23.1	19.8	19.2	7.7
9.1	10.0	12.7	20.9	12.7	14.5	15.5	11.8
3.4	6.0	7.7	10.3	14.6	10.7	17.6	8.2
6.0	8.5	12.8	20.5	8.5	19.7	17.1	10.3
3.7	3.7	5.0	12.8	9.1	8.2	11.4	5.9
8.6	8.6	10.8	16.1	17.2	11.8	20.4	7.5
1.4	1.8	3.9	7.3	8.3	6.5	8.2	4.3
2.4	4.7	4.3	7.1	6.9	7.7	8.4	5.3
1.4	3.6	5.1	10.1	13.0	10.9	12.3	5.1
4.5	9.1	8.0	11.4	9.1	9.1	14.8	8.0
1.1	-	4.6	8.0	11.5	6.9	8.0	4.0
3.7	6.2	4.9	6.2	12.3	11.1	8.6	7.4
2.6	1.7	5.2	8.2	9.4	8.2	11.2	5.6
3.7	5.6	2.8	9.3	7.5	6.5	13.1	4.7
1.2	1.2	2.3	4.7	7.4	5.8	3.9	2.3
-	1.7	2.6	4.3	5.1	8.5	4.3	5.1
0.8	2.8	3.2	7.2	3.6	2.8	7.6	4.8
1.0	2.0	4.1	5.1	2.0	4.1	2.0	2.0

平等

(%)

政治の場で	社会通念・慣習・	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	の自治会や活動の場など	学校教育の場で
13.5	21.6	22.5	31.7	42.7	37.9	46.3	74.3
34.1	37.5	41.1	40.4	54.6	56.2	58.0	76.6
14.9	34.2	28.9	50.0	39.5	53.5	59.6	64.9
41.1	48.3	45.4	48.3	54.7	64.0	63.8	69.8
14.2	23.3	16.7	25.0	45.0	35.8	54.2	68.3
43.5	44.7	45.9	42.4	51.8	64.7	57.6	76.5
13.2	20.9	20.9	28.6	37.9	34.6	43.4	78.6
29.1	32.7	43.6	41.8	57.3	50.0	62.7	77.3
15.0	21.9	27.5	32.6	47.2	40.8	41.6	75.1
36.8	39.3	46.2	39.3	60.7	59.0	62.4	78.6
11.0	14.2	18.3	27.4	42.5	30.6	42.5	78.1
20.4	22.6	22.6	30.1	46.2	44.1	40.9	80.6
4.3	10.0	11.6	24.5	30.4	23.6	35.1	68.7
14.9	18.5	23.0	31.0	31.4	31.0	42.4	69.2
8.0	21.7	18.8	29.0	36.2	37.0	45.7	84.8
18.2	25.0	31.8	34.1	36.4	38.6	46.6	69.3
3.4	11.5	14.9	24.7	33.3	27.6	38.5	73.6
16.0	22.2	33.3	40.7	33.3	42.0	49.4	76.5
3.4	9.4	11.6	24.9	30.0	21.5	30.5	65.7
16.8	25.2	21.5	33.6	29.9	28.0	37.4	78.5
4.7	8.2	9.7	26.8	24.5	17.9	34.2	64.6
11.1	13.7	18.8	25.6	29.9	23.1	33.3	59.8
3.2	4.8	7.2	19.1	31.5	21.1	31.9	63.3
13.3	8.2	13.3	23.5	28.6	27.6	49.0	64.3

※「広島県 (令和8年度) 男性全体」のスコアで降順ソート

【エリア別】男女の平等性_属性優遇・平等



- ✓ エリア別でみると、広島県は、多くの項目で男性優遇のスコアが各エリアより低く、平等のスコアが高い。
特に、男性優遇は他エリアと10pt以上の差があり、広島県と傾向が似たエリアは見当たらない。

Q4 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

男性優遇計

女性優遇計

平等

		(%)									
n=30以上の場合		家庭生活で	職場で	学校教育の場で	政治の場で	社会通念・慣習・	法律や制度上で	自治会やPTAなどの地域活動の場で	社会全体で		
[比率の差]											
広島県（令和8年度）_全体+10%以上											
広島県（令和8年度）_全体+5%以上											
広島県（令和8年度）_全体-5%以下											
広島県（令和8年度）_全体-10%以下											
n=											
広島県（令和8年度）_全体		(995)	70.1	64.3	58.3	51.3	45.8	44.7	36.2	18.6	
全国_全体		(1,921)	88.8	79.1	73.9	60.3	49.9	59.6	46.9	20.7	
エリア別	北海道	(126)	88.9	70.6	70.6	65.1	46.0	57.9	42.1	25.4	
	東北	(184)	86.4	76.6	73.9	66.8	52.2	63.0	52.7	26.6	
	関東	(900)	86.3	75.2	73.7	61.2	49.7	57.9	43.4	21.3	
	北陸	(116)	84.5	76.7	74.1	64.7	46.6	63.8	44.8	13.8	
	東山	(111)	84.7	85.6	72.1	69.4	53.2	66.7	49.5	23.4	
	東海	(263)	85.2	82.9	75.7	62.7	47.5	62.4	51.0	23.6	
	近畿	(442)	90.7	79.0	74.7	66.5	47.5	57.9	45.2	20.8	
	中国	(156)	91.0	78.2	75.6	61.5	51.3	62.2	46.8	22.4	
	四国	(75)	88.0	78.7	82.7	65.3	68.0	57.3	52.0	22.7	
九州	(300)	92.0	84.0	78.3	64.3	55.3	68.3	54.3	21.7		

政治の場で	社会通念・慣習・	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	自治会やPTAなどの地域活動の場で	学校教育の場で	(%)
5.3	7.6	9.5	13.0	11.1	11.6	13.5	8.4	
2.4	4.7	8.6	11.4	13.8	10.1	11.7	7.2	
1.6	2.4	5.6	10.3	10.3	8.7	11.1	10.3	
1.1	2.2	3.8	5.4	9.8	5.4	7.1	6.0	
2.3	4.6	8.1	8.9	11.2	9.1	10.6	6.3	
3.4	6.9	6.0	12.9	12.1	7.8	17.2	3.4	
3.6	1.8	7.2	10.8	9.9	6.3	11.7	3.6	
2.3	5.3	8.7	9.5	12.9	10.6	12.5	6.1	
1.8	3.2	6.8	9.3	12.2	12.0	11.3	5.4	
1.3	3.8	6.4	10.3	7.7	6.4	4.5	4.5	
2.7	5.3	2.7	9.3	4.0	9.3	13.3	4.0	
2.0	3.0	5.3	9.3	9.7	8.0	9.0	8.0	

政治の場で	社会通念・慣習・	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	自治会やPTAなどの地域活動の場で	学校教育の場で	(%)
24.6	28.1	32.2	35.8	43.1	43.7	50.3	73.0	
8.4	15.2	16.5	27.7	36.0	30.0	40.1	71.2	
9.5	25.4	21.4	23.8	42.9	33.3	43.7	63.5	
12.0	18.5	19.6	26.6	38.0	31.5	36.4	66.3	
10.7	18.7	16.6	28.6	38.6	32.7	44.1	70.7	
12.1	15.5	18.1	21.6	41.4	28.4	37.1	80.2	
10.8	11.7	19.8	17.1	36.9	27.0	36.9	68.5	
12.2	10.6	14.4	27.4	38.8	26.6	35.7	68.8	
6.8	16.3	16.7	22.6	39.1	29.6	40.7	72.2	
5.8	16.0	16.0	26.3	39.7	30.8	46.2	71.8	
9.3	16.0	14.7	25.3	28.0	33.3	34.7	73.3	
5.3	11.0	14.3	25.7	34.3	23.3	33.7	69.0	

※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ。

※全国_全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※「広島県（令和8年度）_全体（男性優遇計）」のスコアで降順ソート

【エリア別×性別】男女の平等性_属性優遇・平等



- ✓ エリア別×男性でみると、男性優遇についてほとんどの項目で、広島県_男性は他エリアより低い。
女性優遇は5pt以上の差が見られる部分が散見される。
- ✓ 女性は、男性優遇／平等について、他エリアと5pt以上の差がある項目は多いものの、男性と比べるとエリア差はやや小さい。

Q4 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

男性優遇計

女性優遇計

平等

n=30以上の場合

[比率の差]

広島県（令和8年度）_全体（各性別）	+10pt
広島県（令和8年度）_全体（各性別）	+5pt
広島県（令和8年度）_全体（各性別）	-5pt
広島県（令和8年度）_全体（各性別）	-10pt

		n=	政治 政治の 場で	社会 きたり 念など 慣習 で	社会 全体 で	職場 で	法律 や制度 上で	家庭 生活 で	自治 会や 地域 活動 の場 で	学校 教育 の場 で
広島県（令和8年度）_男性		(504)	57.8	52.2	44.3	40.9	30.2	28.4	23.5	12.0
全国_男性		(868)	82.5	68.8	61.7	51.4	36.5	47.2	36.2	13.9
エリア別 × 男性	北海道	(62)	82.3	66.1	59.7	58.1	41.9	43.5	43.5	22.6
	東北	(96)	80.2	70.8	63.5	62.5	40.6	50.0	47.9	21.9
	関東	(422)	82.0	67.1	62.3	52.4	41.0	49.1	34.6	14.9
	北陸	(52)	78.8	67.3	65.4	59.6	36.5	53.8	38.5	15.4
	東山	(46)	76.1	73.9	58.7	67.4	41.3	50.0	34.8	13.0
	東海	(119)	77.3	77.3	63.0	51.3	35.3	47.9	43.7	16.8
	近畿	(207)	85.0	69.1	64.7	60.4	34.8	46.4	39.1	16.4
	中国	(64)	92.2	68.8	71.9	59.4	42.2	62.5	34.4	18.8
	四国	(33)	78.8	72.7	84.8	54.5	60.6	45.5	45.5	9.1
	九州	(132)	88.6	75.0	69.7	59.8	41.7	57.6	47.7	15.9
広島県（令和8年度）_女性		(491)	82.7	76.8	72.7	61.9	61.7	61.3	49.3	25.5
全国_女性		(1,053)	94.0	87.5	83.9	67.7	61.0	69.8	55.8	26.3
エリア別 × 女性	北海道	(64)	95.3	75.0	81.3	71.9	50.0	71.9	40.6	28.1
	東北	(88)	93.2	83.0	85.2	71.6	64.8	77.3	58.0	31.8
	関東	(478)	90.2	82.4	83.7	69.0	57.3	65.7	51.3	27.0
	北陸	(64)	89.1	84.4	81.3	68.8	54.7	71.9	50.0	12.5
	東山	(65)	90.8	93.8	81.5	70.8	61.5	78.5	60.0	30.8
	東海	(144)	91.7	87.5	86.1	72.2	57.6	74.3	56.9	29.2
	近畿	(235)	95.7	87.7	83.4	71.9	58.7	68.1	50.6	24.7
	中国	(92)	90.2	84.8	78.3	63.0	57.6	62.0	55.4	25.0
	四国	(42)	95.2	83.3	81.0	73.8	73.8	66.7	57.1	33.3
	九州	(168)	94.6	91.1	85.1	67.9	66.1	76.8	59.5	26.2

政治 政治の 場で	社会 きたり 念など 慣習 で	社会 全体 で	職場 で	法律 や制度 上で	家庭 生活 で	自治 会や 地域 活動 の場 で	学校 教育 の場 で
8.2	10.4	14.6	18.7	15.2	15.4	18.5	11.4
3.7	8.3	14.4	16.5	20.5	14.5	15.9	10.7
3.2	4.8	9.7	16.1	12.9	11.3	16.1	12.9
2.1	1.0	5.2	4.2	9.4	6.3	8.3	9.4
3.6	7.8	12.6	12.6	17.1	13.0	13.7	9.5
1.9	7.7	9.6	19.2	15.4	7.7	28.8	3.8
4.3	4.3	10.9	13.0	13.0	10.9	10.9	4.3
4.2	7.6	16.8	14.3	21.8	16.8	15.1	10.9
2.4	5.8	11.6	14.5	16.9	16.4	15.0	6.8
-	6.3	12.5	10.9	9.4	7.8	6.3	6.3
3.0	6.1	-	12.1	6.1	3.0	18.2	3.0
4.5	6.8	9.1	14.4	15.2	11.4	12.1	9.8
2.4	4.7	4.3	7.1	6.9	7.7	8.4	5.3
1.4	1.8	3.9	7.3	8.3	6.5	8.2	4.3
-	-	1.6	4.7	7.8	6.3	6.3	7.8
-	3.4	2.3	6.8	10.2	4.5	5.7	2.3
1.3	1.7	4.2	5.6	6.1	5.6	7.7	3.6
4.7	6.3	3.1	7.8	9.4	7.8	7.8	3.1
3.1	-	4.6	9.2	7.7	3.1	12.3	3.1
0.7	3.5	2.1	5.6	5.6	5.6	10.4	2.1
1.3	0.9	2.6	4.7	8.1	8.1	8.1	4.3
2.2	2.2	2.2	9.8	6.5	5.4	3.3	3.3
2.4	4.8	4.8	7.1	2.4	14.3	9.5	4.8
-	-	2.4	5.4	5.4	5.4	6.5	6.5

政治 政治の 場で	社会 きたり 念など 慣習 で	社会 全体 で	職場 で	法律 や制度 上で	家庭 生活 で	自治 会や 地域 活動 の場 で	学校 教育 の場 で
34.1	37.5	41.1	40.4	54.6	56.2	58.0	76.6
13.5	21.6	22.5	31.7	42.7	37.9	46.3	74.3
14.5	27.4	27.4	24.2	45.2	45.2	38.7	64.5
17.7	26.0	29.2	32.3	50.0	43.8	41.7	67.7
14.0	23.5	23.2	33.2	41.7	37.4	49.8	73.7
19.2	23.1	21.2	21.2	48.1	38.5	30.8	80.8
19.6	19.6	28.3	19.6	45.7	39.1	52.2	80.4
18.5	13.4	19.3	34.5	42.0	35.3	40.3	69.7
12.1	22.2	20.8	24.6	47.3	36.7	42.5	75.8
7.8	21.9	12.5	29.7	48.4	29.7	54.7	75.0
18.2	21.2	15.2	33.3	33.3	51.5	36.4	87.9
6.1	15.2	18.2	25.0	42.4	31.1	34.8	74.2
14.9	18.5	23.0	31.0	31.4	31.0	42.4	69.2
4.3	10.0	11.6	24.5	30.4	23.6	35.1	68.7
4.7	23.4	15.6	23.4	40.6	21.9	48.4	62.5
5.7	10.2	9.1	20.5	25.0	18.2	30.7	64.8
7.7	14.4	10.7	24.5	35.8	28.5	39.1	68.0
6.3	9.4	15.6	21.9	35.9	20.3	42.2	79.7
4.6	6.2	13.8	15.4	30.8	18.5	26.2	60.0
6.9	8.3	10.4	21.5	36.1	19.4	31.9	68.1
2.1	11.1	13.2	20.9	31.9	23.4	39.1	68.9
4.3	12.0	18.5	23.9	33.7	31.5	40.2	69.6
2.4	11.9	14.3	19.0	23.8	19.0	33.3	61.9
4.8	7.7	11.3	26.2	28.0	17.3	32.7	64.9

※エリア別×男性・女性については、18～70代以上を含めたデータ。

※全国_男性・女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※「広島県（令和8年度）_男性」のスコアを降順ソート

【全体・性別・年代別】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見



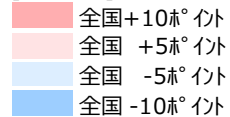
- ✓ 『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』に対する意見について、「賛成計」は広島県42%／全国30%と、10pt以上の差。
- ✓ 性別や、年代別で全国と比べると、「賛成計」が特に高いのは、女性と30代以下。
- ✓ 広島県は全国と比べると、「どちらかという賛成」が高く、その分「反対」が低い。

Q5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

SA

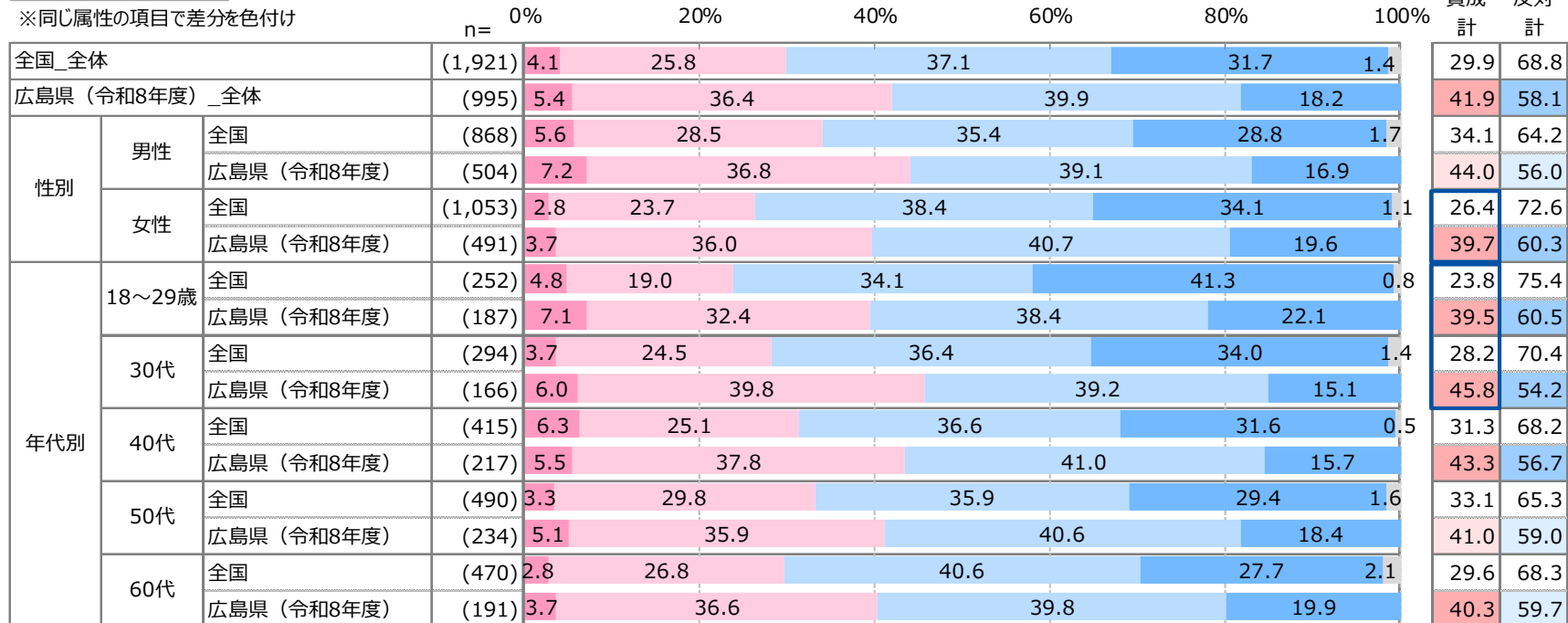
n=30以上の場合

[比率の差]



■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ 無回答

※同じ属性の項目で差分を色付け



※全国_全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※賛成計：「賛成」+「どちらかという賛成」
※反対計：「どちらかという反対」+「反対」

【性年代別】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見



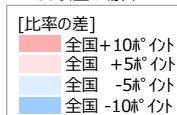
- ✓ 年代別×男性でみると、男性50代以外は全国より「賛成計」が10pt近くかそれ以上高い。男性50代は他の年代に比べると全国と差が小さい。
- ✓ 年代別×女性でみると、女性40代以下は全国より「賛成計」が10pt以上高い。

Q5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

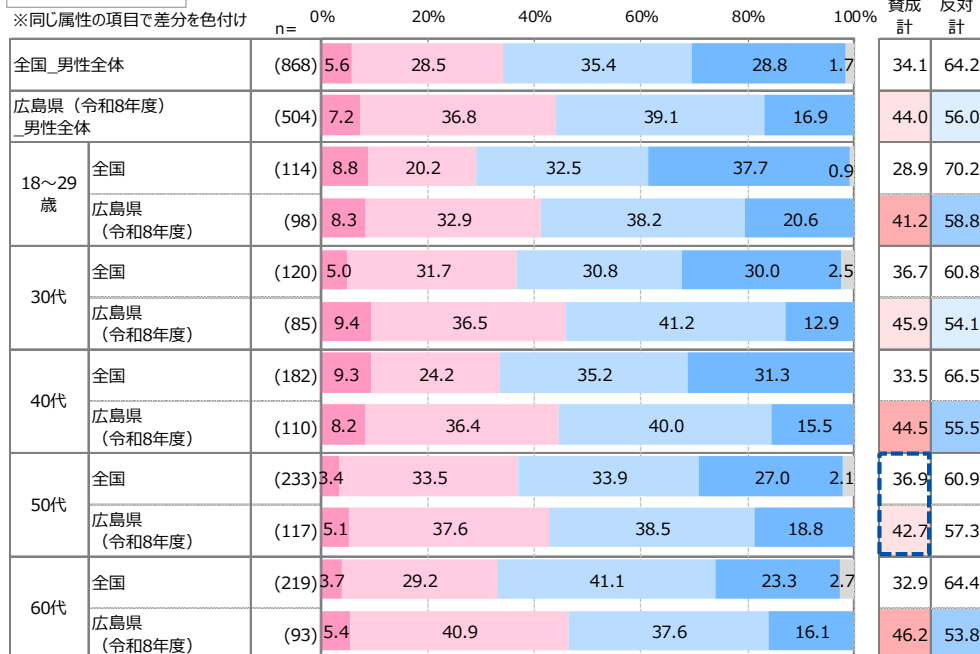
SA

男性

n=30以上の場合



■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ 無回答

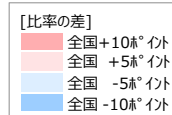


※全国_男性全体については、内閣府のデータを18~60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

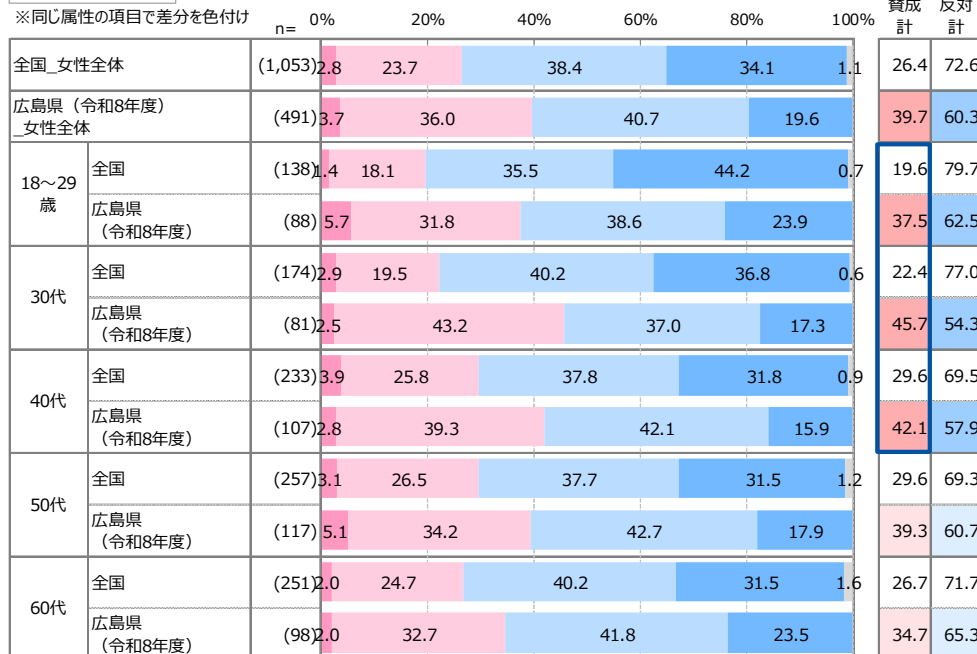
※賛成計：「賛成」+「どちらかという賛成」
※反対計：「どちらかという反対」+「反対」

女性

n=30以上の場合



■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ 無回答



※全国_女性全体については、内閣府のデータを18~60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※賛成計：「賛成」+「どちらかという賛成」
※反対計：「どちらかという反対」+「反対」

【エリア別】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見

- ✓ エリア別でみると、広島県とスコア傾向が近いのは、北海道と中国。この2エリアは「賛成計」が40%を超えている。それ以外のエリアの「賛成計」は高くても35%前後で、東北／九州は28-29%と特に低い。
- ✓ エリア別でみても、「賛成計」のスコア差は「どちらかという賛成」のスコア差に起因している。

Q5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

SA

n=30以上の場合

「比率の差」

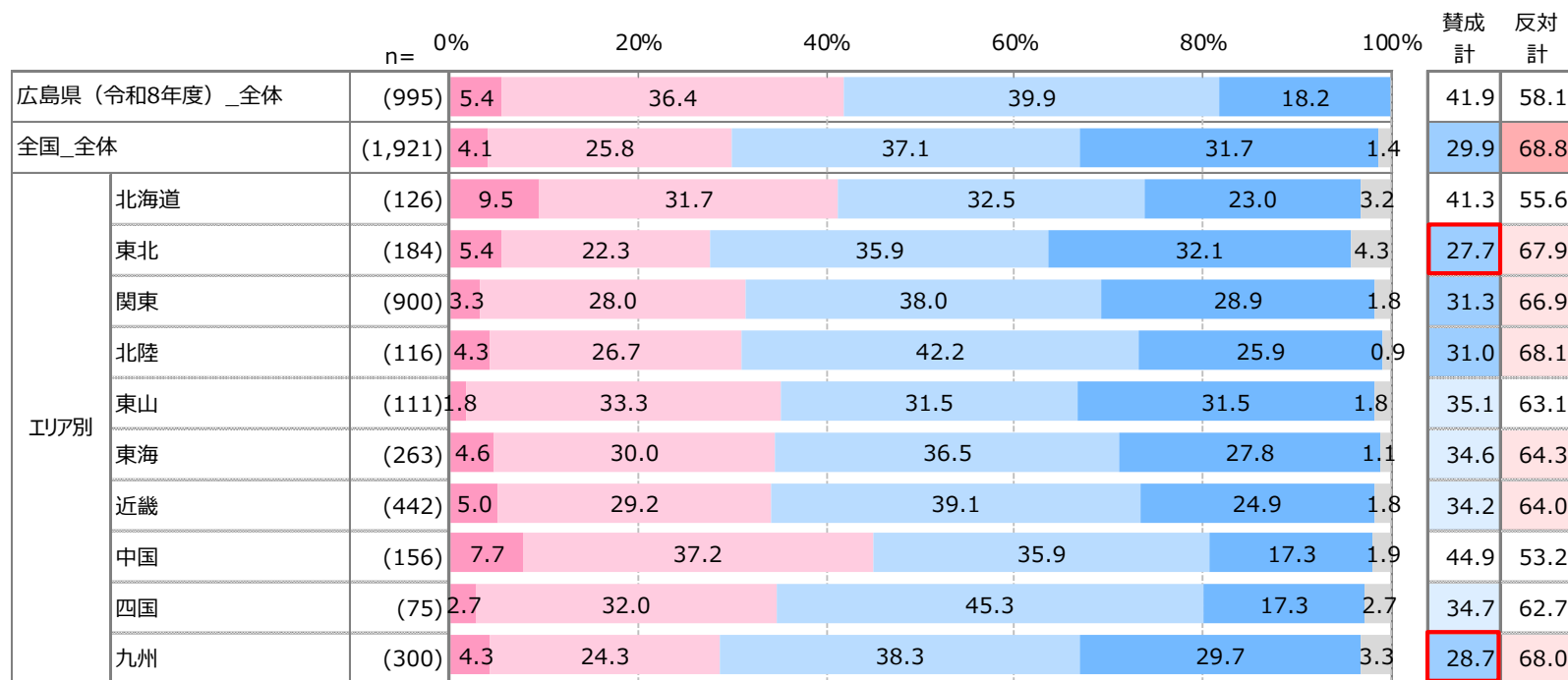
広島県（令和8年度） 全体+10歳以上

広島県（令和8年度）全体 +5棟[°] 1件

広島県（令和8年度）全体 -5.1℃以下

広島県（令和8年度） 全体 -10℃以下

■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ 無回答



※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ。

※全国 全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※賛成計：「賛成」＋「どちらかというと賛成」

※反対計：「どちらかというと反対」＋「反対」

【エリア別×性別】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見



- ✓ エリア別×男性でみると、広島県と「賛成計」のスコアに近いのは北海道／東山。中国は広島県より7pt以上高い。
- ✓ エリア別×女性でみると、男性と似た傾向で、「賛成計」のスコアは北海道／中国／四国に近い。
一方で、東北／九州とは「賛成計」のスコア差は20pt近くあり、大きな差がある。この2エリアはいずれも「どちらか」と賛成」が特に低い。
- ✓ Q4と比較してQ5は、広島県の女性の方が男性に比べて、全国／各エリアとの差が開く。

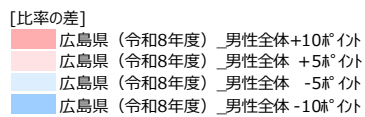
Q5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

SA

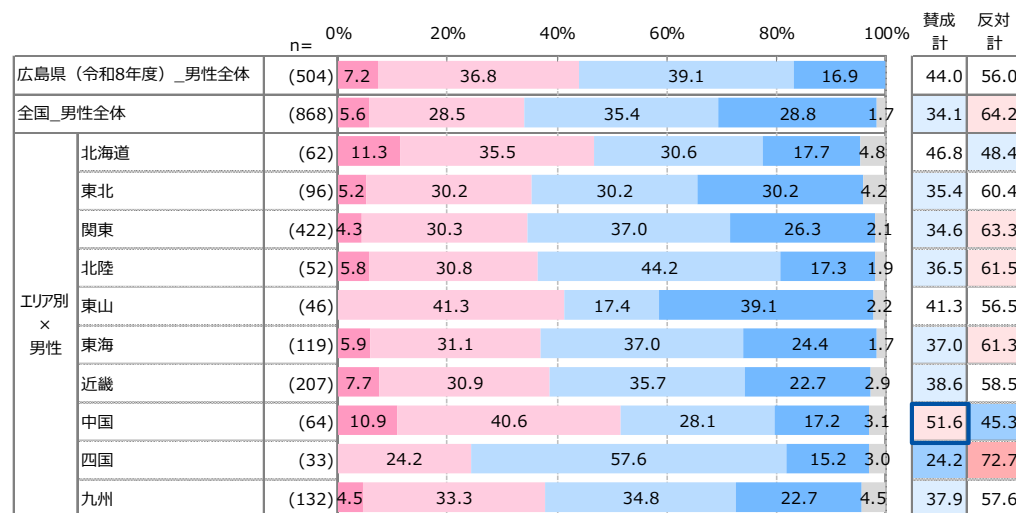
男性

女性

n=30以上の場合



■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ 無回答

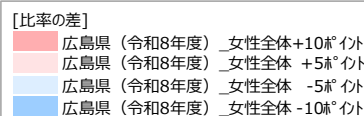


※エリア別×男性については、18～70代以上を含めたデータ。

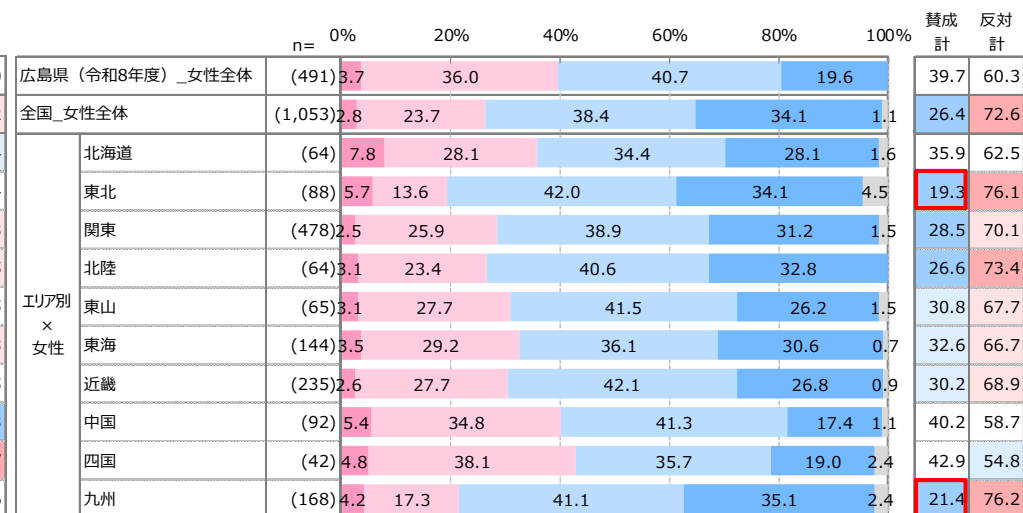
※賛成計：「賛成」+「どちらかという賛成」
※反対計：「どちらかという反対」+「反対」

※全国_男性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

n=30以上の場合



■ 賛成 ■ どちらかという賛成 ■ どちらかという反対 ■ 反対 ■ 無回答



※エリア別×女性については、18～70代以上を含めたデータ。

※賛成計：「賛成」+「どちらかという賛成」
※反対計：「どちらかという反対」+「反対」

※全国_女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

【全体・性別・性年代別】賛成理由・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」

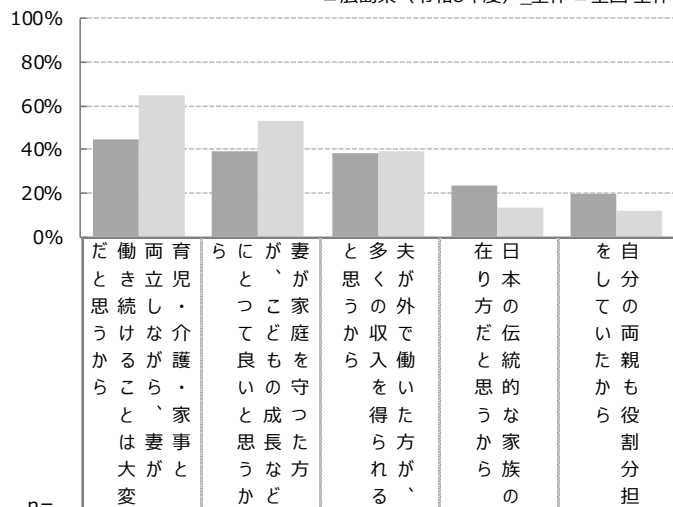


- ✓ 賛成理由について、広島県と全国では項目の順番は同じも、上位2項目は全国よりもスコアが低く、差も大きい。
特に男性の方が女性よりも、全国との開きが大きい。年代別でも同様の傾向が見られる。
- ✓ 反対理由について、全体でのトップ項目は全国と広島県で同じも、全国よりも24pt低い。また、妻が働くことに関する2項目（夫も妻も～／妻が働いて～）も全国と比べると5pt以上ないし10pt以上低い。女性が働くことに対する肯定感は低め。

Q6 前問で「賛成」「どちらかという賛成」と答えた方にお伺いします。賛成と思うのはなぜですか。（いくつでも）※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。
Q7 前問で「反対」「どちらかという反対」と答えた方にお伺いします。反対と思うのはなぜですか。（いくつでも）※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。MA

※賛成している人ベース

■広島県（令和8年度）_全体 ■全国_全体



n=30以上の場合

[比率の差]
 全国+10%以上
 全国+5%以上
 全国-5%以上
 全国-10%以上

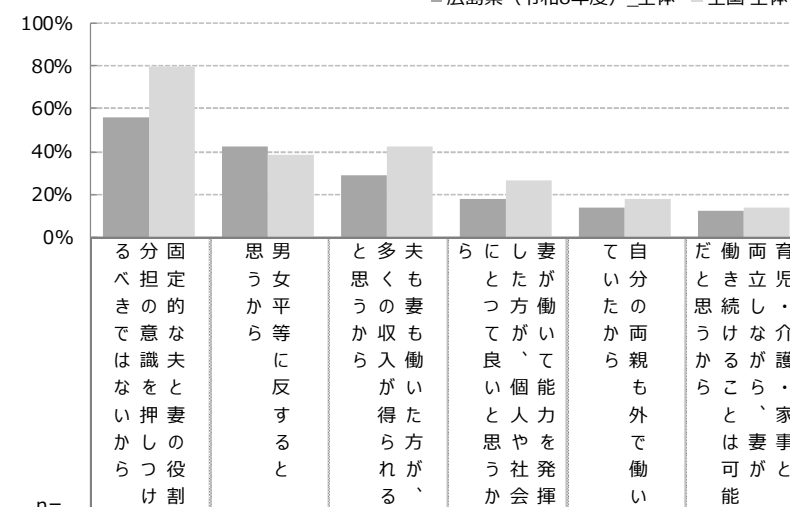
※同じ属性の項目で差分を色付け

n=		全国_全体	(574)	64.7	52.9	38.8	13.6	11.8
広島県（令和8年度）_全体		(417)	44.7	39.2	38.7	23.5	19.7	
性別	男性	全国	(296)	57.8	54.0	35.5	18.6	14.5
		広島県（令和8年度）	(222)	33.1	37.5	34.9	28.9	21.8
	女性	全国	(278)	72.0	51.8	42.4	8.3	9.0
		広島県（令和8年度）	(195)	57.9	41.0	43.1	17.4	17.4
年代	18～29歳	全国	(60)	70.0	40.0	33.3	11.7	21.7
		広島県（令和8年度）	(74)	53.5	24.7	31.7	31.4	31.6
	30代	全国	(83)	72.3	41.0	31.3	8.4	15.7
		広島県（令和8年度）	(76)	43.4	31.6	36.8	19.7	19.7
	40代	全国	(130)	56.2	53.1	42.3	16.9	10.0
		広島県（令和8年度）	(94)	41.5	40.4	41.5	13.8	20.2
	50代	全国	(162)	64.8	56.8	43.8	13.6	9.9
		広島県（令和8年度）	(96)	38.5	50.0	45.8	25.0	13.5
	60代	全国	(139)	65.5	61.2	36.7	14.4	9.4
		広島県（令和8年度）	(77)	49.4	45.5	35.1	29.9	15.6

※全国_全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※反対している人ベース

■広島県（令和8年度）_全体 ■全国_全体



n=		全国_全体	(1,321)	80.0	38.7	42.4	26.9	18.2	13.9
広島県（令和8年度）_全体		(578)	55.8	42.8	29.1	17.5	14.2	12.3	
性別	男性	全国	(557)	74.0	37.0	41.9	31.8	17.4	11.5
		広島県（令和8年度）	(282)	47.1	49.8	31.3	20.2	15.3	9.9
	女性	全国	(764)	84.4	40.0	42.8	23.3	18.7	15.7
		広島県（令和8年度）	(296)	64.2	36.1	27.0	14.9	13.2	14.5
年代	18～29歳	全国	(190)	77.9	37.9	39.5	20.5	22.6	10.0
		広島県（令和8年度）	(113)	48.4	55.4	23.2	10.7	17.9	9.7
	30代	全国	(207)	87.0	34.3	50.7	23.7	22.2	15.9
		広島県（令和8年度）	(90)	54.4	50.0	30.0	15.6	15.6	11.1
	40代	全国	(283)	85.2	35.3	42.4	25.8	19.4	16.3
		広島県（令和8年度）	(123)	56.1	39.8	31.7	13.0	15.4	15.4
	50代	全国	(320)	80.6	43.4	40.3	26.9	17.5	11.9
		広島県（令和8年度）	(138)	53.6	40.6	31.9	26.8	12.3	15.2
	60代	全国	(321)	71.7	40.2	40.8	33.6	12.5	15.0
		広島県（令和8年度）	(114)	66.7	30.7	28.1	19.3	10.5	8.8

※「広島県（令和8年度）_全体」のスコアを降順ソート

【性年代別】賛成理由・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」



- ✓ 賛成理由について男性×年代別でみると、全国では上位項目が50～60%台に対し、広島県は高くても40%台が多い。また、下位項目の「日本の伝統的な～」「自分の両親も～」のスコアが広島県の方が高い（40代を除く）。全国と比べるとスコアは分散している。
女性×年代別は、男性ほどではないものの、同様の傾向。
- ✓ 反対理由について、全国に比べて広島県は男女とも50代以下で「固定的な～」が17～40pt低い。一方、男性30代以下は「男女平等に反する～」が25pt以上高い。

Q6 前問で「賛成」「どちらかという賛成」と答えた方にお伺いします。賛成と思うのはなぜですか。（いくつでも）※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。
Q7 前問で「反対」「どちらかという反対」と答えた方にお伺いします。反対と思うのはなぜですか。（いくつでも）※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。 MA

※賛成している人ベース

(%)

※反対している人ベース

(%)

n=30以上の場合			賛成している人ベース (%)							反対している人ベース (%)																							
[比率の差]			だ	働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自	だ	働	
[比率の差]			働	両	育	ら	に	が	妻	と	多	夫	在	日	を	分	る	分	固	思	男	と	多	夫	ら	に	し	妻	て	自			

【エリア別】賛成理由・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」



- ✓ 賛成理由についてエリア別でみると、広島県は全てのエリアと比べて上位2項目のスコアが低い。（四国は参考値のため除く）
- ✓ 反対理由についてエリア別でみると、広島県は全てのエリアと比べて「固定的な～」は12pt以上低い。「夫も妻も～」「妻が働いて～」も多くのエリアと5pt以上もしくは10pt以上低い。
- ✓ 広島県は、賛成／反対理由共に、全国の他エリアと差が大きい。

Q6 前問で「賛成」「どちらかという賛成」と答えた方にお伺いします。賛成と思うのはなぜですか。（いくつでも）※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。
Q7 前問で「反対」「どちらかという反対」と答えた方にお伺いします。反対と思うのはなぜですか。（いくつでも）※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。MA

※賛成している人ベース

※反対している人ベース

		(%)					
n=30以上の場合		だ働両育	らにが妻	と多夫	在日	を自	
[比率の差]		とき立児	と、が	思うが	り本	し分	
広島県（令和8年度）_全体+10pt		思続し・	っこ家	うの外	方の	ての	
広島県（令和8年度）_全体+5pt		うけな介	てど庭	か収で	だ伝	い両	
広島県（令和8年度）_全体-5pt		かるが護	良もを	ら入働	と統	た親	
広島県（令和8年度）_全体-10pt		らこら・	いの守	をい	思的	かも	
		と、家	と成つ	得た	うな	から	
		は妻事	思長た	ら方	か家	割	
		大がと	うな方	れが	ら族	分	
		変	かど	る、	の	担	
n=							
広島県（令和8年度）_全体		(417)	44.7	39.2	38.7	23.5	19.7
全国_全体		(574)	64.7	52.9	38.8	13.6	11.8
エリア別	北海道	(52)	55.8	51.9	34.6	25.0	5.8
	東北	(51)	56.9	47.1	41.2	21.6	15.7
	関東	(282)	64.5	58.5	42.9	14.9	14.5
	北陸	(36)	63.9	61.1	33.3	11.1	11.1
	東山	(39)	56.4	59.0	38.5	20.5	17.9
	東海	(91)	65.9	51.6	39.6	20.9	16.5
	近畿	(151)	54.3	59.6	38.4	19.2	14.6
	中国	(70)	68.6	52.9	38.6	14.3	8.6
四国		(26)	73.1	46.2	38.5	23.1	15.4
九州		(86)	55.8	55.8	33.7	18.6	5.8

		(%)					
n=		る分固	思男	と多夫	らにし妻	て自	だ働両育
		べ担定	う女	思くも	とたが	い分	とき立児
		きの的	か平	うの妻	っ方働	たの	思続し・
		で意な	ら等	か収も	てがい	か両	うけな介
		は識夫	に	ら入働	良、て	ら親	かるが護
		なをと	反	がい	い個能	も	らこら・
		い押妻	す	得た	と人力	外	と、家
		かしの	る	ら方	思やを	で	は妻事
		らつ役	と	れが	う社発	働	可がと
		け割		る、	か会揮	い	能
n=							
(578)		55.8	42.8	29.1	17.5	14.2	12.3
(1,321)		80.0	38.7	42.4	26.9	18.2	13.9
(70)		78.6	41.4	41.4	27.1	14.3	15.7
(125)		76.0	48.8	42.4	34.4	18.4	12.8
(602)		78.6	38.4	38.0	31.1	15.3	14.1
(79)		68.4	41.8	49.4	20.3	24.1	17.7
(70)		74.3	47.1	47.1	30.0	15.7	14.3
(169)		79.9	46.2	42.6	23.7	14.2	9.5
(283)		79.9	40.6	49.5	29.7	14.8	18.4
(83)		74.7	50.6	44.6	25.3	19.3	18.1
(47)		72.3	40.4	51.1	27.7	12.8	10.6
(204)		74.0	31.9	45.1	25.0	20.1	15.2

※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ。

※全国_全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

※「広島県（令和8年度）_全体」のスコアで降順ソート

【エリア別×性別】賛成理由・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」



- ✓ 賛成理由についてエリア別×男性でみると、上位2項目はn30以上のほとんどのエリアで10pt以上、広島県が低く全国が高い。
エリア別×女性でみると、男性と同様の傾向も、他エリアとの差はわずかに小さい。
- ✓ 反対理由についてエリア別×男性/女性でみると、「男女平等～」以外の上位項目は広島県より他エリアの方が高い。「男女平等に反する～」は男女で傾向が異なる。男性は、北海道／東北とは同程度、それ以外のエリアより広島県が高い。女性は、北海道／関東／近畿／九州と同程度。

Q6 前問で「賛成」「どちらかという賛成」と答えた方にお伺いします。賛成と思うのはなぜですか。（いくつでも）※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。
Q7 前問で「反対」「どちらかという反対」と答えた方にお伺いします。反対と思うのはなぜですか。（いくつでも）※当てはまるものがない方も、お気持ちにより近いものをお選びください。 **MA**

※賛成している人ベース

(%)

※反対している人ベース

(%)

n=30以上の場合

[比率の差]	
広島県（令和8年度）_全体（各性別）	+10pt
広島県（令和8年度）_全体（各性別）	+5pt
広島県（令和8年度）_全体（各性別）	-5pt
広島県（令和8年度）_全体（各性別）	-10pt

n=		思統立育	らにが妻	と多夫	在日	を自
		うけし児	と、が	多夫	日本	分の
		かるな・	っこ家	うの外	方本	の
		らこが介	てど庭	か収で	だ伝	い両
		とら護	良もを	ら入働	と統	た親
		は、・	いの守	をい	思的	かも
		大妻家	と成っ	得た	うな	ら役
		変が事	思長た	ら方	か家	割
		だ働	うな方	れる、	ら族	担
		とき両	かど		の	
広島県（令和8年度）_男性全体		(222)	33.1	37.5	34.9	21.8
全国_男性全体		(296)	57.8	54.0	35.5	14.5
エリア別 × 男性	北海道	(29)	51.7	48.3	34.5	6.9
	東北	(34)	64.7	41.2	38.2	14.7
	関東	(146)	56.2	61.0	41.1	17.8
	北陸	(19)	52.6	63.2	31.6	10.5
	東山	(19)	47.4	63.2	42.1	31.6
	東海	(44)	56.8	59.1	31.8	13.6
	近畿	(80)	46.3	60.0	35.0	18.8
	中国	(33)	66.7	51.5	33.3	12.1
	四国	(8)	75.0	62.5	25.0	12.5
九州		(50)	50.0	56.0	36.0	6.0
広島県（令和8年度）_女性全体		(195)	57.9	41.0	43.1	17.4
全国_女性全体		(278)	72.0	51.8	42.4	9.0
エリア別 × 女性	北海道	(23)	60.9	56.5	34.8	4.3
	東北	(17)	41.2	58.8	47.1	17.6
	関東	(136)	73.5	55.9	44.9	11.0
	北陸	(17)	76.5	58.8	35.3	11.8
	東山	(20)	65.0	55.0	35.0	5.0
	東海	(47)	74.5	44.7	46.8	19.1
	近畿	(71)	63.4	59.2	42.3	9.9
	中国	(37)	70.3	54.1	43.2	5.4
	四国	(18)	72.2	38.9	44.4	16.7
九州		(36)	63.9	55.6	30.6	5.6

n=		る分固	う男	と多夫	らにし妻	て自	思統立育
		べ担定	か女	思くも	とたが	いたの	うけし児
		の意的	ら平	うの妻	つ方働	か両	かるな・
		で意な	等に	か収も	てがい	ら親	らこが介
		は識夫	に反	ら入働	良、て	も外	とら護
		なをと	す	がい	い個能	も	は、・
		い押妻	ら方	得た	と人力	で働	可妻家
		かしの	ら方	ら方	思やを	働	能が事
		らつ役	と思	れる、	う社発	働	た働と
		け割		る	か会揮	い	き両
(282)		47.1	49.8	31.3	20.2	15.3	9.9
(557)		74.0	37.0	41.9	31.8	17.4	11.5
(30)		76.7	46.7	40.0	36.7	16.7	13.3
(58)		69.0	48.3	39.7	39.7	17.2	8.6
(267)		71.2	38.2	39.3	38.2	15.4	15.7
(32)		65.6	34.4	59.4	15.6	15.6	6.3
(26)		69.2	53.8	46.2	38.5	15.4	7.7
(73)		71.2	38.4	42.5	31.5	11.0	6.8
(121)		75.2	41.3	49.6	25.6	14.9	12.4
(29)		69.0	51.7	34.5	41.4	24.1	13.8
(24)		62.5	37.5	54.2	25.0	20.8	-
(76)		64.5	25.0	48.7	25.0	19.7	15.8
(296)		64.2	36.1	27.0	14.9	13.2	14.5
(764)		84.4	40.0	42.8	23.3	18.7	15.7
(40)		80.0	37.5	42.5	20.0	12.5	17.5
(67)		82.1	49.3	44.8	29.9	19.4	16.4
(335)		84.5	38.5	37.0	25.4	15.2	12.8
(47)		70.2	46.8	42.6	23.4	29.8	25.5
(44)		77.3	43.2	47.7	25.0	15.9	18.2
(96)		86.5	52.1	42.7	17.7	16.7	11.5
(162)		83.3	40.1	49.4	32.7	14.8	22.8
(54)		77.8	50.0	50.0	16.7	16.7	20.4
(23)		82.6	43.5	47.8	30.4	4.3	21.7
(128)		79.7	35.9	43.0	25.0	20.3	14.8

※エリア別×男性・女性については、18～70代以上を含めたデータ。

※全国_男性・女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出。割り戻して計算しているため、概算値。

男女の役割に対する意見/そう思う・計【性別・性年代別】



- 全国データは令和4年8月実施調査である。実施から4年近く経過しており、比較は参考であることに留意。
- ✓ 4項目全てで、男女／男女各年代とも、広島県の方が全国よりもスコアが高い。4年前の全国と比べても男女の役割意識は強めと言える。
- ✓ 「家を継ぐのは～」は4項目中全国との差分が男女ともに最も大きく15-16pt差。他に全国との差分が10pt以上開くのは、男性では「親戚や地域の会合で～」／女性では「自治会や町内会の～」。
- ✓ 全国との差分は、特定の年代に偏っていない。男性20代/60代は3項目で全国との差が15ptを超え、他の性年代に比べると特に差が大きい。

Q12 あなたは、次のそれぞれの考え方についてどう思いますか。あなたの気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。

SA

		男性						女性						(%)
項目名	データ	計	年代					計	年代					
			20代	30代	40代	50代	60代		20代	30代	40代	50代	60代	
n 数	広島県（令和8年度）	(484)	(79)	(85)	(110)	(117)	(93)	(476)	(73)	(81)	(107)	(117)	(98)	
	全国	(5,452)	(977)	(1,230)	(1,065)	(1,083)	(1,097)	(5,384)	(1,061)	(1,094)	(1,070)	(1,075)	(1,084)	
家を継ぐのは 男性であるべきだ	広島県（令和8年度）	41.5	51.9	35.3	40.9	36.8	45.2	29.0	32.9	34.6	30.8	28.2	20.4	
	全国	25.4	25.4	25.9	27.0	25.9	22.9	14.1	14.8	14.6	15.8	14.0	11.4	
	差分	16.1	26.5	9.4	13.9	10.9	22.3	14.9	18.1	20.0	15.0	14.2	9.0	
PTAには、 女性が参加するべきだ	広島県（令和8年度）	31.4	29.1	29.4	33.6	27.4	37.6	20.2	19.2	14.8	23.4	21.4	20.4	
	全国	22.9	23.8	22.0	25.9	22.2	21.1	13.2	13.1	13.3	13.5	11.2	14.8	
	差分	8.5	5.3	7.4	7.7	5.2	16.5	7.0	6.1	1.5	9.9	10.2	5.6	
親戚や地域の会合で 食事の準備や配膳をするのは 女性の役割だ	広島県（令和8年度）	34.7	36.7	31.8	30.9	35.0	39.8	25.8	16.4	29.6	23.4	23.9	34.7	
	全国	22.7	21.1	20.7	23.8	23.5	24.3	16.2	13.8	14.9	15.8	17.4	19.3	
	差分	12.0	15.6	11.1	7.1	11.5	15.5	9.6	2.6	14.7	7.6	6.5	15.4	
自治会や町内会の 重要な役割は 男性が担うべきだ	広島県（令和8年度）	28.5	36.7	27.1	25.5	25.6	30.1	33.8	28.8	28.4	32.7	38.5	37.8	
	全国	19.9	21.1	21.1	19.9	18.7	18.4	19.2	14.3	17.5	21.6	19.9	22.8	
	差分	8.6	15.6	6.0	5.6	6.9	11.7	14.6	14.5	10.9	11.1	18.6	15.0	

※10pt以上スコアに差分がある場合、赤字で色付け

※広島県（令和8年度）が全国を下回る場合、青字で色付け

